



## 下水道モニター

### 令和2年度 第1回アンケート結果

東京都下水道局では、様々な事業を行っています。

第1回アンケートでは、下水道の課題や新たな下水道事業に対する認知度、「見せる化」や「東京アメッシュ」に関してご意見や評価を伺いました。

この報告書は、その結果をまとめたものです。

- ◆ 実施期間 令和2年5月20日(水)～6月2日(火)の14日間
- ◆ 対象者 東京都下水道局「令和2年度下水道モニター」  
※東京都在住20歳以上の男女個人
- ◆ 回答者数 576名
- ◆ 調査方法 ウェブ形式による自記式アンケート

#### I 結果の概要

#### II 回答者属性

#### III 集計結果

- 1 下水道の役割、東京都下水道局が行っている活動や取組について
- 2 下水道の課題
- 3 新たな下水道事業の認知度と評価
- 4 東京都下水道局が行っている「見せる化」について
- 5 東京都下水道局が行っている活動や取組について
- 6 「見せる化」への効果的な取組について
- 7 東京アメッシュについて
- 8 下水道事業の評価
- 9 下水道事業に関して知りたいこと
- 10 下水道事業に関する認知経路
- 11 下水道事業に関する情報の探求意思、共有欲求
- 12 下水道局へのご意見・ご要望など

# I 結果の概要

---

## 1 下水道の役割、東京都下水道局が行っている活動や取組について

- 水質改善…認知度 91%。評価（貢献度）平均は96%だが、20歳代では85%
- 浸水防除…認知度 79%。「とても重要」は全世代で9割越え

## 2 下水道の課題

- 下水道管の老朽化…認知度 65%、老朽化対策にあわせて再構築を進めることを「重要である」と回答した方は99%
- 都市型浸水対策…認知度 72%、浸水の被害が高い地区に被害の軽減を図る施設を整備することを「重要である」と回答した方は98%
- 合流式下水道の改善…認知度 38%、下水を貯留する施設等の整備を進めることを「重要である」と回答した方は96%
- 課題の公表…「積極的に知らせるべき」72%、「知ってもらおう努力を」27%

## 3 新たな下水道事業の認知度と評価

- 再生水をトイレ用水や車両洗浄に使用…認知度 64%、「役立っている」95%
- 水再生センター上部を公園に利用…認知度 57%、「役立っている」90%
- 下水汚泥をセメントなどに資源化…認知度 34%、「役立っている」85%
- 再生水を流す清流復活の取組…認知度 27%、「役立っている」87%
- 再生水によるヒートアイランド現象抑制…認知度 38%、「役立っている」86%
- 下水道管内に光ファイバー…認知度 14%、「役立っている」72%
- 高度処理技術の開発・導入…認知度 36%、「役立っている」83%
- 下水道施設の省エネルギー化…認知度 25%、「役立っている」87%
- 下水熱の活用…認知度 29%、「役立っている」86%
- 焼却方法の改良による温室効果ガスの抑制…認知度 27%、「役立っている」87%

## 4 東京都下水道局が行っている「見せる化」、活動や取組について

- 「見せる化」の取組…認知度 10%、「重要である」93%

## 5 東京都下水道局が行っている活動や取組について

- 下水道局の活動や取組…「情報を得ている」35%、満足度 54%

## 6 「見せる化」への効果的な取組について

- 「テレビ・ラジオCM」17%…在宅が多い昨今は有効
- 「新聞や広報誌の利用」14%…都の広報誌、女性向け生活雑誌などに掲載
- その他、学校教育の利用、動画サイトやSNSでの発信 など

## 7 東京アメッシュについて

- 東京アメッシュ…「知っている」51%（「利用あり」34%）、「知らない」49%
- 利用媒体…パソコン 72%、スマートフォン 66%、タブレット 15%
- アクセス方法…「登録済み」48%、「その都度検索」56%
- 利用目的…「お出かけの時」72%、「通勤通学時」53%、「布団干し」37%

## 8 下水道事業の評価

- 評価基準…公共性 88%、災害リスク対応 81%、環境貢献度 73%、経済性 48%

## 9 下水道事業に関して知りたいこと

- 「知りたい」が4割を超えたのは6事業  
「下水道の働きや役割」72%、「下水道料金の内訳と使い道」54%、  
「下水道の事業計画・進捗状況」54%、「下水道局のイベント等の情報」47%、  
「下水道に関わる人々の具体的な仕事」42%、「下水道に関する教育・広報施設」42%

## 10 下水道事業に関する認知経路

- 「広報東京都」が62%で最も高く、次いで「下水道局ホームページ」が30%
- 年代別では、高い年代は新聞や広報誌等の紙媒体経由が多いが、低い年代では家族や知人から情報を得ることが他の年代に比べ高い傾向にある。

## 11 下水道事業に関する情報の探求意思、共有欲求

- さらに詳しく知りたいか……「思う」96%、「思わない」0.2%
- 周囲に知らせたいと思うか…「思う」84%、「思わない」3.3%

## 12 下水道局へのご意見・ご要望など

- アンケートを通して活動内容が分かり有意義 27%
- もっと知識や理解を深めたい 22%
- 東京都下水道局へのご意見やご要望、アンケートに対する感想など、お寄せいただいた中から、一部をご紹介します。

## II 回答者属性

第1回モニターアンケートは、令和2年5月20日（水）から6月2日（火）までの14日間で実施した。その結果、576名の方から回答があった。（回答率81.1%）

### ■ 回答者数（性別、年代別、職業別、地区別）

性別	回答者数	モニター数	回答率	回答者中の割合
男性	288	348	82.8%	50.0%
女性	288	362	79.6%	50.0%
合計	576	710	81.1%	100.0%

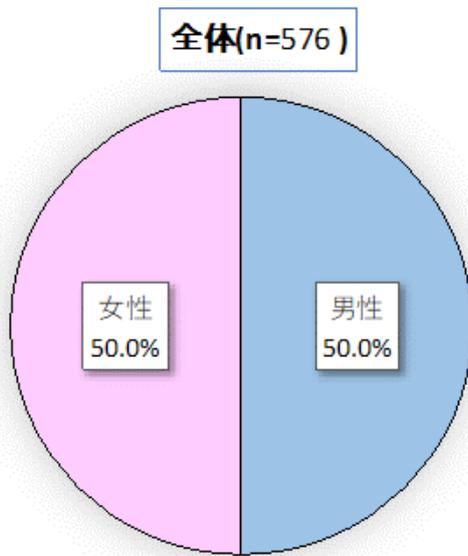
年代	回答者数	モニター数	回答率	回答者中の割合
20歳代	27	40	67.5%	4.7%
30歳代	85	117	72.6%	14.8%
40歳代	144	179	80.4%	25.0%
50歳代	128	148	86.5%	22.2%
60歳代	107	131	81.7%	18.6%
70歳以上	85	95	89.5%	14.8%
合計	576	710	81.1%	100.0%

地区	回答者数	モニター数	回答率	回答者中の割合
23区部	300	372	80.6%	52.1%
多摩地区	276	338	81.7%	47.9%
合計	576	710	81.1%	100.0%

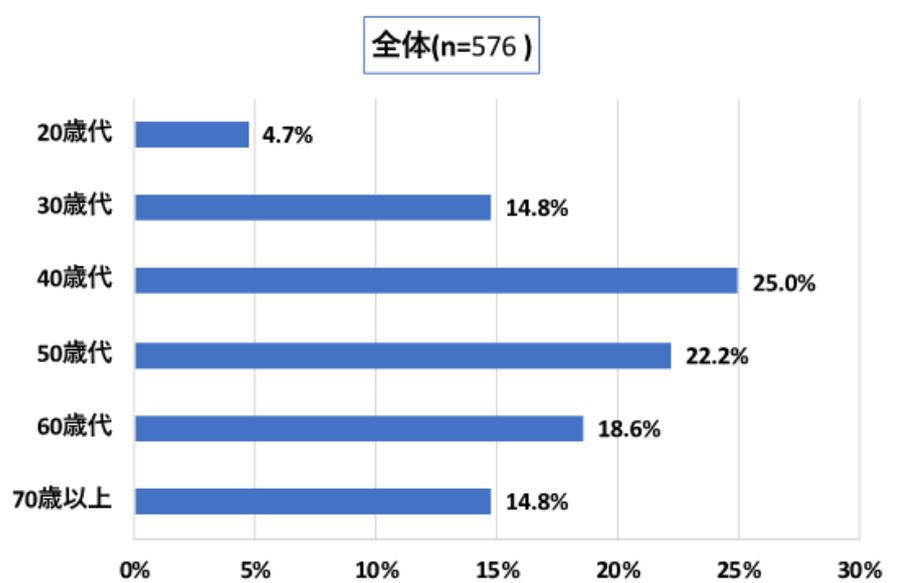
職業	回答者数	モニター数	回答率	回答者中の割合
会社員	222	283	78.4%	38.5%
自営業・家族従業	39	51	76.5%	6.8%
学生	8	10	80.0%	1.4%
学校教員・塾講師	9	9	100.0%	1.6%
パート・アルバイト	70	88	79.5%	12.2%
専業主婦	123	144	85.4%	21.4%
無職	89	110	80.9%	15.5%
その他	16	15	106.7%	2.8%
合計	576	710	81.1%	100.0%

■ 回答者属性別グラフ

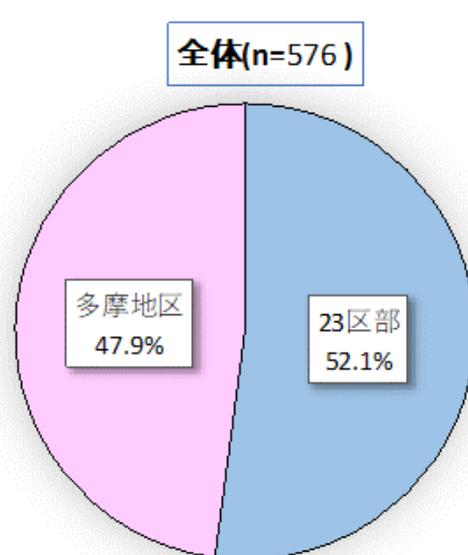
<性別>



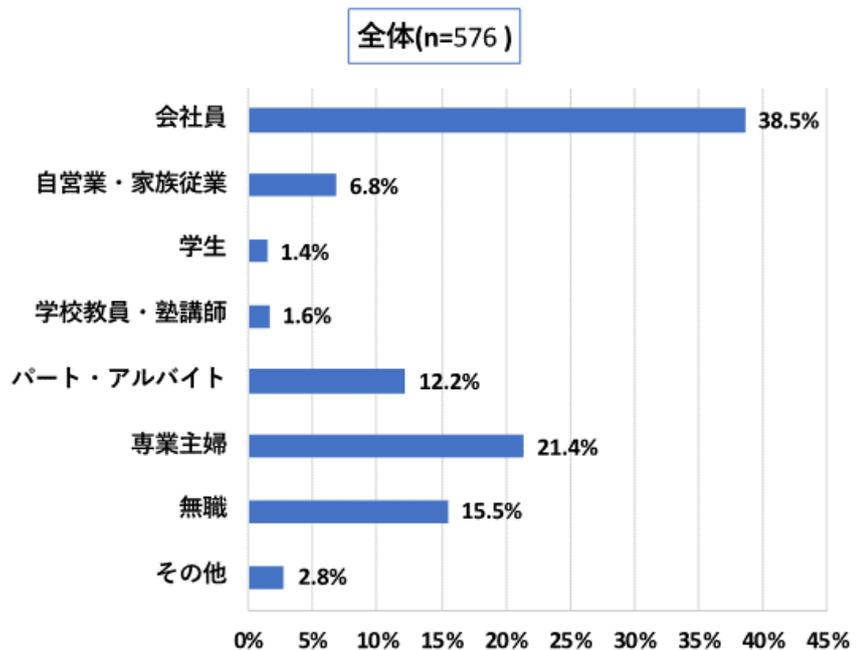
<年代別>



<地区別>



<職業別>



※集計上・表記上への注意事項

- ① 本文中の「n」は質問に対する回答者数で、比率(%)は全て「n」を基数として算出している。また、比率を小数点第二位で四捨五入し「0.0%」となる項目については、グラフ上の表記を省略する。
- ② 本文中の性別、年代、地域、子供と同居有無別分析において、性別、年代、地域、子供と同居それぞれにおける「無回答」「不明」は省略する。

### Ⅲ 集計結果

※ 文中の「n」は質問に対する回答者数で、比率（%）はすべて「n」を基数（100%）として算出している。

#### 3.1 下水道の役割、東京都下水道局が行っている活動や取組について

##### 3.1.1 下水道の役割「水質改善」の認知度

- ◆ 「水質改善」の認知度について、91.5%が「知っていた」と回答した。
- ◆ 年代別にみると、「知っていた」では全年代で7割以上を示した。特に70歳以上では96.5%となり、認知度が最も高いことがわかった。
- ◆ 経年比較でみると、「知っていた」は平成28年度調査から増加傾向が見られ、令和2年度は平成28年度に比べ3.5ポイント高い結果となった。

Q5 下水道には、家庭や工場などから出た汚れた水を、きれいにしてから川や海に放流するという「水質改善」の役割があります。あなたは、このことをご存知でしたか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。

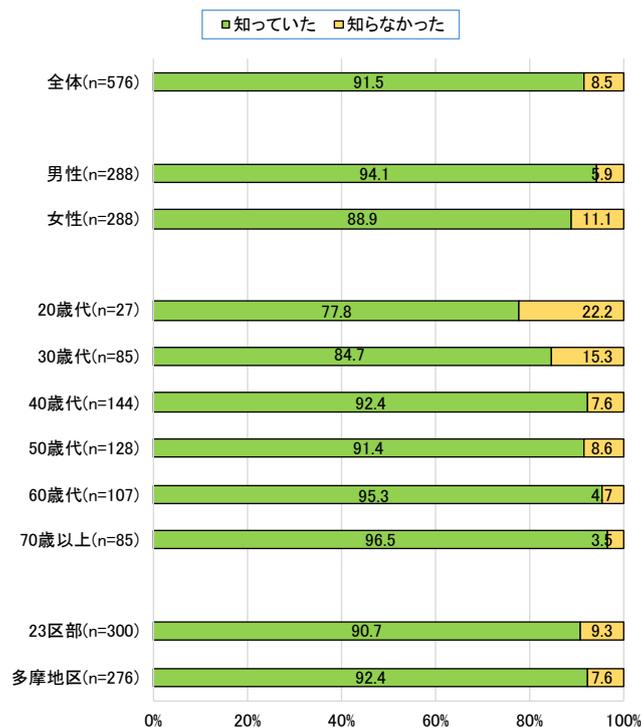


図3-1-1 「水質改善」の認知度

表3-1 「水質改善」を「知っていた」と回答した方の割合の経年比較

	全体	男女別		地区別	
		男性	女性	23区	多摩地域
H28	88.0	89.1	86.8	86.9	89.7
H29	90.0	93.3	85.9	88.5	92.4
H30	91.8	91.9	91.6	90.6	93.5
R01	90.2	93.3	87.4	88.3	92.2
R2	91.5	94.1	88.9	90.7	92.4

### 3.1.2 下水道の役割「水質改善」の重要度

- ◆ 「水質改善」について、「とても重要である」が88.2%、「重要である」が10.9%で、『重要である』との回答は合わせて99.1%となり、「水質改善」の重要度は広く認識されていることがわかった。
- ◆ 年代別にみると、『重要である』は30歳代と70歳以上が100%と最も多く、次いで40歳代が99.3%、50歳代が99.2%となった。一番低い結果の20歳代でも92.6%と9割を超えていた。
- ◆ 地区別にみると、『重要である』は23区部が99.3%、多摩地区が98.9%となり、23区部が多摩地区より0.4ポイント高い結果となった。

Q6 「水質改善」の役割について、あなたはどのくらい重要であると思われますか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。



図3-1-2 「水質改善」の重要度

### 3.1.3 下水道の役割「水質改善」の評価

- ◆ 「水質改善」について、「とても貢献している」が76.2%、「貢献している」が19.6%で、『貢献している』との回答は合わせて95.8%となり、多くの方に評価いただいていることが分かった。
- ◆ 男女別にみると、『貢献している』は男性が95.4%、女性が96.2%となり、大きな差はなかった。
- ◆ 年代別にみると、『貢献している』は70歳以上が100%と最も高く、次いで60歳代が97.2%、50歳代が95.3%となった。一方20歳代は85.2%と最も低い結果となり、他の年代に比べ、「水質改善」への評価は低かった。
- ◆ 地区別にみると、『貢献している』は23区部が97.0%、多摩地区が94.5%となり、多摩地区が23区部より2.5ポイント低い結果となった。

Q7 「水質改善」の役割は、私達の生活にとって、どのくらい貢献していると思われますか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。

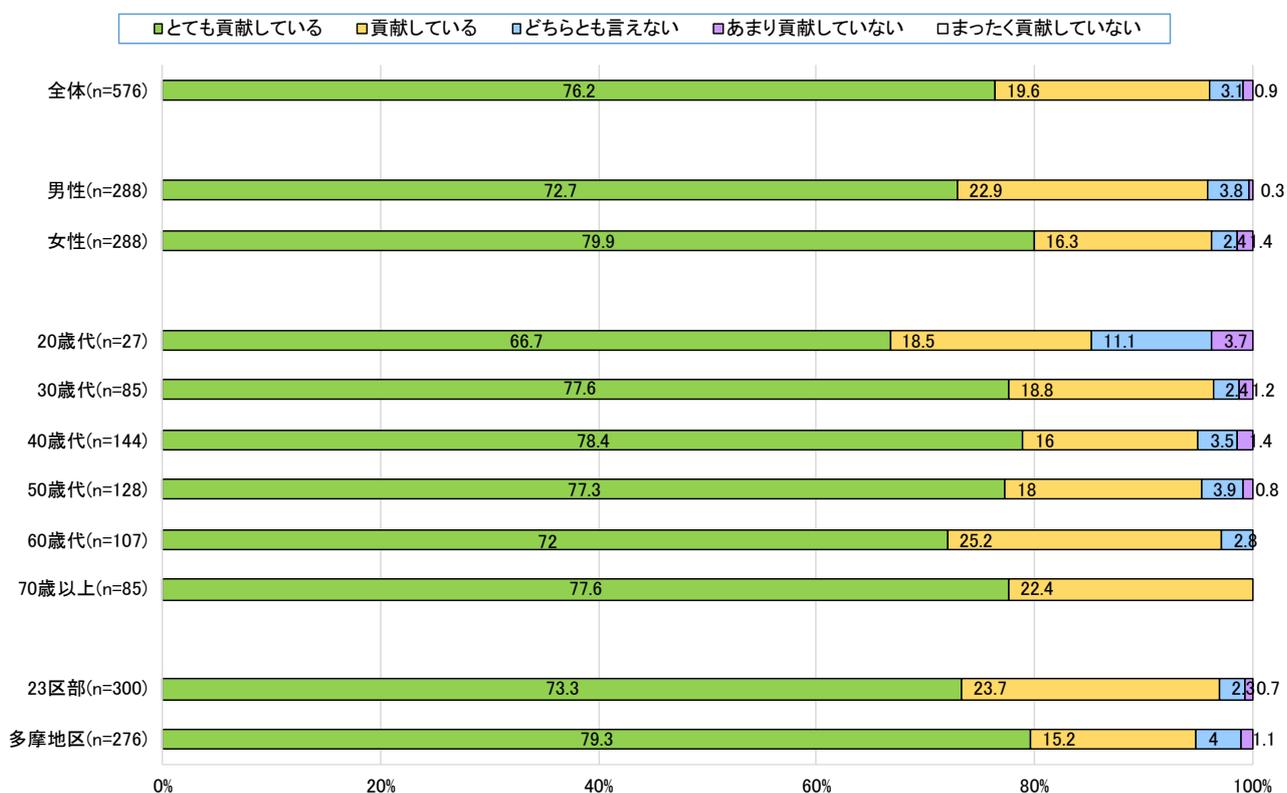


図3-1-3 「水質改善」の評価

### 3.1.4 下水道の役割「浸水防除」の認知度

- ◆ 「浸水防除」の認知度について、79.0%が「知っていた」と回答した。
- ◆ 男女別にみると、「知っていた」は、男性が86.5%、女性が71.5%と、男性が女性より15.0ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「知っていた」の割合は年代が上がるとともに上昇する傾向を示し、70歳以上では92.9%と9割を超える高い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、「知っていた」では23区部が81.7%、多摩地区が76.1%となり、23区部が多摩地区より5.6ポイント高い結果となった。

Q 8 下水道には、強い雨が降った時に、雨水を下水道管に取り込み川や海に放流することで、大雨による浸水からまちを守るという「浸水防除」の役割があります。あなたは、このことをご存知でしたか？以下の選択肢の中から、該当するもの一つだけお選び下さい。

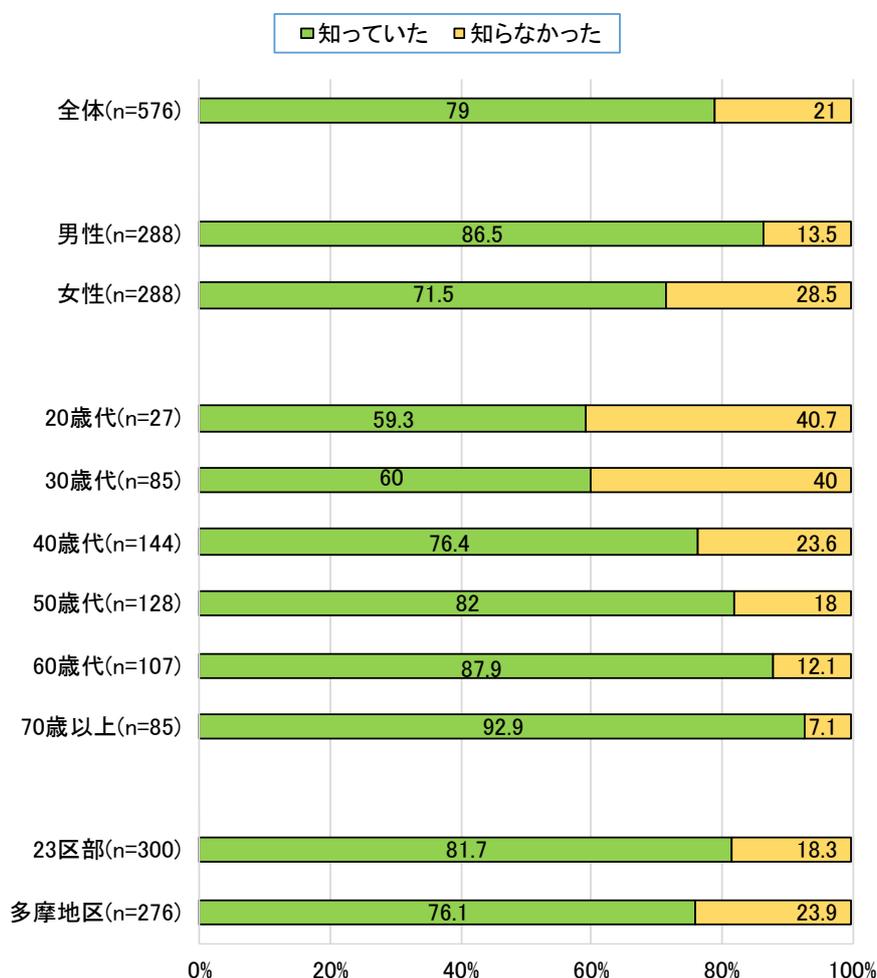


図3-1-4 「浸水防除」の認知度

### 3.1.5 下水道の役割「浸水防除」の重要度

- ◆ 「浸水防除」について、「とても重要である」が83.5%、「重要である」が14.6%で、『重要である』との回答は合わせて98.1%となり、「浸水防除」の重要度は広く認識されていることがわかった。
- ◆ 男女別にみると、「とても重要である」では男性が83.4%、女性が83.8%と、男性と女性で顕著な差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『重要である』との回答はどの年代も9割を超え、最も低い20歳代でも96.3%の高い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、「とても重要である」では23区部が83%、多摩地区が84.1%となり、多摩地区が23区部より1.1ポイント高い結果となった。

Q9 「浸水防除」の役割について、あなたは、どのくらい重要であると思われますか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。

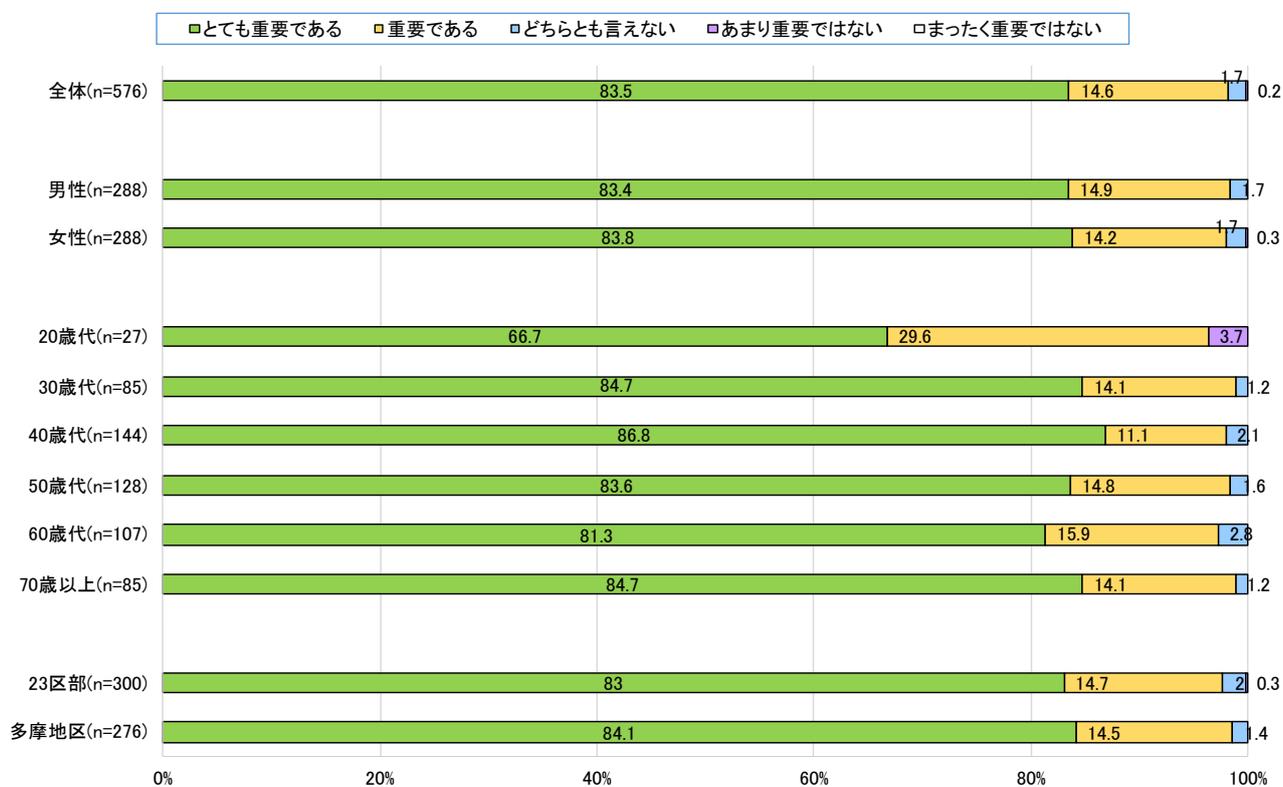


図3-1-5 「浸水防除」の重要度

### 3.1.6 下水道の役割「浸水防除」の評価

- ◆ 「浸水防除」について、「とても貢献している」が70.7%、「貢献している」が22.9%で、『貢献している』との回答は合わせて93.6%となり、多くの方に評価いただいていることがわかった。
- ◆ 男女別にみると、『貢献している』は男性が92.5%、女性が94.9%となり、女性が男性より2.4ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『貢献している』は70歳以上が96.5%と最も高く、次いで30歳代が96.4%となった。最も低い20歳代でも85.2%と高い評価となった。
- ◆ 地区別にみると、『貢献している』は23区部が94.0%、多摩地区が93.1%となり、ほぼ同じ結果となった。

Q10 「浸水防除」の役割は、私達の生活にとって、どのくらい貢献していると思われますか？  
以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。

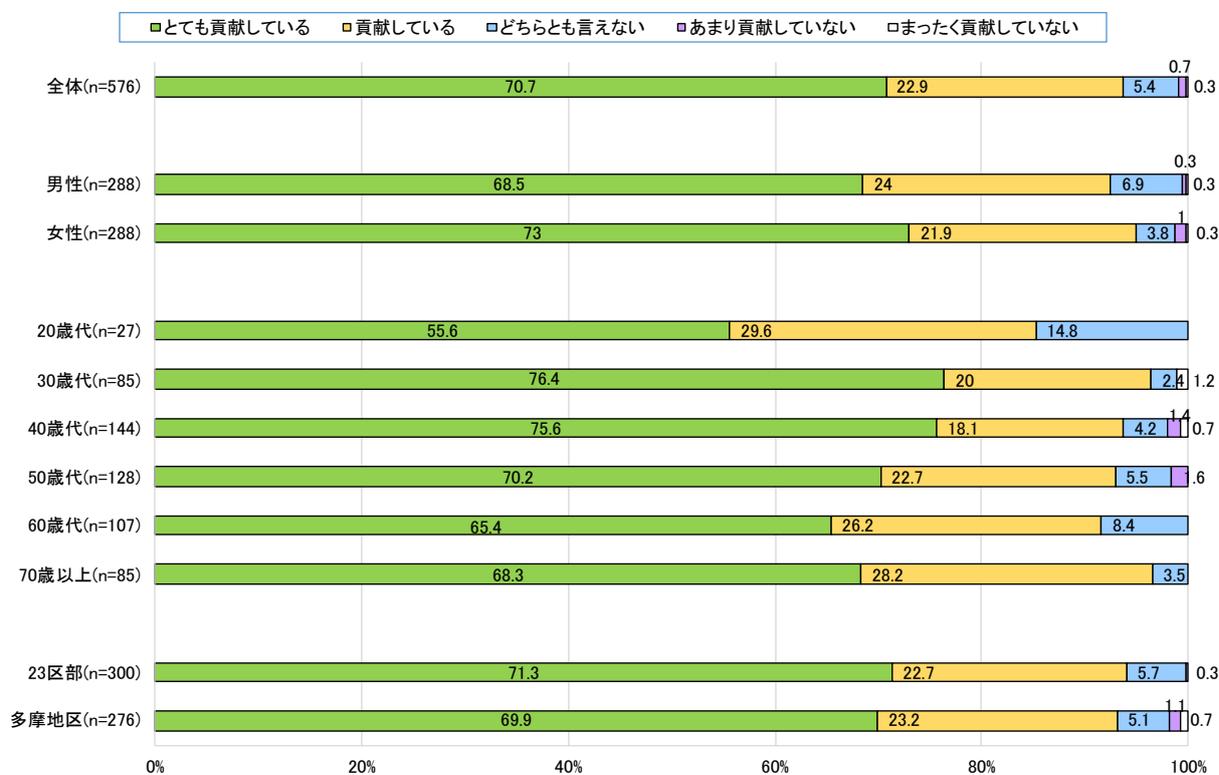


図3-1-6 「浸水防除」の評価

## 3.2 下水道の課題

### 3.2.1 下水道の課題①「下水道管の老朽化」の認知度

- ◆ 「下水道管の老朽化」について、「知っていた」は64.8%となり、「下水道管の老朽化」の認知度は6割を超えていた。
- ◆ 男女別にみると、「知っていた」では男性が71.5%、女性が58.0%と、女性が男性より13.5ポイント低い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「知っていた」では70歳以上が77.6%と最も高く、次いで60歳代が71.0%となった。一方、30歳代では約4割の43.5%と最も低い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、「知っていた」では23区部が67.0%、多摩地区が62.3%となり、23区部が多摩地区より4.7ポイント高い結果となった。

Q 1 1 道路の下に埋設される下水道管が破損すると、道路の陥没事故につながる恐れがあるため、古い下水道管は取替えや補修が必要です。  
東京都の下水道は整備を始めてから既に100年以上が経過しています。下水道管は耐用年数が50年とされており、高度経済成長期以降(1960年代以降)に整備した大量の下水道管が耐用年数に達する等、急速に下水道管の老朽化が進んでいます。  
あなたは、このことをご存知でしたか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。

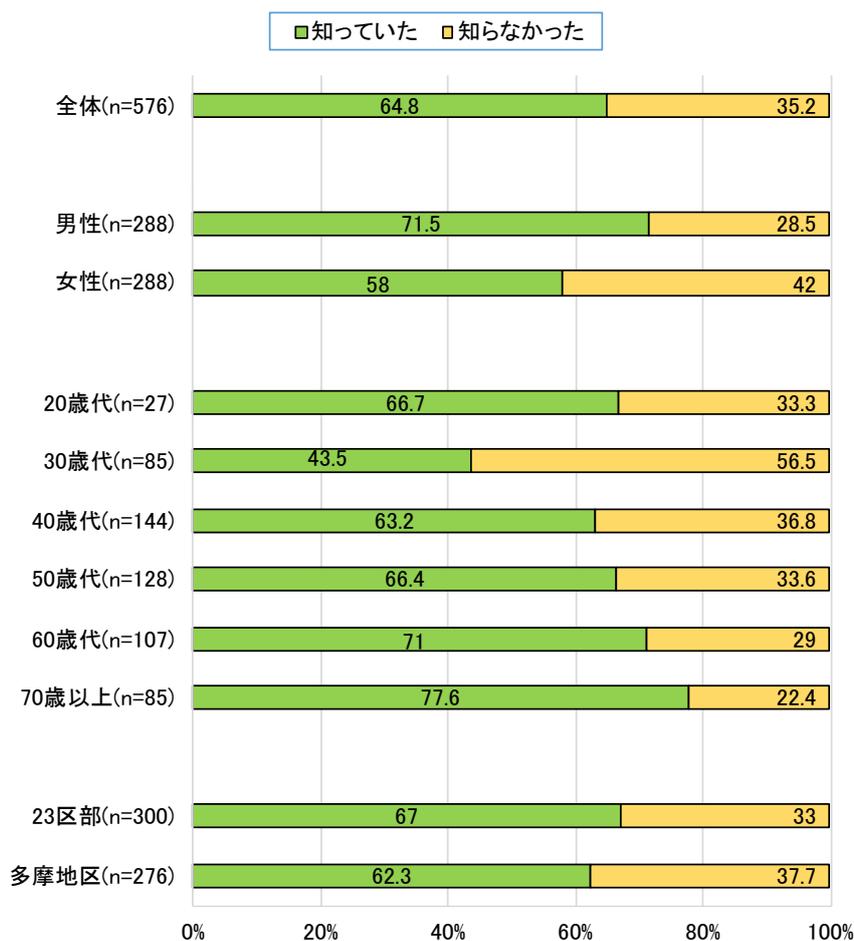


図3-2-1 「下水道管の老朽化」の認知度

### 3.2.2 下水道の課題①「下水道管の老朽化」の認識度

- ◆ 「下水道管の老朽化」について、「とても重要である」が88.4%、「やや重要である」が10.6%で、『重要である』とする方は合わせて99.0%となり、多くの方に「重要である」と認識されていることが分かった。
- ◆ 男女別にみると、『重要である』は男性が98.6%、女性が99.3%となり、男性が女性より0.7ポイント低い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『重要である』との回答は、どの年代も9割を超え、中でも20歳代と70歳以上は100%と高い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『重要である』は23区部が99.3%、多摩地区が98.6%となり、23区部が多摩地区より0.7ポイント高い結果となった。

Q12 「下水道管の老朽化」の対策にあわせて、雨水排除能力の増強や耐震性の向上などを効率的に図る再構築を計画的に進めています。この施策について、あなたはどの程度重要だと思いますか。以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。

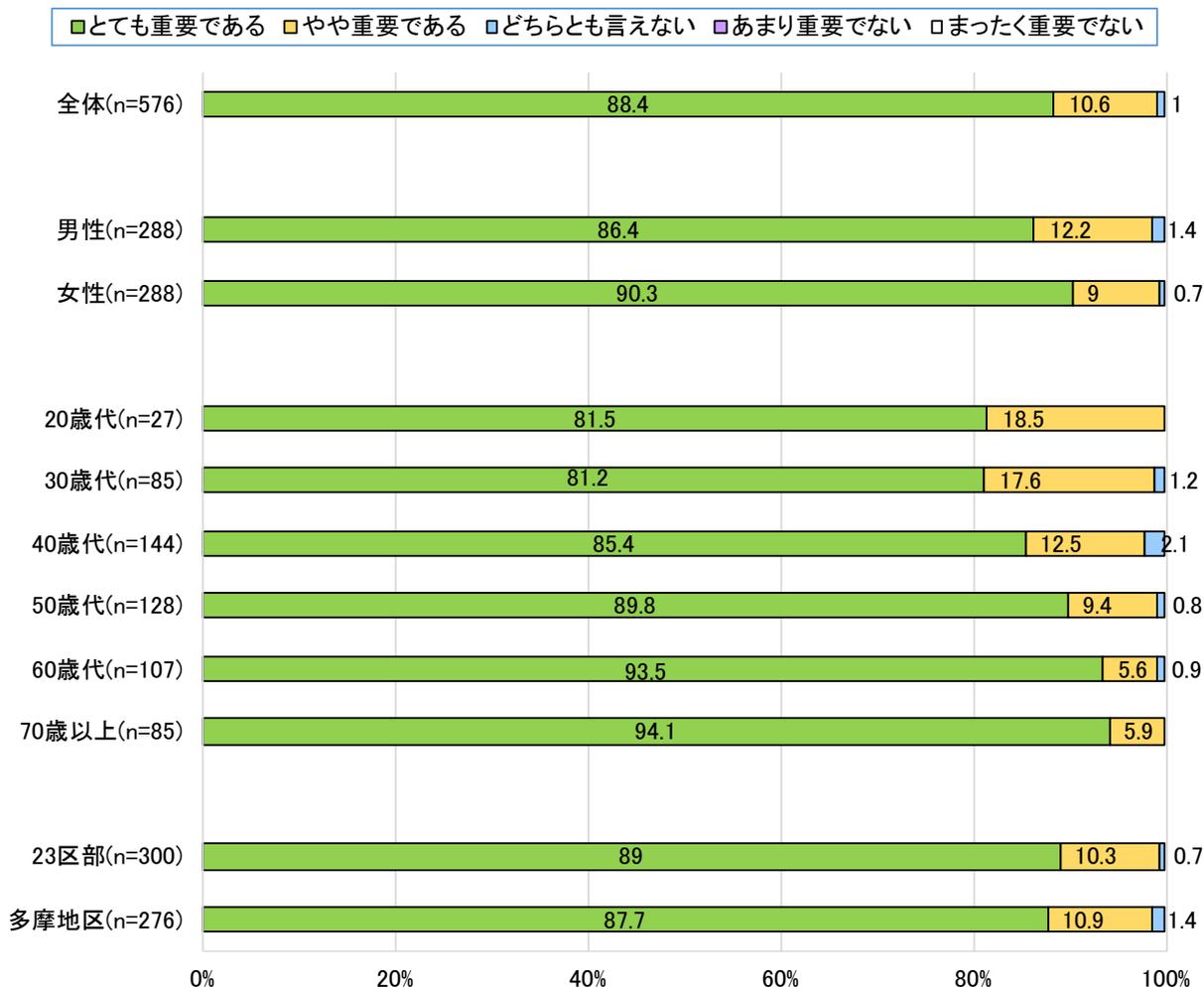


図3-2-2 「下水道管の老朽化」の認識度

### 3.2.3 下水道の課題②「都市型浸水対策」の認知度

- ◆ 「都市型浸水対策」について、約7割の72.0%が「知っていた」と回答した。
- ◆ 男女別にみると、「知っていた」では男性が79.9%、女性が64.2%となり、男性が女性より15.7ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「知っていた」は40歳代から年齢が高くなるにつれて増加する傾向がみられ、70歳以上が90.6%と最も高かった。
- ◆ 地区別にみると、「知っていた」では23区部が74.3%、多摩地区が69.6%となり、23区部が多摩地区より4.7ポイント高い結果となった。

Q 1 3 都市化によって道路等の舗装が進み、雨水が地面に浸透しにくくなった結果、下水道に流れ込む雨水の量が増大しました。これにより、既に下水道が整備された東京都でも、短時間に猛烈な集中豪雨があると、下水道管やポンプ所の処理能力を超えて、都市型の浸水が発生することがあります。  
あなたは、このことをご存知でしたか？以下の選択肢の中から該当するものを一つだけお選び下さい。

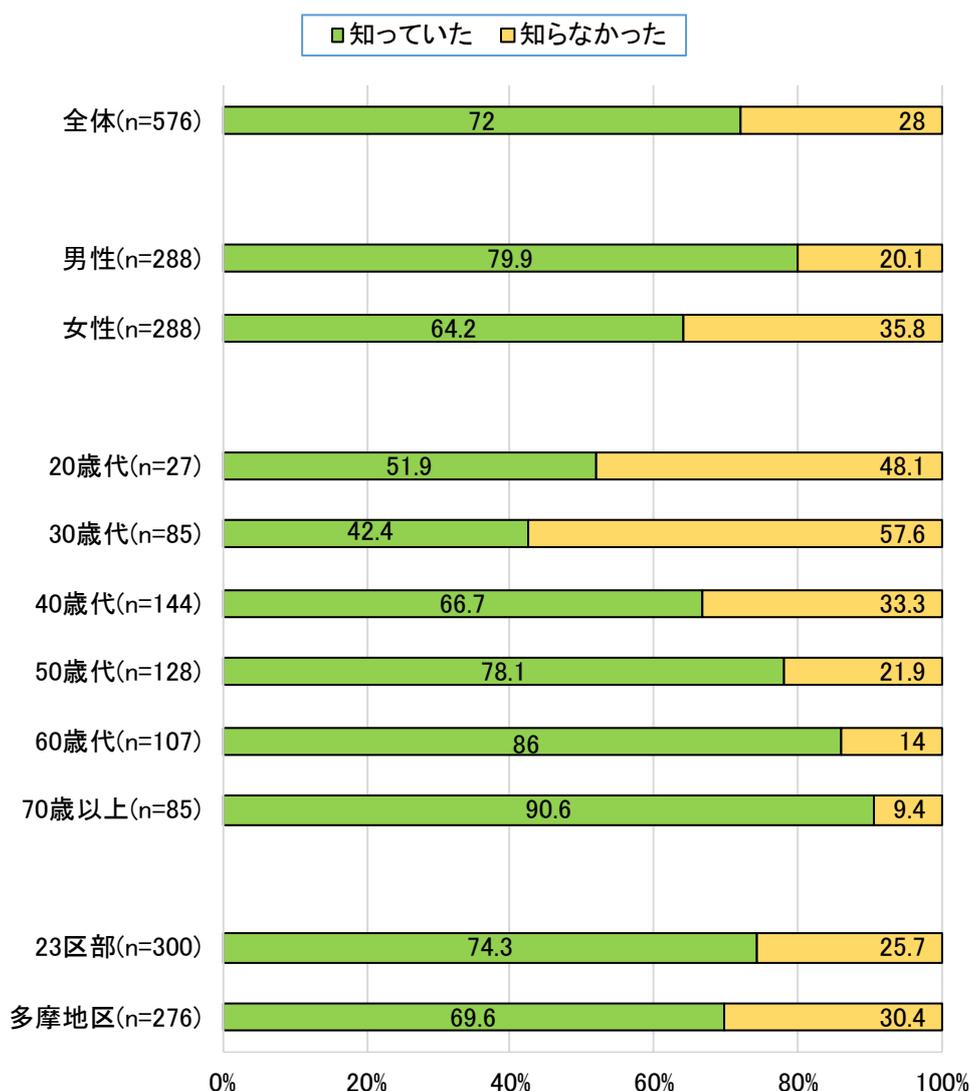


図3-2-3 「都市型浸水対策」の認知度

### 3.2.4 下水道の課題②「都市型浸水対策」の認識度

- ◆ 「都市型浸水対策」について、「とても重要である」が86.8%、「やや重要である」が11.6%で、『重要である』との回答は合わせて98.4%となり、多くの方に『重要である』と認識されていることが分かった。
- ◆ 男女別にみると、『重要である』は男性が98.3%、女性が98.6%となり、女性が男性より0.3ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『重要である』との回答はどの年代も9割を超え、中でも30歳代と70歳以上は最も高く100%であった。
- ◆ 地区別にみると、『重要である』は23区が97.7%、多摩地区が99.3%となり、23区部が多摩地区より1.6ポイント低い結果となった。

Q14 「都市型浸水」を防ぐため、浸水の危険性が高い地区等において、被害の軽減を図るための下水道施設を整備しています。この施策について、あなたはどの程度重要だと思いますか。以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。

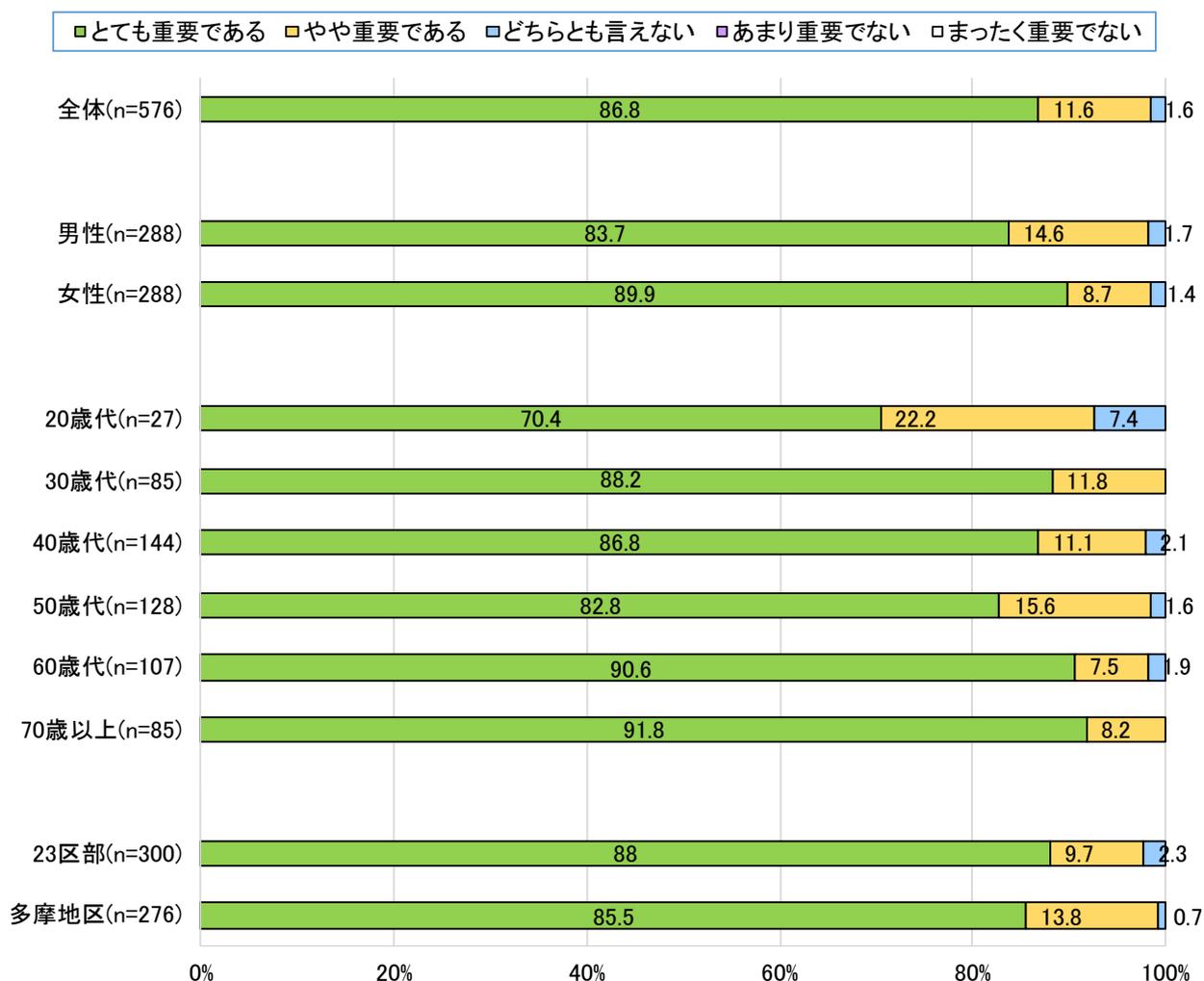


図3-2-4 「都市型浸水対策」の認識度

### 3.2.5 下水道の課題③「合流式下水道の改善」の認知度

- ◆ 「合流式下水道の改善」の認知度について、「知っていた」は38.2%と低い結果となった。
- ◆ 男女別にみると、「知っていた」では男性が50.7%、女性が25.7%と、女性の認知度がとても低いことが明らかとなった。
- ◆ 年代別にみると、「知っていた」は、60歳代が50.5%と高かったが、若年層の認知度は低く、特に30歳代では2割以下と大変低いことが明らかとなった。
- ◆ 地区別にみると、「知っていた」では23区部が44.7%、多摩地区が31.2%となり、23区部が多摩地区より13.5ポイント高い結果となった。

Q15 東京都の下水道は、主に汚水と雨水が同じ下水道管を流れる「合流式下水道」で整備されています。この方式は、大雨が降ると下水の水量が一気に増大するため、水再生センターに流入する前に河川へ放流せざるを得なくなり、雨水で薄まった汚水の一部が、そのまま河川に流れてしまうということが起こります。  
あなたは、このことをご存知でしたか？以下の選択肢の中から該当するもの一つだけお選び下さい。

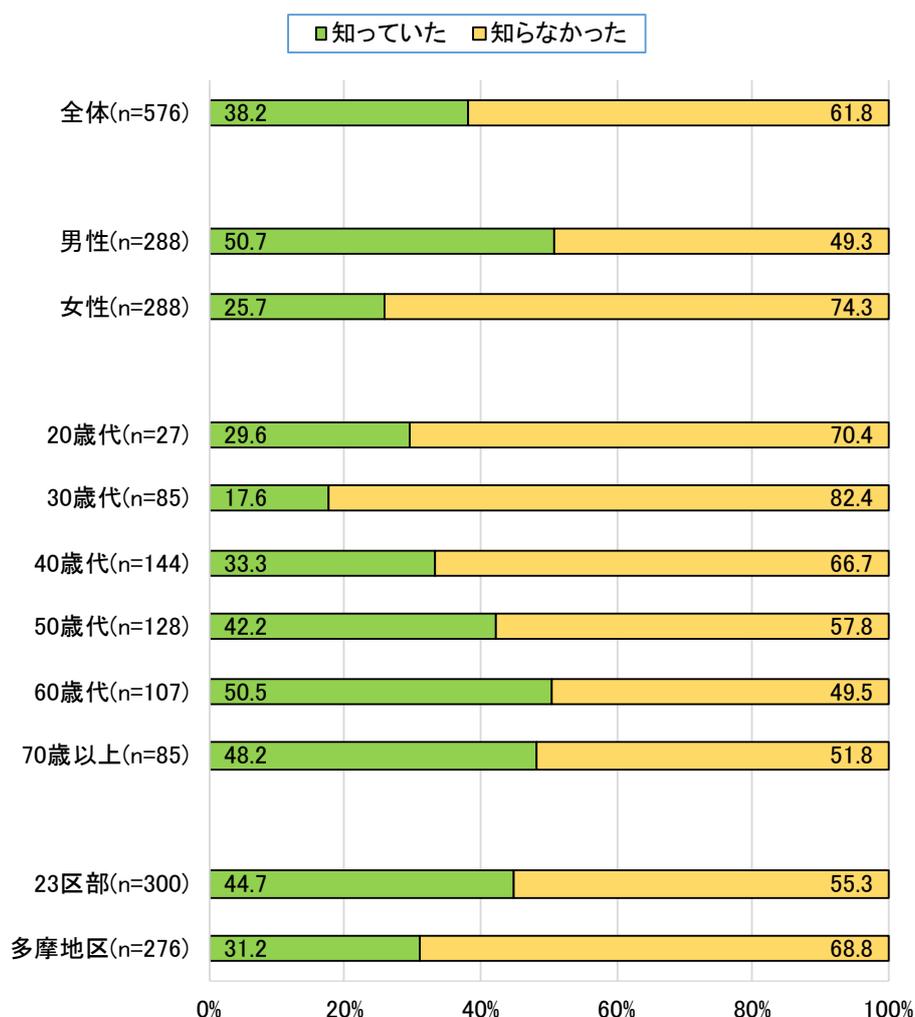


図3-2-5 「合流式下水道の改善」の認知度

### 3.2.6 下水道の課題③「合流式下水道の改善」の認識度

- ◆ 「合流式下水道の改善」については、「とても重要である」が74.6%、「やや重要である」が21.4%で、『重要である』との回答は合わせて96.0%となり、多くの方に『重要である』と認識されていることが分かった。
- ◆ 男女別にみると、『重要である』は男性が96.3%、女性が95.8%と、男性が女性より0.5ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『重要である』との回答はどの年代も8割を超え、中でも30歳代は最も高く97.6%であった。
- ◆ 地区別にみると、『重要である』では23区部が95.3%、多摩地区が96.7%となり、多摩地区が23区部より1.4ポイント高い結果となった。

Q 1 6 雨天時に「合流式下水道」から河川や海等に放流される放流水質改善のため、降雨初期の特に汚れた下水を貯留する施設の整備等を進めています。この施策について、あなたはどの程度重要だと思いますか。以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。

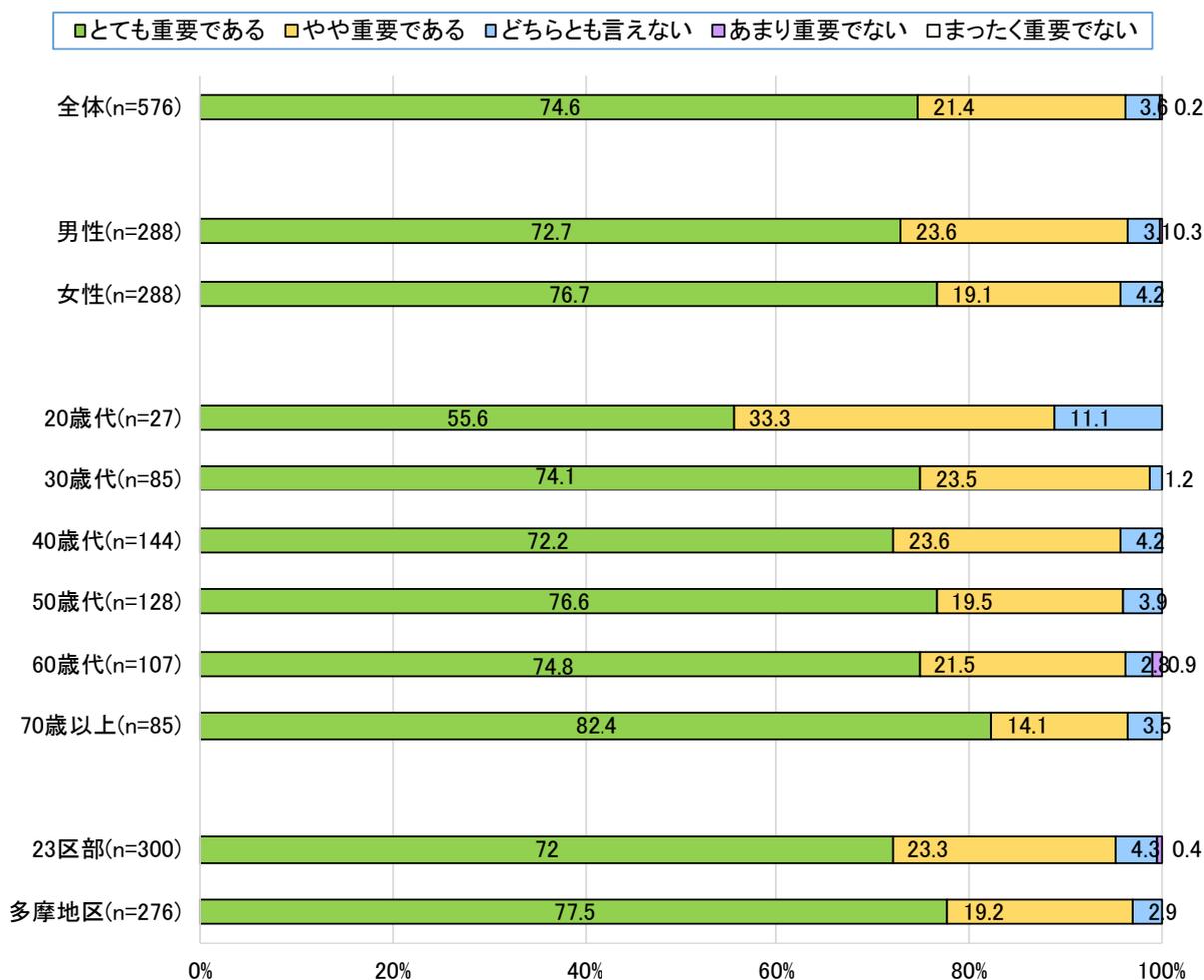


図3-2-6 「合流式下水道の改善」の認識度

### 3.2.7 下水道が抱える課題の公表について

- ◆ 下水道が抱える課題の公表について、「積極的に知らせるべきだ」が72.0%、「知ってもらおう努力をしたほうがよい」が27.4%で、合わせて99.4%とほとんどの方が課題の公表を求めていることが分かった。
- ◆ 男女別にみると、「積極的に知らせるべきだ」では男性が76.8%、女性が67.4%と、男性が女性より9.4ポイント高い結果となった。
- ◆ 「積極的に知らせるべきだ」を年代別にみると、70歳以上が78.8%と最も高く、次いで60歳代が78.5%となった。一方、20歳代では5割以下の48.1%と低い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、「積極的に知らせるべきだ」では23区部が73.0%、多摩地区が71.0%となり、23区部の方が多摩地区より2.0ポイント高い結果となった。

Q17 上記「下水道管の老朽化」、「都市型浸水」、「合流式下水道」でおうかがいした、東京都の下水道における課題について、以下の選択肢の中から該当するものを一つだけお選び下さい。

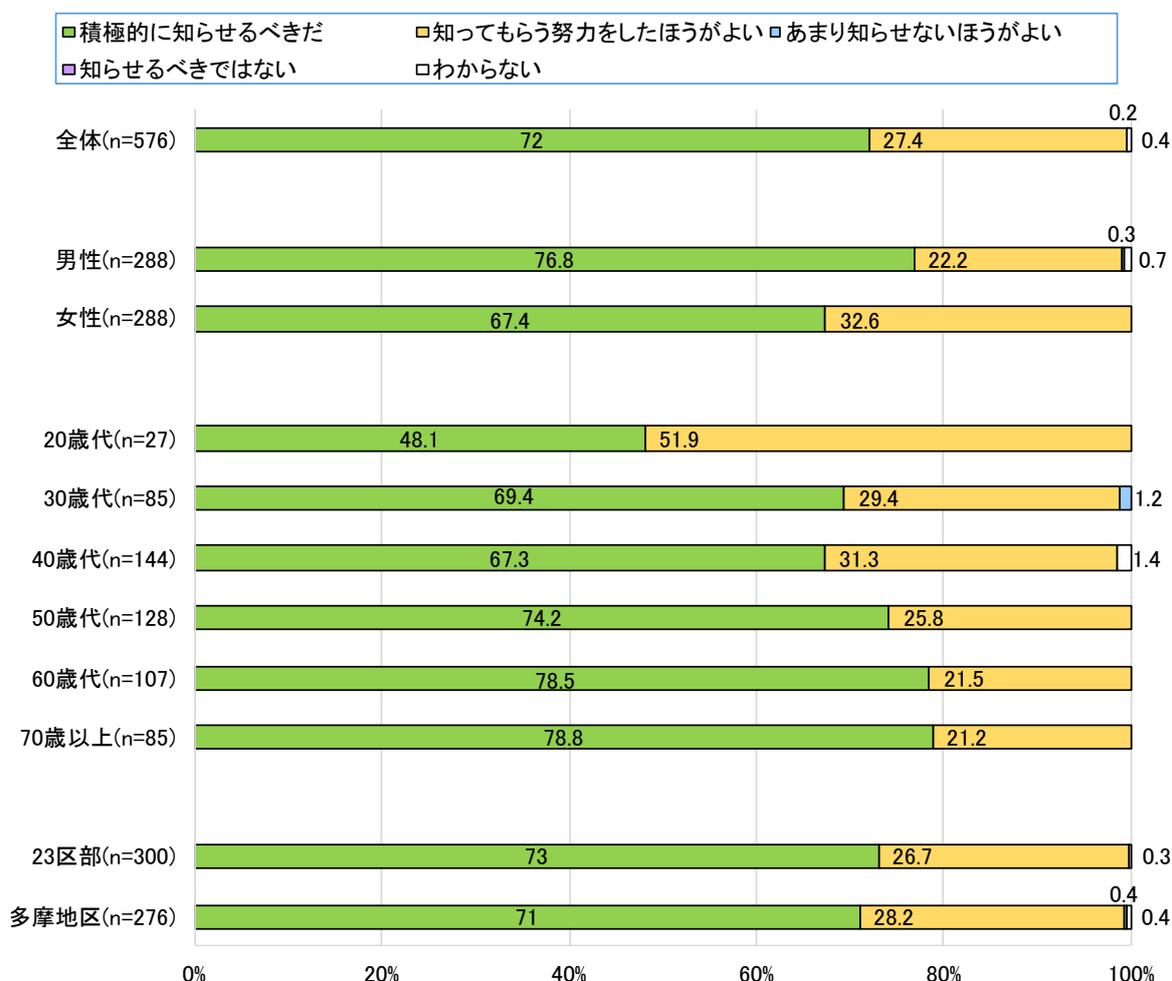


図3-2-7 下水道が抱える課題の公表について

### 3.3 新たな下水道事業の認知度と評価

#### 3.3.1 新たな下水道事業の認知度

- ◆ 新たな下水道事業の認知度について、『知っていた』の回答率が5割を超えたのは、「1) きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」の63.7%と、「2) 水再生センター上部を、区や市が管理する公園として利用」の57.1%の2事業であった。他の事業の認知度は4割未満と低く、特に「6) 下水道管に光ファイバーを通すITの推進」は13.5%と最も低い結果となった。
- ◆ 男女別にみると、全事業で女性より男性の認知度が高い結果となった。
- ◆ 年代別で差が大きかったのは「3) 下水汚泥をセメントなどの原料とする資源化への取組」で、70歳以上の認知度は30歳代に比べ42.4ポイント高い結果となった。

Q 18 東京都下水道局が行っている活動や取組についておうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい。

- 1)きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用
- 2)水再生センターの上部を、区や市が管理する公園として利用
- 3)下水汚泥をセメントなどの原料とする資源化への取組
- 4)再生水を水量が少ない川に流す清流復活の取組
- 5)再生水の散水・施設の壁面緑化などヒートアイランド現象抑制
- 6)下水道管に光ファイバーを通すITの推進
- 7)高度処理技術の開発・導入
- 8)下水道施設の省エネルギー化
- 9)下水熱を利用した冷暖房エネルギー活用
- 10)焼却方式の改良など温室効果ガスの排出削減

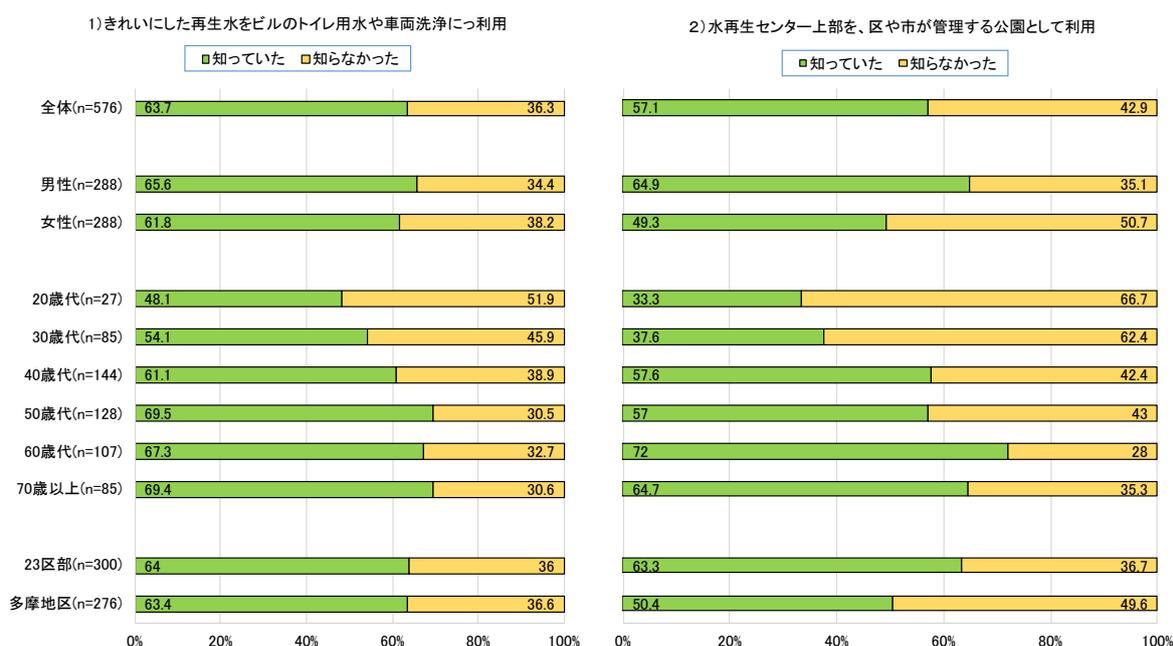


図3-3-1 新たな事業活動の認知度（性別・年代別・地区別）

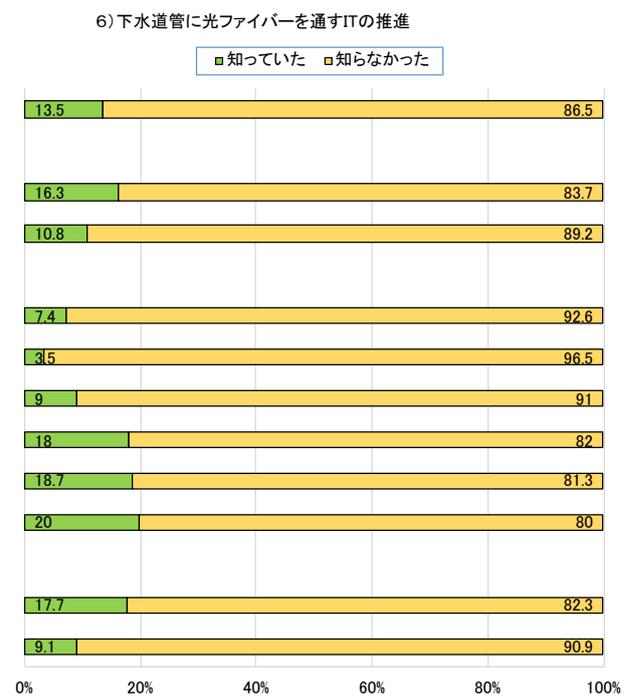
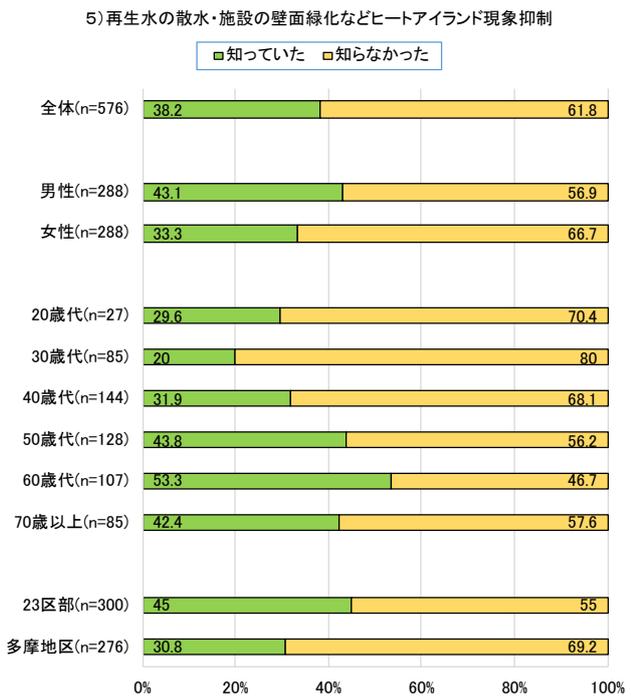
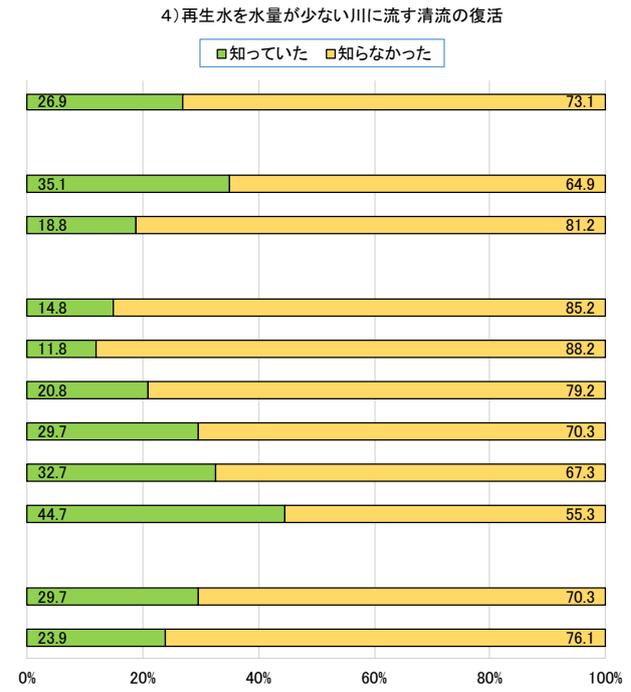
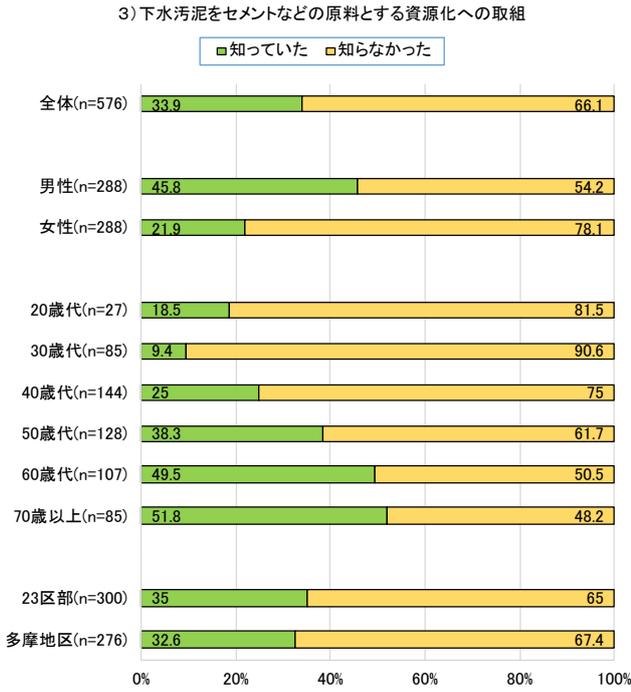


図 3 - 3 - 1 新たな事業活動の認知度 (性別・年代別・地区別)

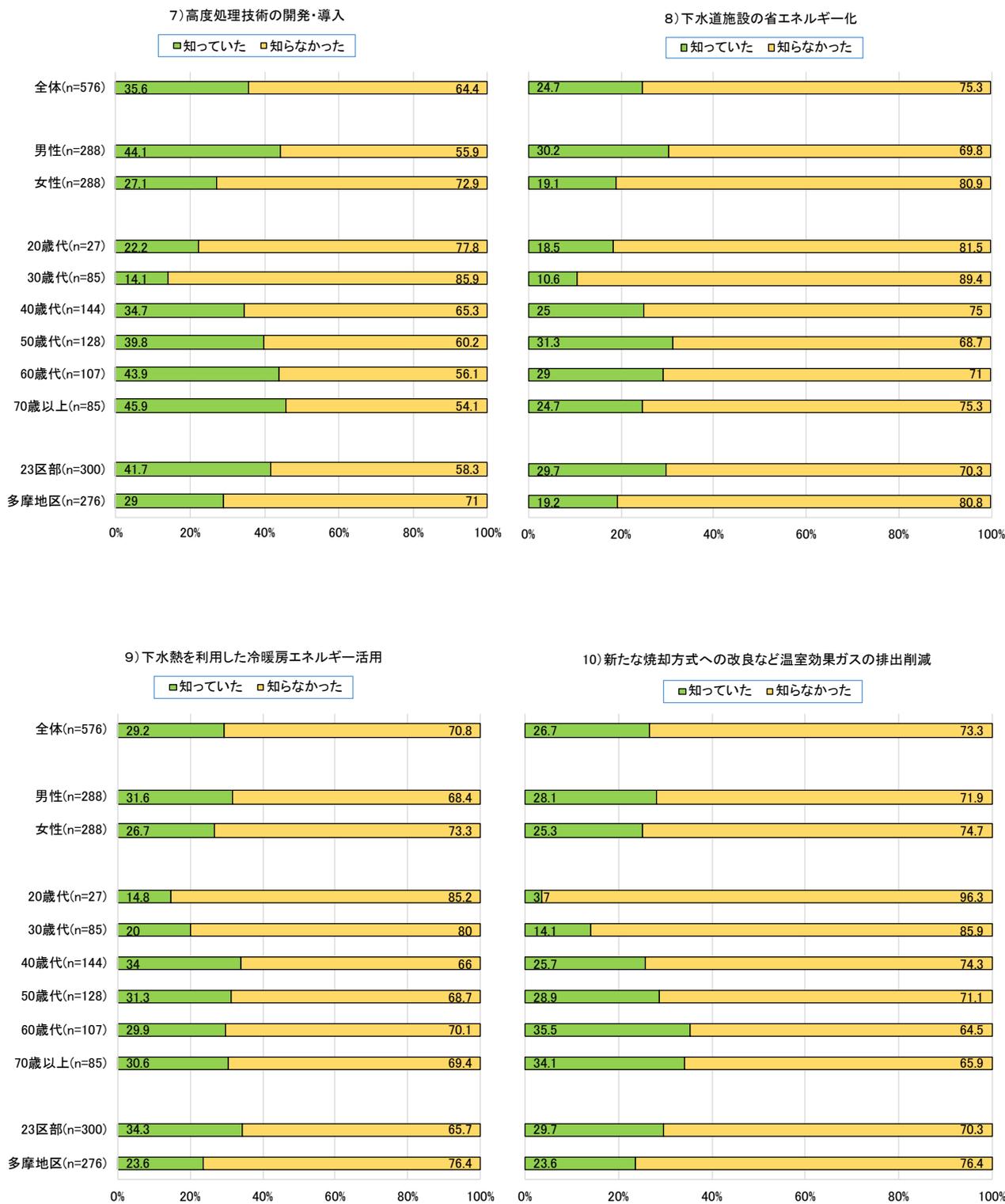


図 3 - 3 - 1 新たな事業活動の認知度（性別・年代別・地区別）

### 3.3.2 新たな下水道事業の評価

- ◆ 新たな下水道事業について、「とても役立っている」と「役立っている」を合わせた『役立っている』は、概ね全ての事業で8割を超える評価をいただいた。中でも「1) きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用」は95.4%と最も高く、次いで「2) 水再生センターの上部を、区や市が管理する公園として利用」が89.7%となった。一方、「6) 下水道管に光ファイバーを通すITの推進」は72.1%と最も低い結果となった。
- ◆ 男女別にみると、概ね全ての事業で『役立っている』は、女性より男性の割合が高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、多くの事業で20歳代の『役立っている』の割合が低いことが分かった。

Q19 これら東京都下水道局が行っている活動や取組について、日常生活において、どの程度「役立っている」と思われますか？ 該当する選択肢を一つだけお選び下さい。

- 1) きれいにした再生水をビルのトイレ用水や車両洗浄に利用
- 2) 水再生センターの上部を、区や市が管理する公園として利用
- 3) 下水汚泥をセメントなどの原料とする資源化への取組
- 4) 再生水を水量が少ない川に流す清流復活の取組
- 5) 再生水の散水・施設の壁面緑化などヒートアイランド現象抑制
- 6) 下水道管に光ファイバーを通すITの推進
- 7) 高度処理技術の開発・導入
- 8) 下水道施設の省エネルギー化
- 9) 下水熱を利用した冷暖房エネルギー活用
- 10) 焼却方式の改良など温室効果ガスの排出削減

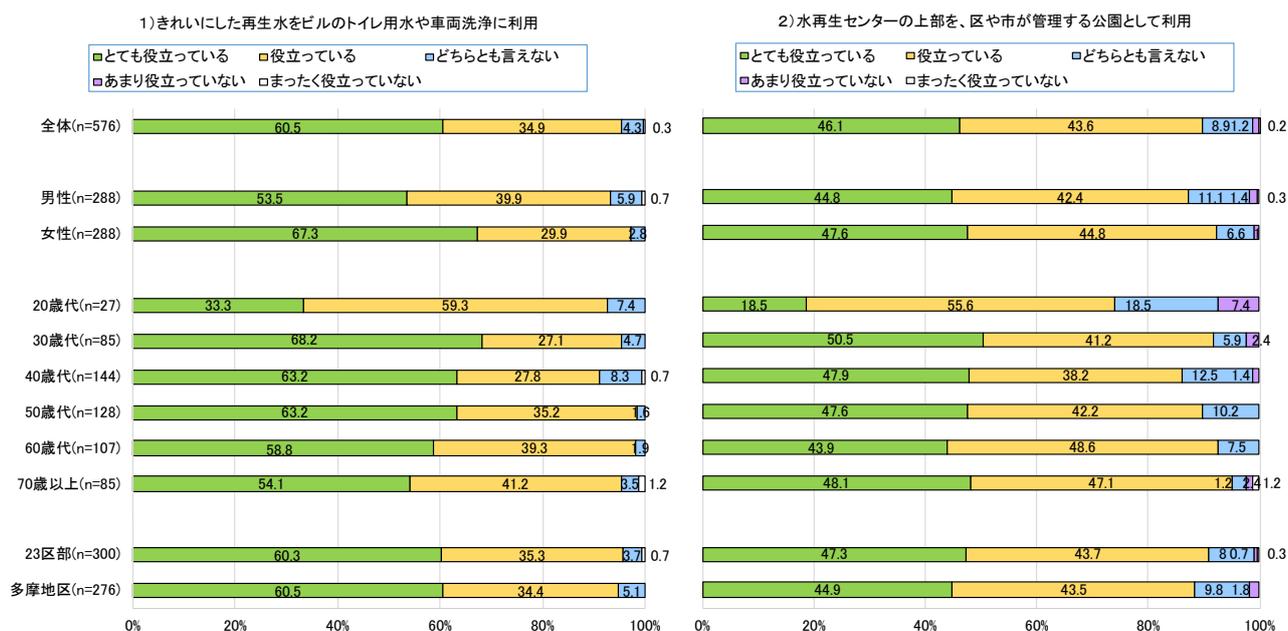


図3-3-2 新たな事業活動の社会的貢献度（性別・年代別・地区別）

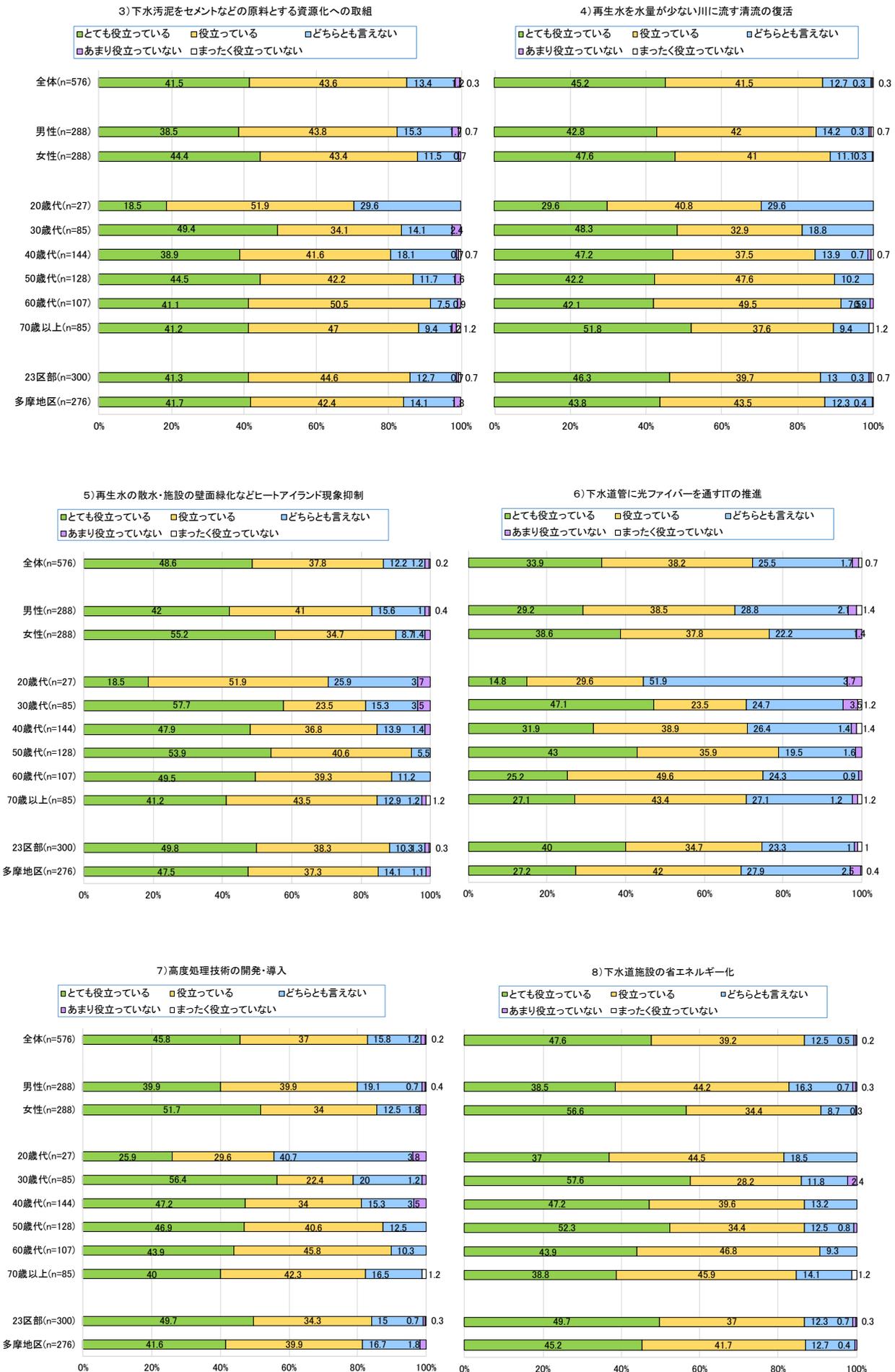


図3-3-2 新たな事業活動の社会的貢献度（性別・年代別・地区別）

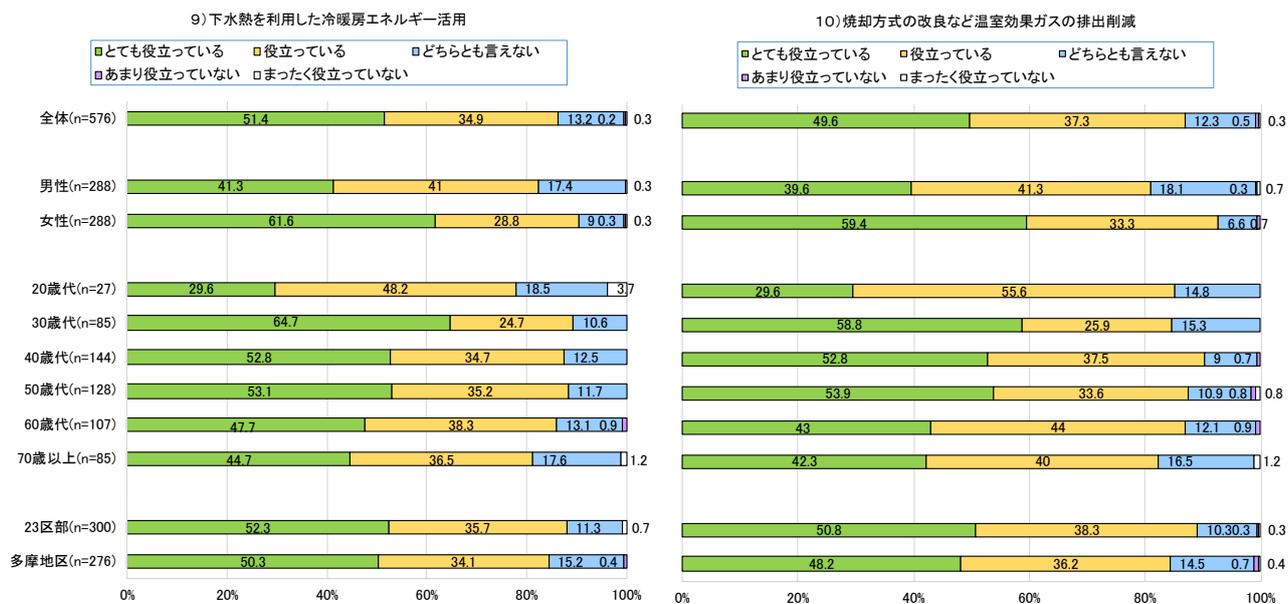


図 3-3-2 新たな事業活動の社会的貢献度（性別・年代別・地区別）

### 3.4 東京都下水道局が行っている「見せる化」について

#### 3.4.1 「見せる化」の認知度

- ◆ 「見せる化」の認知度について、「知っていた」は9.5%となっており、まだ認知は進んでいないことが明らかとなった。
- ◆ 男女別にみると、「知っていた」は男性が11.8%、女性が7.3%となり、男性が女性より4.5ポイント高い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、「知っていた」は23区部が10.0%、多摩地区が9.1%となり、23区部と多摩地区で顕著な差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、「知っていた」は60歳代が15.0%と最も高く、ついで50歳代が11.7%であった。一方、30歳代は2.4%と最も低い結果となった。

Q20 下水道局では、お客さまに下水道事業への理解を深めていただけるよう、平成29年4月に「東京下水道 見せる化マスタープラン」、平成30年3月に「東京下水道 見せる化アクションプラン2018」を策定し、東京下水道の役割、課題や魅力を積極的に発信していく「見せる化」に取り組んでいます。  
あなたは、このことをご存じでしたか？ 以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。

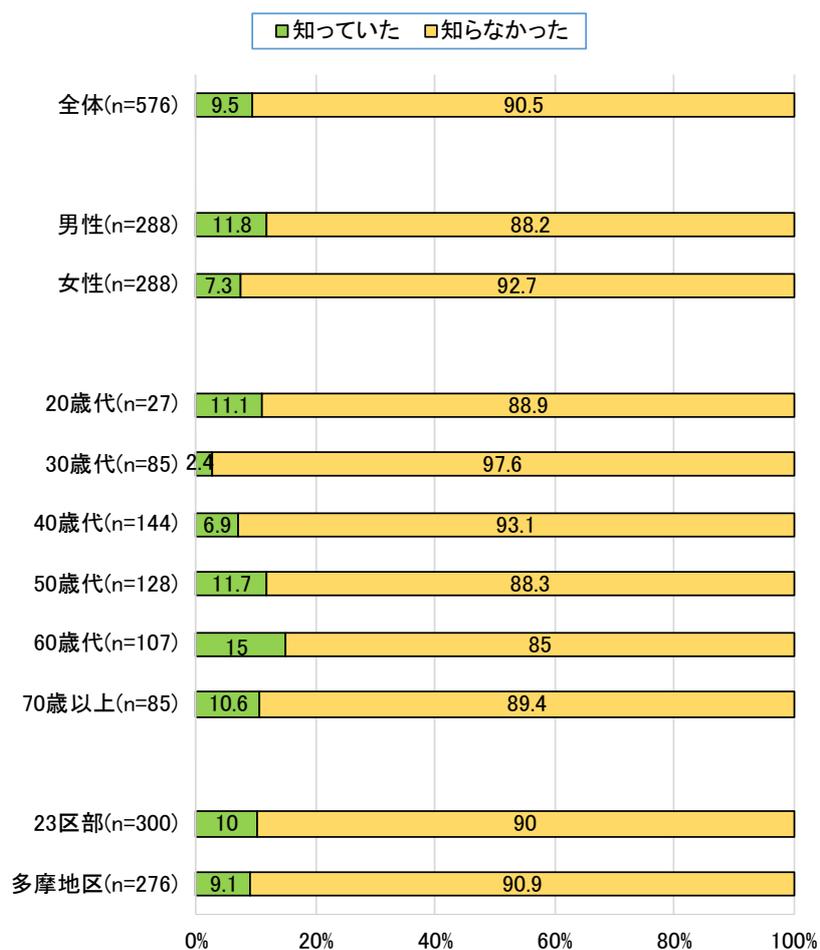


図3-4-1 「見せる化」の認知度

### 3.4.2 「見せる化」の重要度

- ◆ 「見せる化」の重要度について、「とても重要である」が46.6%、「重要である」が46.4%で、「とても重要である」と「重要である」を合わせた『重要である』でみると93.0%となり、「見せる化」は重要な施策であると考える方が多いことが明らかとなった。
- ◆ 男女別にみると、『重要である』は男性では93.4%、女性では92.7%となり、男性と女性で顕著な差は見られなかった。
- ◆ 地区別にみると、『重要である』の割合は23区部が93.7%、多摩地区が92.4%となり、23区部と多摩地区で顕著な差は見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、『重要である』は70歳以上が97.6%と最も高く、次いで40歳代の95.8%、50歳代の94.5%、60歳代の94.4%となった。

Q 2 1 上記の質問でおうかがいした、「見せる化」の取組をあなたは、どう思いますか？ 以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。

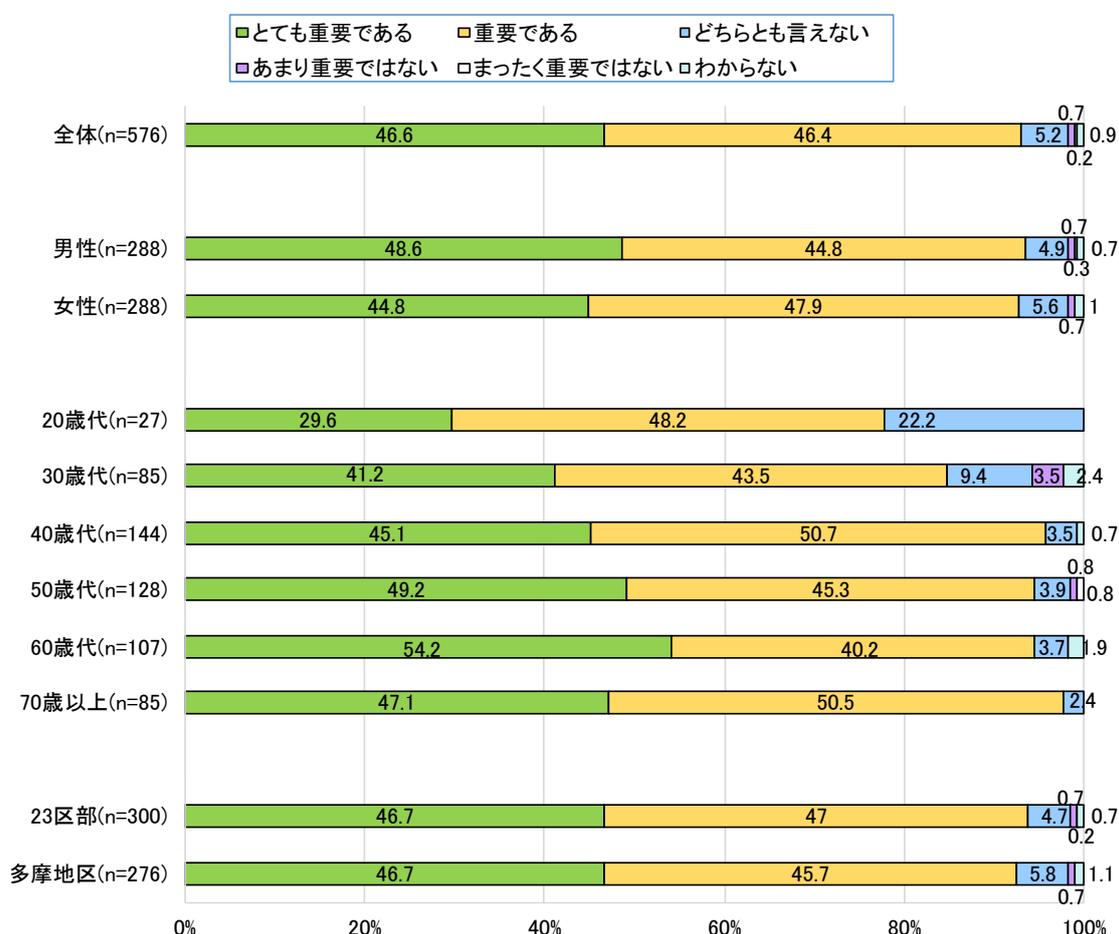


図3-4-2 「見せる化」の重要度

### 3.5 下水道局が行っている活動や取組について

#### 3.5.1 下水道局が行っている活動や取組の浸透度

- ◆ 下水道局が行っている活動や取組の情報について、「あまり得ていない」が46.8%、「ほとんど得ていない」が18.6%で、両者を合わせた『情報を得ていない』の回答率は65.4%となり、多くの方に情報が伝わっていない実情が明らかとなった。
- ◆ 男女別にみると、『情報を得ていない』の回答率は男性が59.7%、女性が71.2%となり、男性に比べ女性の方が情報を得られていない状況が明らかとなった。
- ◆ 年代別にみると、「十分得ている」と「ある程度得ている」を合わせた『情報を得ている』は70歳以上が47.1%で最も高く、次いで60歳代が45.8%となった。一方30歳代は14.1%と最も低い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『情報を得ている』は23区部が42.0%、多摩地区が26.4%となり、23区部が多摩地区より15.6ポイント高い結果となった。

Q22 あなたは東京都下水道局が行っている活動や取組についてどの程度情報を得ていると思いますか？ 以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。

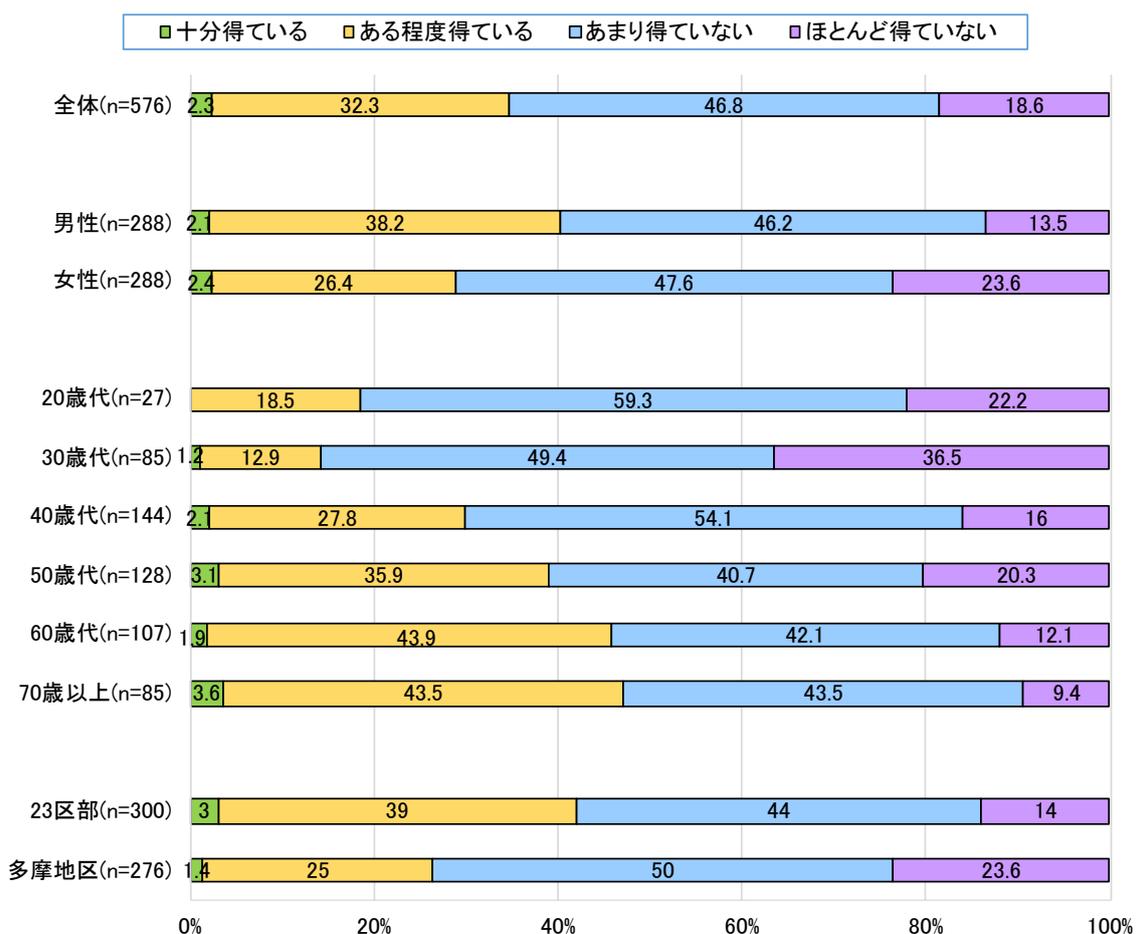


図3-5-1 下水道局が行っている活動や取組についての情報収集

### 3.5.2 下水道局が行っている活動や取組への満足度

- ◆ 下水道局が行っている活動や取組への満足度について、「満足している」と「やや満足している」を合わせた『満足している』は53.7%となり、半数以上の方に満足していただけていることが分かった。
- ◆ 男女別にみると、『満足している』では男性が51.0%、女性が56.3%で、女性が男性より5.3ポイント高い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、『満足している』との回答は、23区部が55.3%、多摩地区が51.8%となり、23区部が多摩地区より3.5ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、70歳以上で満足度が高い傾向を示し、『満足している』は57.7%となり全年代で最も高い結果となった。一方、30歳代では『満足している』は45.9%で最も低い結果となった。

Q 2 3 東京都下水道局が実施している活動や取組について、あなたはどのように感じていますか？ 以下の選択肢の中から、該当するもの一つだけお選びください。

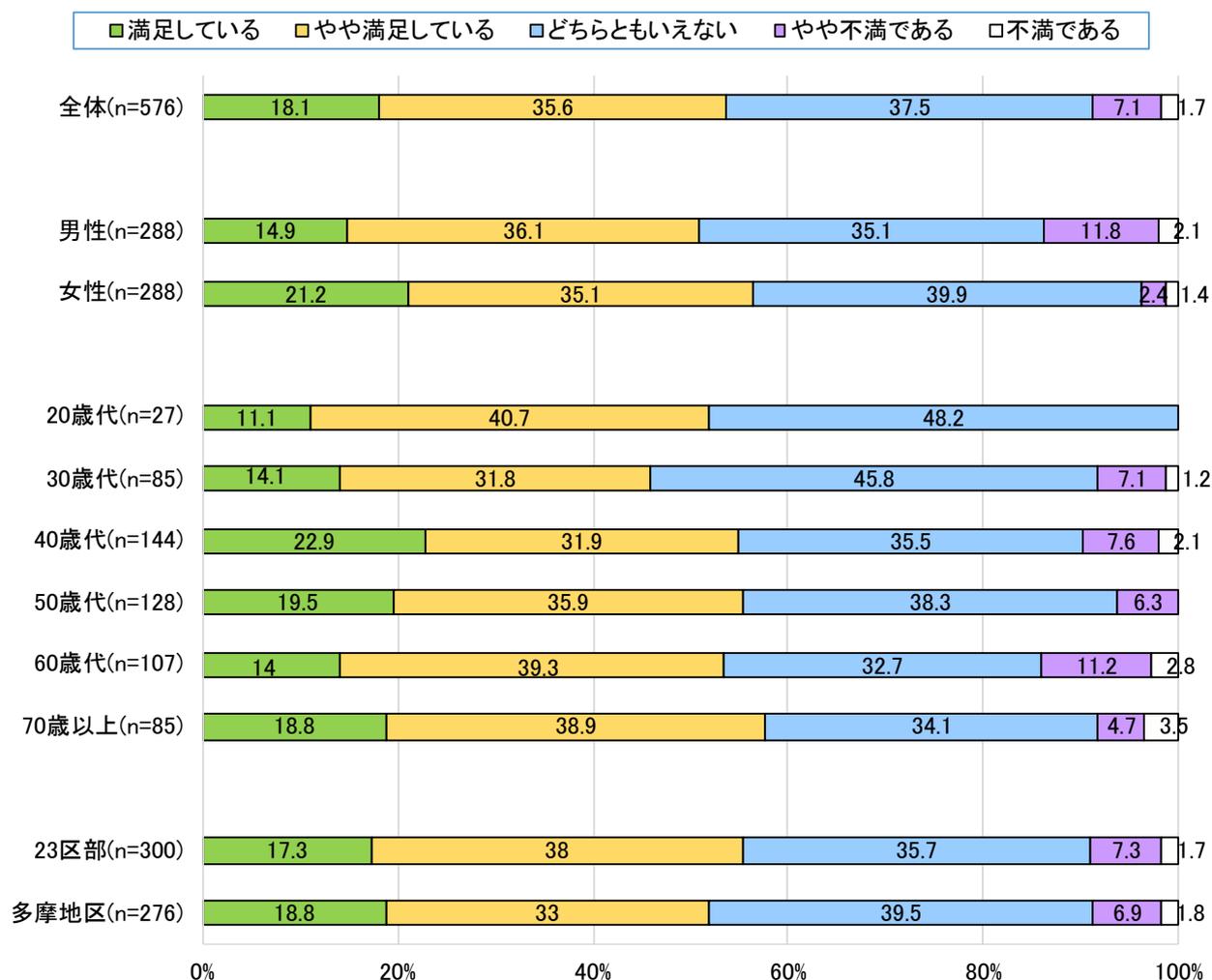


図3-5-2 下水道局が行っている活動や取組の満足度

### 3.6 「見せる化」への効果的な取組について

Q 2 4 下水道はその施設の多くが地下にあって“見えにくく”、暮らしに“あって当たり前”のものとなっており、下水道に関心を持っているお客さまの割合は以前と比べて低くなっています。

こうしたことから、これまでの「見える化」の取組をより体系的で効果的なものへと深化させ、事業の役割や課題、魅力を積極的に発信する「見せる化」に取り組んでいます。東京下水道についてお客さまに関心を持っていただき、その役割や課題について知っていただくためには、施設見学やホームページなどの既存の取組のほかに、どのような取組が効果的だと思いますか？アイデアやご意見をご自由にご記入ください。

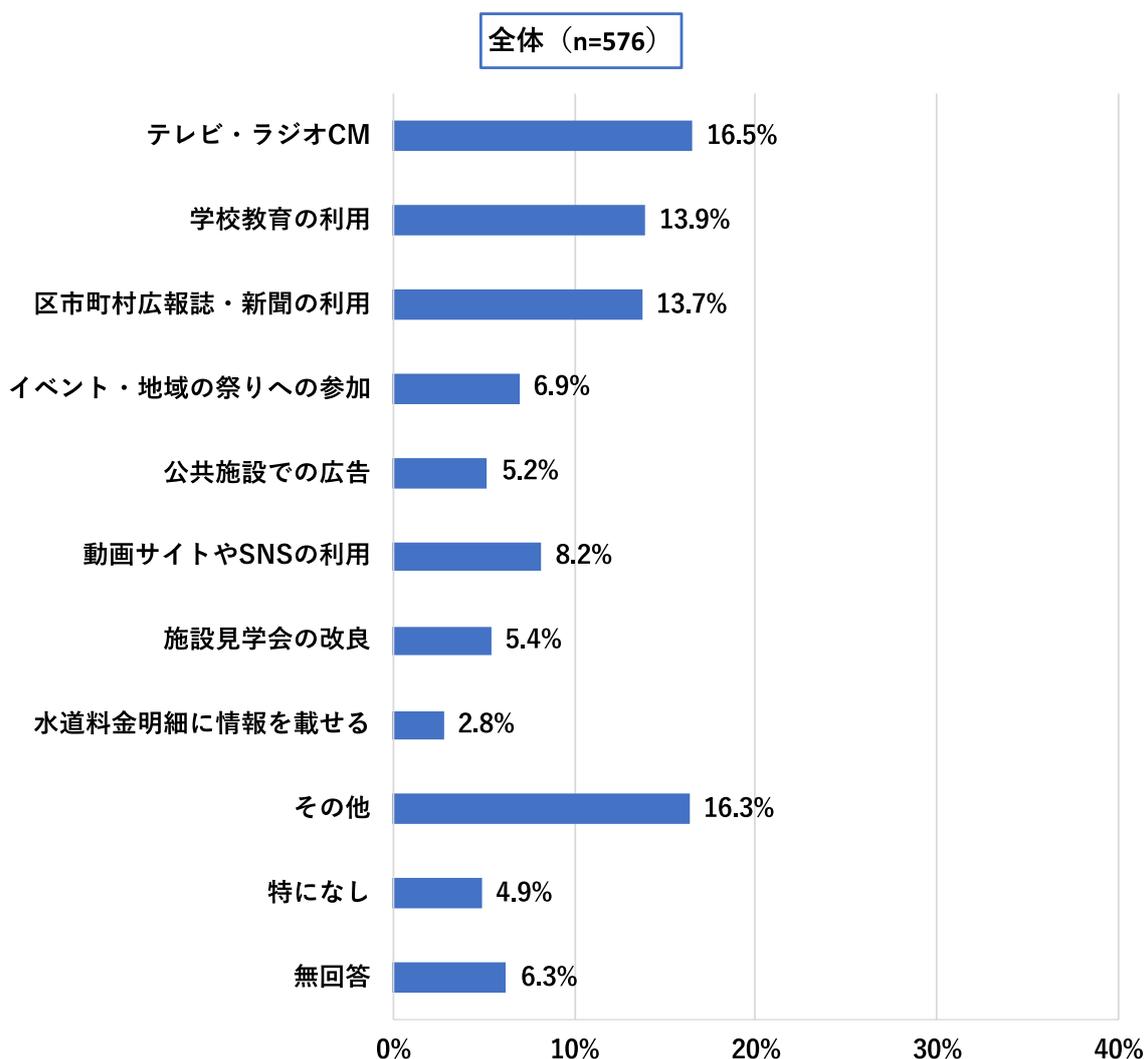


図3-6-1 「見せる化」への効果的な取組に関する意見・アイデア

#### 【「見せる化」への効果的な取組に関する意見・アイデア】

- イベント・地域の祭りへの参加
  - ◇ イベントカーを用意・配備して、各地域に定期的に下水道事業の普及・啓発を図る。
  - ◇ 地域のイベントへの参画、学校訪問、大学イベントでの展示。
  - ◇ 家族向けのイベントを通じて親しみを持ってもらう。

- 公共施設での広告・宣伝
  - ◇ 街頭、電車の中吊り広告、TV、ユーチューブなどのCMは多くの人の目に触れる機会が多く、下水道に関心を持つ人が増えるのではないかと思います。
  - ◇ 私は公共施設(コミュニティセンター内)のお手洗いを使用した際に再生水を使っている事を知りました。
  - ◇ 電車やバス等の広告のように取り組みを周知したり、誰もが何気なくみるような場所に貼ってあったりしたら良いのではないかと思います。
  
- 広報誌など紙媒体での広告
  - ◇ 新聞、雑誌などに記事広告を掲載する。特に女性向け生活雑誌などに掲載すれば、読者は興味を持って読むと思う。
  - ◇ 都の広報など、やはり紙面による発信は高齢者も含めて手っ取り早く有効だと思います。
  - ◇ 区報に掲載する(都報より読む頻度や確率が高いため)
  
- 学校教育の一貫にする
  - ◇ 小中学生の授業に取り入れる
  - ◇ 幼稚園や小学校を通じた取組みアナウンス、および幼稚園や小学生の課外学習の積極的な受け入れ。
  - ◇ パンフレット作成、学校教育、ポスター(絵の募集)、イベントの開催、標語の募集など。
  
- テレビ・ラジオでの宣伝
  - ◇ テレビ番組等で取り上げてもらう。
  - ◇ 在宅が多い昨今の取組として、テレビやラジオでの発信も有効だと思います。
  
- SNSや動画サイトでのPR
  - ◇ 子供たちや若い世代に下水道の役割や必要性を知ってもらうために、人気 YouTuber などを下水道ツアーに招待し、発信してもらうのが良いと思う。
  - ◇ YouTube で気軽に視聴できるチャンネルを作る。(下水道管の内部の映像など)
  - ◇ SNS で気軽に訪問できるサイトの運営。クイズに答えるとプレゼントを貰える企画。
  
- 水道料金の請求書と同封する
  - ◇ 水道料口座振替用紙配布の時にその裏に印刷または別紙で配布する。
  - ◇ 料金明細に、取組み紹介ホームページのQRコードを記載。
  
- 見学会
  - ◇ 自宅近所に関連施設があるが、一般住民への見学会の開催を通して重要さを理解させる。
  - ◇ 一部の実物の下水管を見せることを目的とした施設として作ればどうか？そこに様々なファンクションを持っている実物を置くようにして、理解を促進する。
  - ◇ 展示施設などの利用。
  
- その他
  - ◇ テレビ会議方式への参加
  - ◇ コロナの菌の有無を調べ、公開する。
  - ◇ 下水道マイスターみたいな免許証みたいなカードがあると、子供と一緒にとりたくなる。
  - ◇ アニメーションや有名な若手俳優等とコラボして、下水道を取り上げた方が、世間に訴えかける力があるかと思っています。

### 3.7 東京アメッシュについて

#### 3.7.1 「東京アメッシュ」の認知度

- ◆ 「東京アメッシュ」について、「知っている（利用している・利用したことがある）」は34.2%、「知っている（利用したことはない）」は17.2%で、両者を合わせた『知っている』は51.4%であった。
- ◆ 男女別にみると、「知っている（利用している・利用したことがある）」では男性が38.2%、女性が30.2%と、男性が女性より8.0ポイント高い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、「知っている（利用している・利用したことがある）」では23区部が39.7%、多摩地区が28.3%と、23区部が多摩地区より11.4ポイント高い結果となった。
- ◆ ・年代別にみると、『知っている』は50歳代が57.0%と最も高く、ついで40歳代が55.6%となっており、30歳代が41.2%と最も低い結果となった。

Q 2 5 あなたは「東京アメッシュ」について、ご存知でしたか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選び下さい。

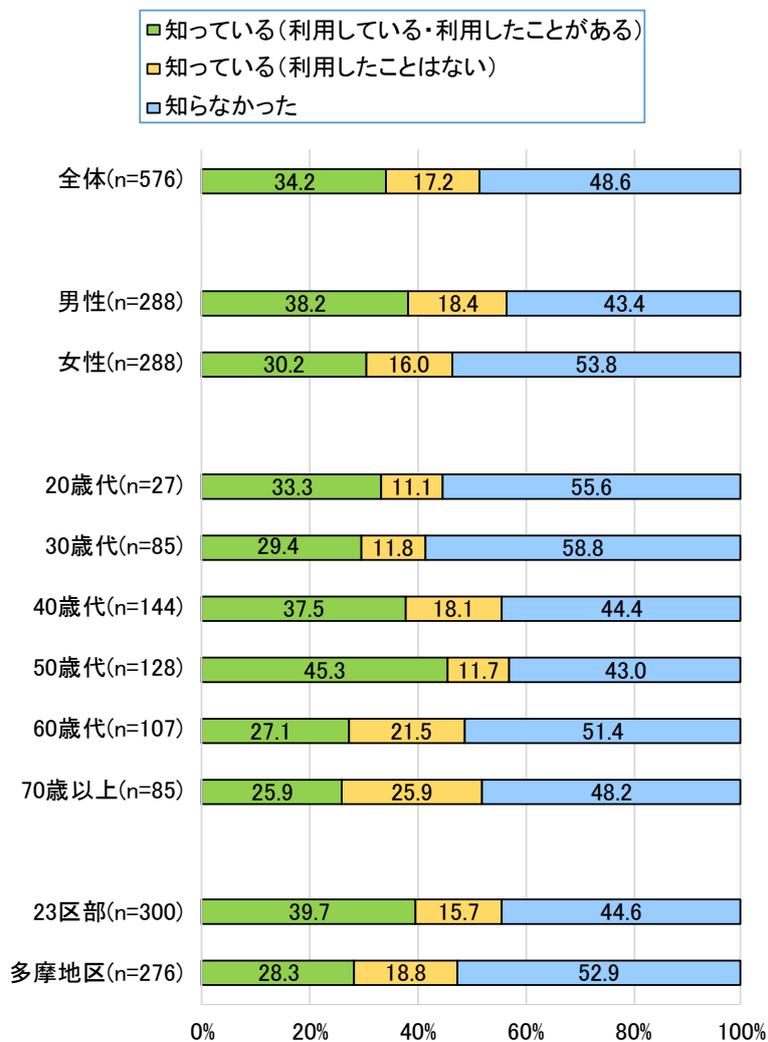


図3-7-1 「東京アメッシュ」の認知度

### 3.7.2 「東京アメッシュ」の利用媒体

- ◆ 「東京アメッシュ」を「利用している・利用したことがある」方（全体数 197 名）の利用媒体は、「パソコン」が最も多く 71.6%（141 名）、次いで「スマートフォン」が 66%（130 名）、「タブレット」は 15.2%（30 名）となった。
- ◆ 男女別にみると、男性は「パソコン」、「スマートフォン」、「タブレット」の順で高い割合となり、女性では「スマートフォン」、「パソコン」、「タブレット」の順で高い割合になった。
- ◆ ・年代別にみると、30 歳代では「スマートフォン」の割合が 76%で最も高く、60 歳代と 70 歳以上では「パソコン」の利用度が他媒体と比較して高いことが明らかとなった。

Q 2 5 - 1 (1) 上記Q25で、「1」を選択した方におうかがいします。

あなたは、「東京アメッシュ」を利用する際、何を使用してご覧になっていますか？ 以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。

(※表は、Q 2 5 で知っている（利用している・利用したことがある）と回答しているものからの割合)

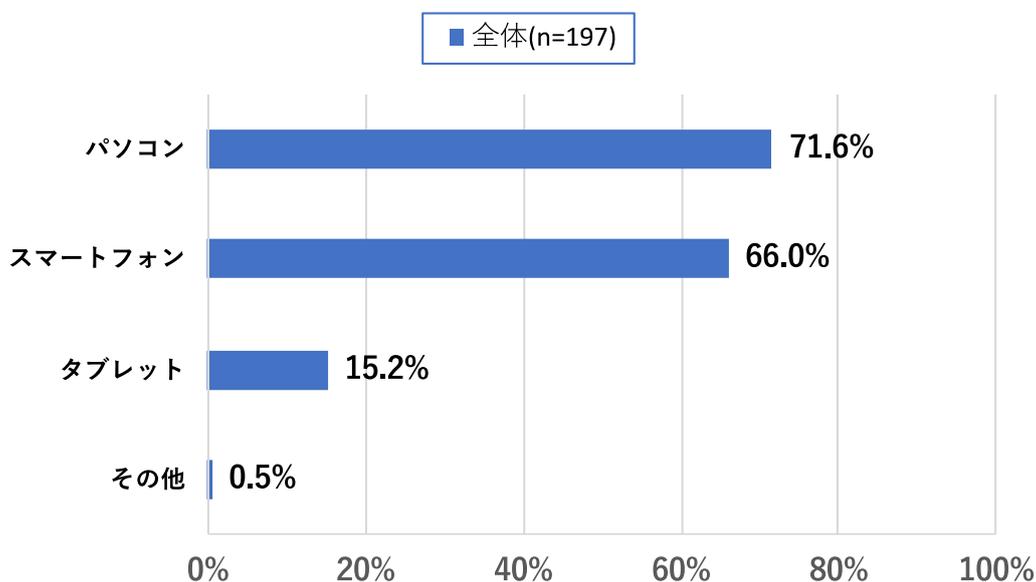


図 3 - 7 - 2 - 1 「東京アメッシュ」の利用媒体（全体）  
（利用している・利用したことがある）

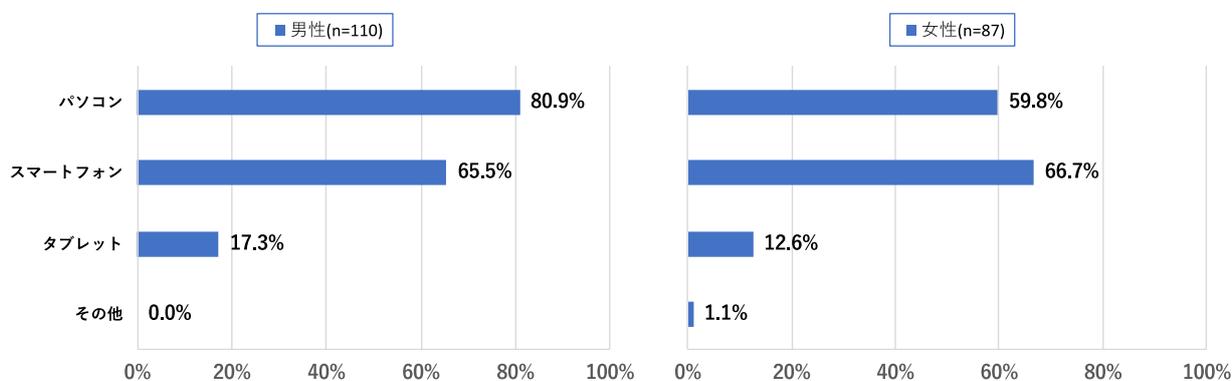


図 3 - 7 - 2 - 2 「東京アメッシュ」の利用媒体（性別）

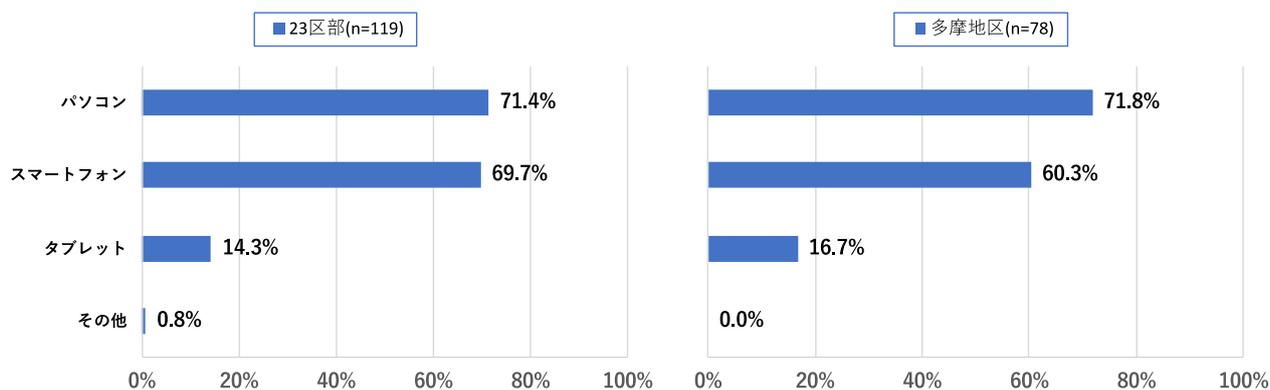


図3-7-2-3 「東京アメッシュ」の利用媒体（地区別）

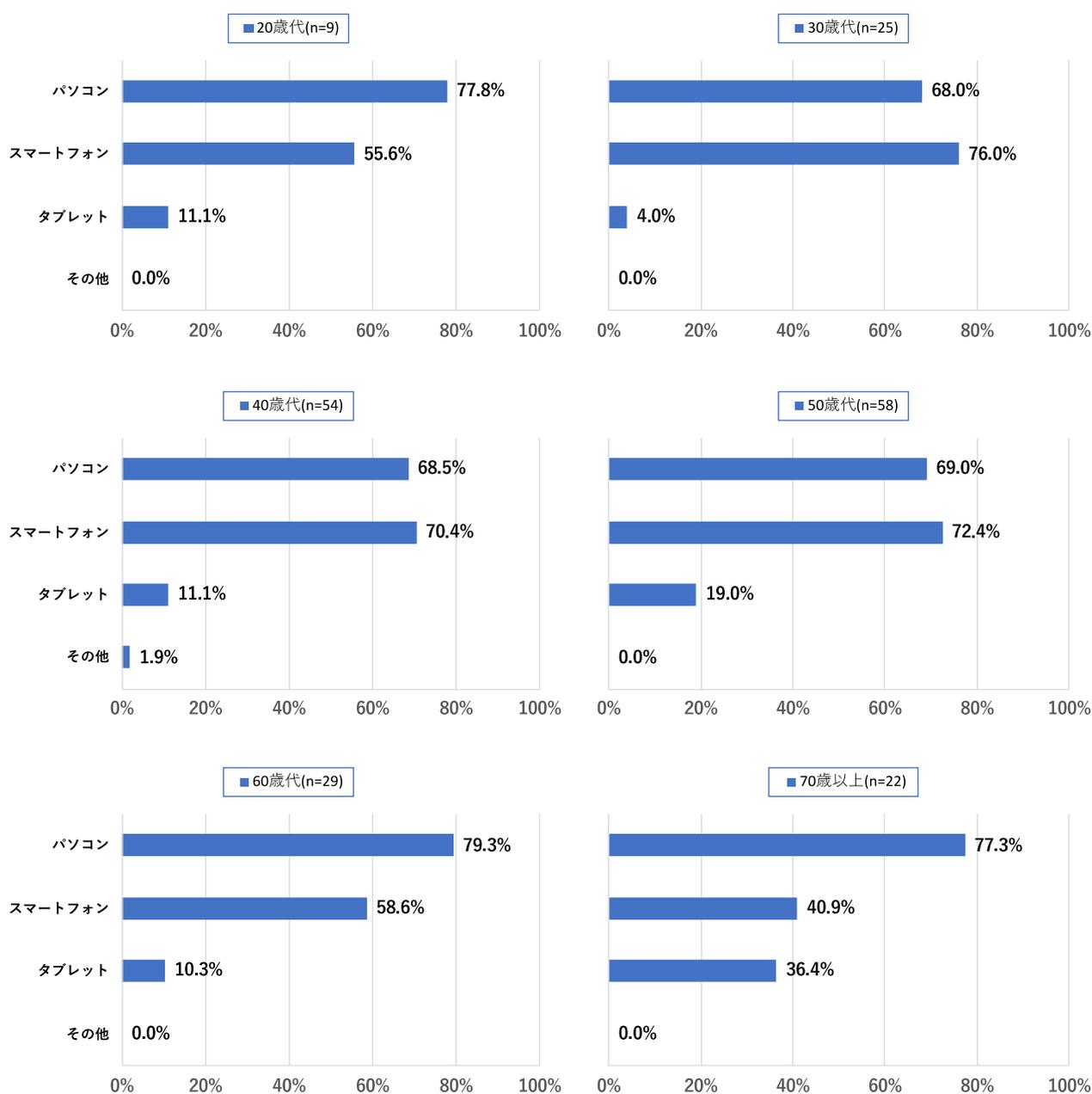


図3-7-2-4 「東京アメッシュ」の利用媒体（年代別）

### 3.7.3 「東京アメッシュ」の利用に際してのアクセス方法

- ◆ 「東京アメッシュ」を「利用している・利用したことがある」方（全体数 197 名）の利用に際してのアクセス方法について、「東京アメッシュ」と検索して利用」が最も多く 56.3%（111 名）、次いで「お気に入りやホーム画面に登録して利用」が 48.2%（95 名）となった。
- ◆ 男女別にみると、利用方法に差が見られ、男性では「お気に入りやホーム画面に登録して利用」される方が多かったが、女性では「東京アメッシュ」と検索して利用」される方が多い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、多摩地区では「お気に入りやホーム画面に登録して利用」に比べ「東京アメッシュ」と検索して利用」の割合がやや多いことが分かった。
- ◆ 年代別にみると、利用方法に差が見られ、70 歳以上では「お気に入りやホーム画面に登録して利用」の割合が高かったが、30 歳代では「東京アメッシュ」と検索して利用」される方の割合の方が高い結果となった。

Q 2 5 - 1 ( 2 ) 「東京アメッシュ」を利用する際、どのようにアクセスして利用していますか？ 以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。

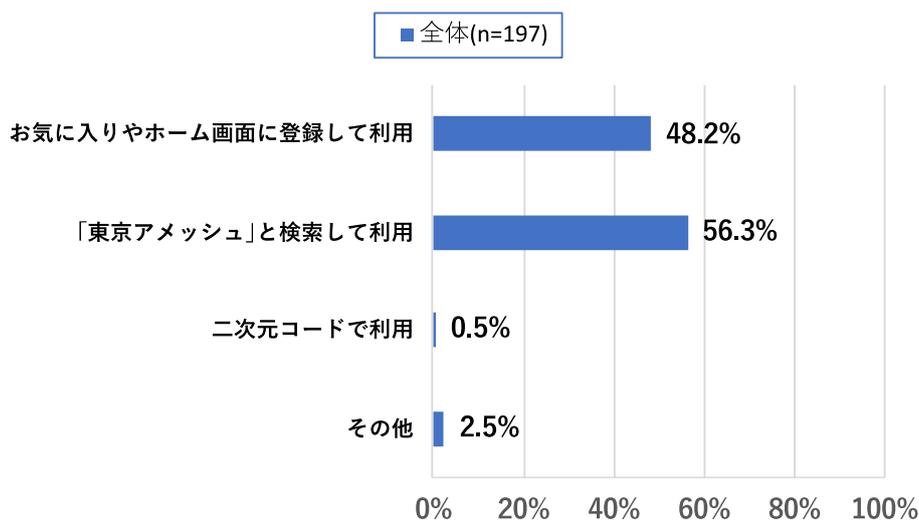


図 3 - 7 - 3 - 1 「東京アメッシュ」のアクセス方法（全体）

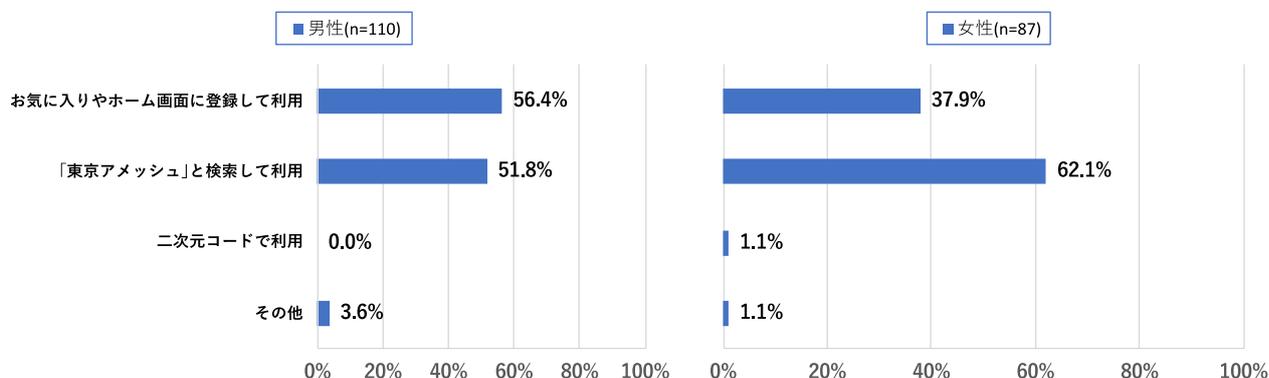


図 3 - 7 - 3 - 2 「東京アメッシュ」へのアクセス方法（性別）

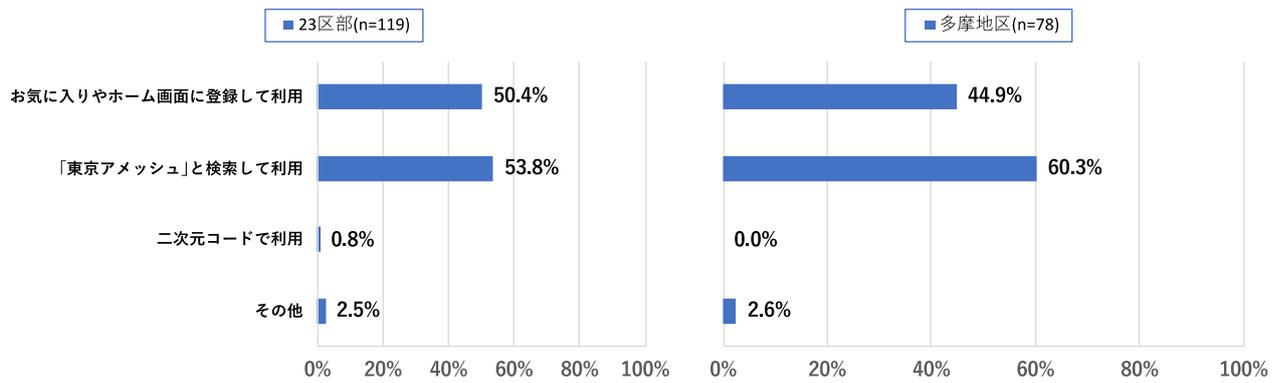


図 3-7-3-3 「東京アメッシュ」へのアクセス方法（地区別）

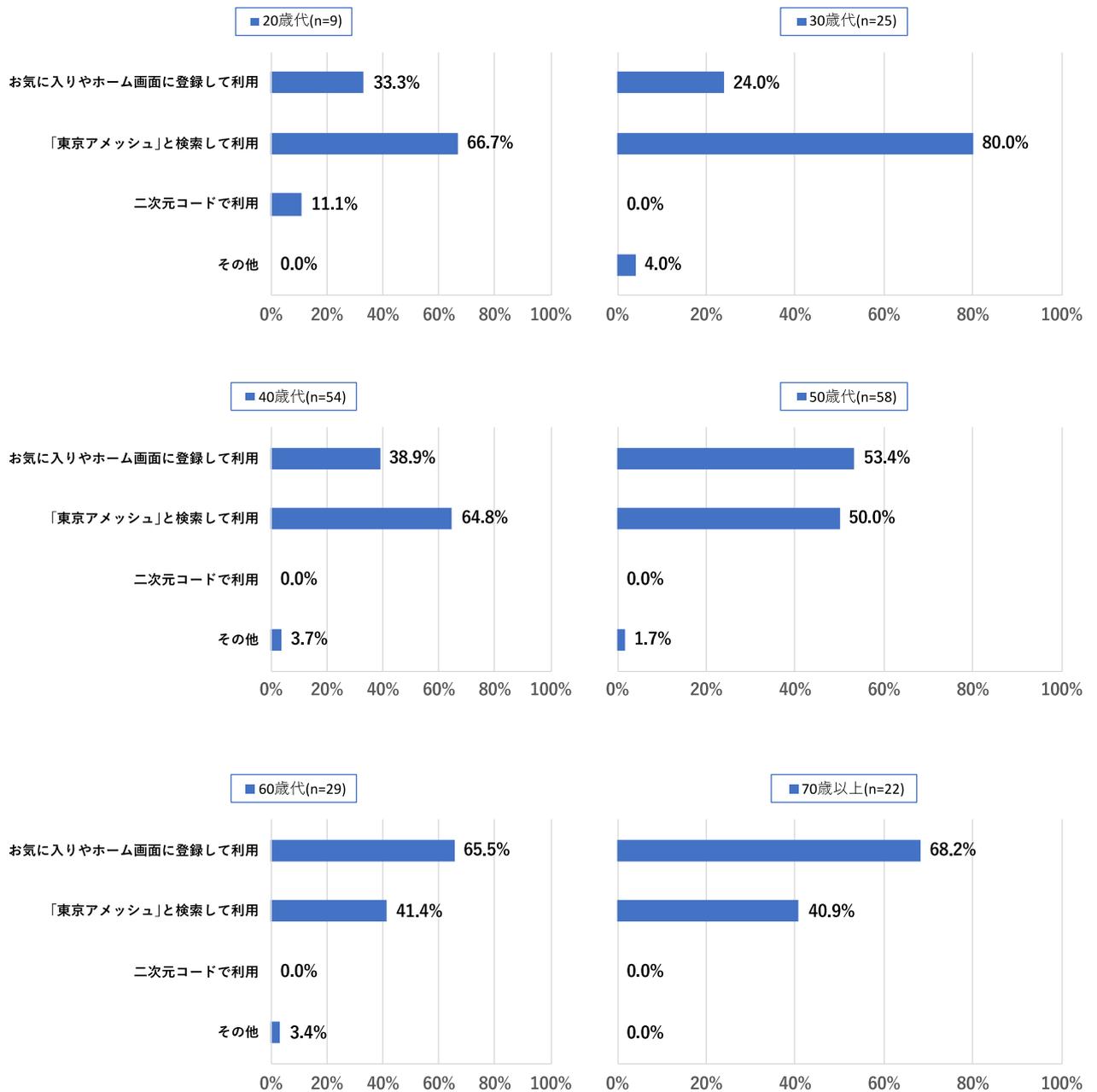


図 3-7-3-4 「東京アメッシュ」へのアクセス方法（年代別）

### 3.7.4 「東京アメッシュ」の利用方法

- ◆ 「東京アメッシュ」の利用方法について、「お出掛けの時」が71.6%と最も高く、次いで「通勤や通学時」が53.3%、「洗濯物や布団を干す時や取込む時」が36.5%となった。
- ◆ 男女別にみると、男性、女性ともに利用方法の上位は、「お出掛けの時」、「通勤や通学時」、「洗濯物や布団を干す時や取込む時」であったが、女性に比べ男性では、「工事や仕事など屋外作業の準備」といった屋外での作業時に多く利用される傾向が見られた。
- ◆ 地区別にみると、23区部と多摩地区は同様な傾向が見られた。
- ◆ 年代別にみると、20歳代が「通勤や通学時」の利用が多かったが、20歳代以外では「お出掛けの時」の利用が多い傾向が見られた。

Q25-1 上記Q25で、「1」を選択した方におうかがいします。

(3)どのような時に「東京アメッシュ」を利用していますか？以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。

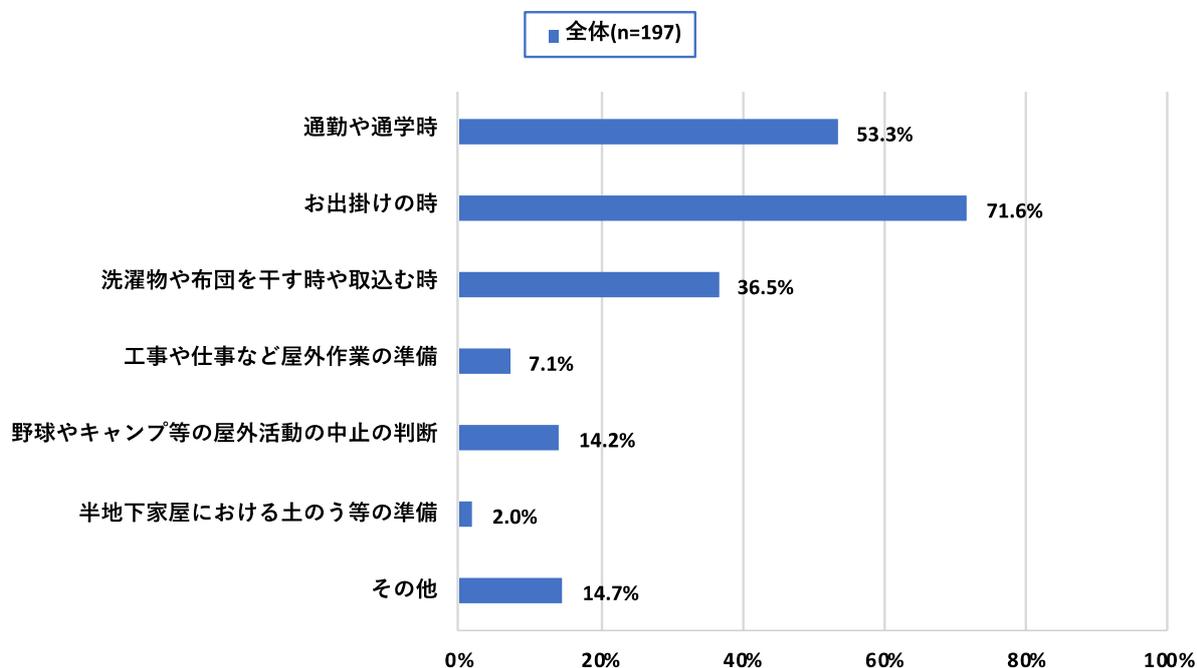


図3-7-4-1 「東京アメッシュ」の利用方法

表3-7-4 その他の利用方法

No.	その他	件数
1	台風や豪雨などの緊急性がある時	7
2	大雨になりそうとき	6
3	天気を詳しく知りたい時	6
4	災害発生前後	3
5	降雨が予想される時、場所、時間は問わず	2
6	日常的には使用していない。特に旅行などの遠出をする際のみ閲覧する。	1

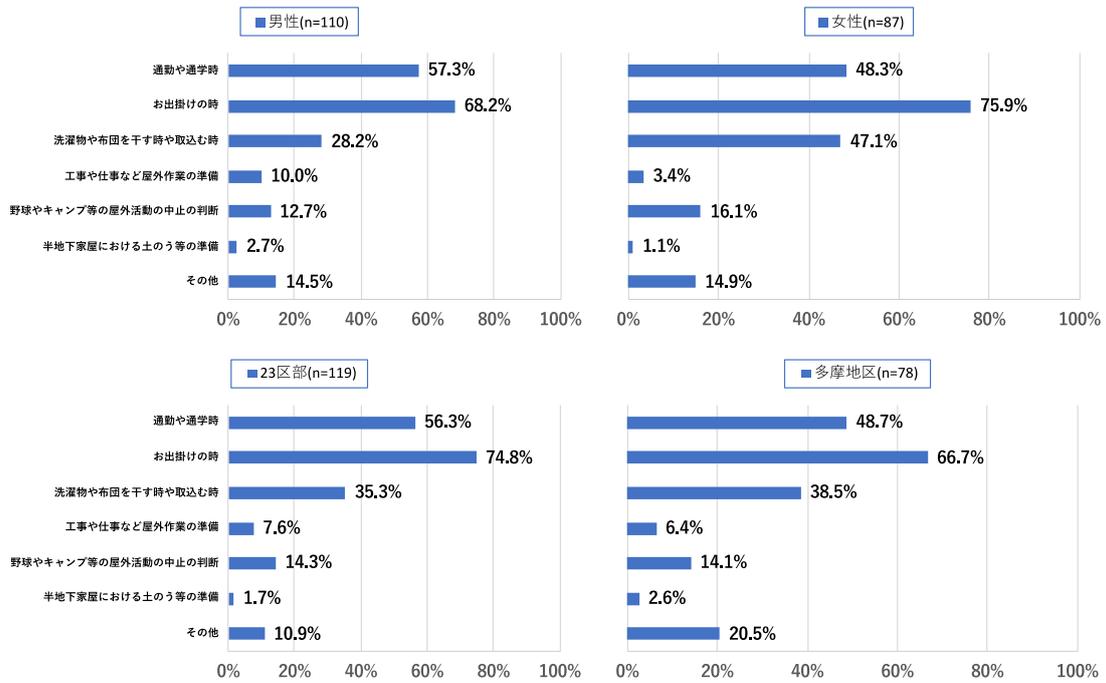


図3-7-4-2 「東京アメッシュ」の利用方法（性別・地区別）

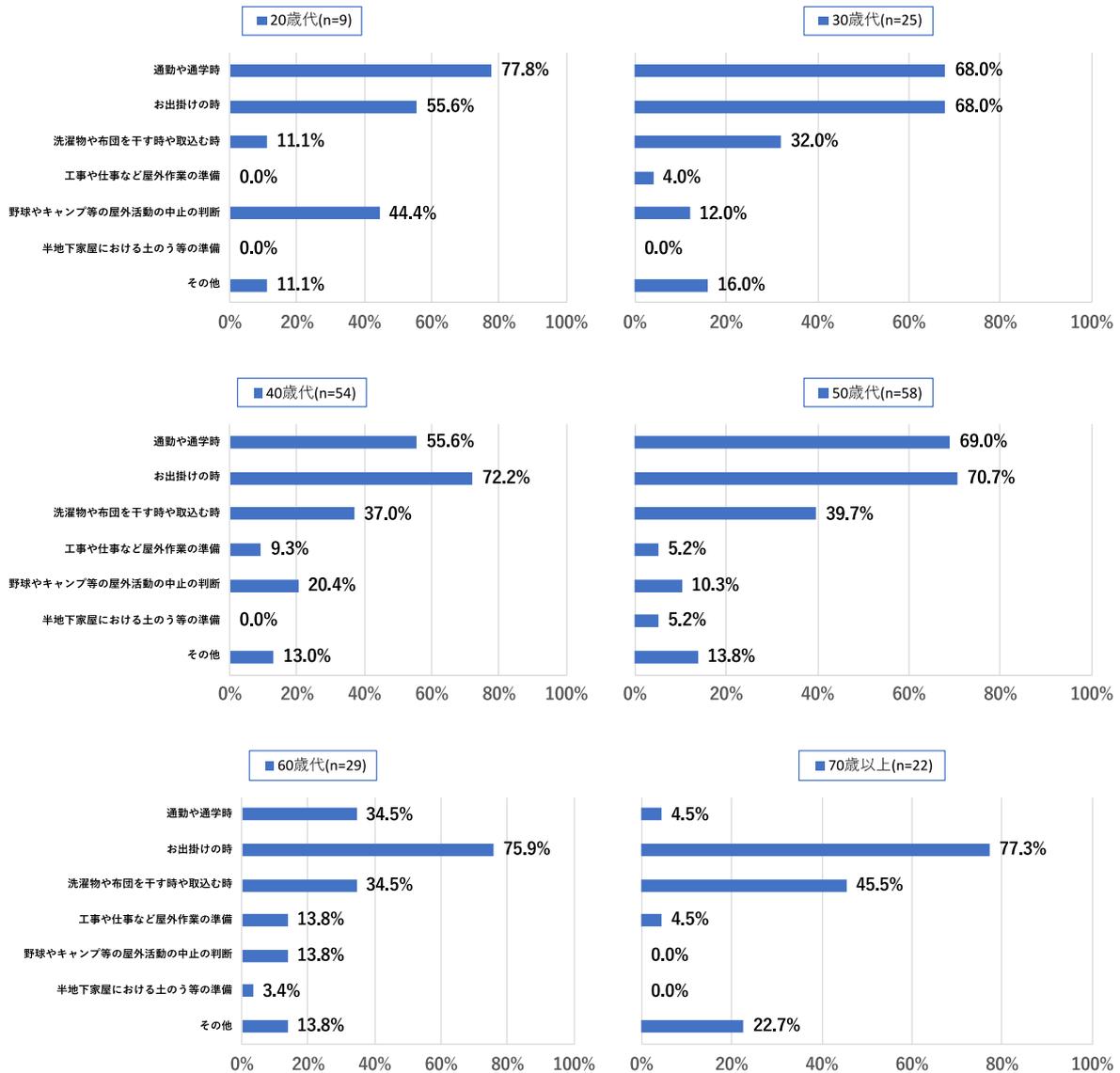


図3-7-4-3 「東京アメッシュ」の利用方法（年代別）

### 3.7.5 「東京アメッシュ」以外に利用している降雨情報

- ◆ 「東京アメッシュ」以外に利用している降雨情報について、「利用していない」との回答が29.3%と最も多かった。次いで「防災速報」が9.2%、「東京都防災アプリ」が6.6%となった。
- ◆ 男女別、地区別では、顕著な違いは見られなかった。
- ◆ 年代別にみると、「防災速報」では70歳以上が16.5%、「東京都防災アプリ」では20歳代が11.1%と最も多い結果となった。

Q25-2 上記Q25で「2」及び「3」を選択した方におうかがいとお知らせをします。

(1)「東京アメッシュ」以外に利用している降雨情報はありますか？以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選びください。

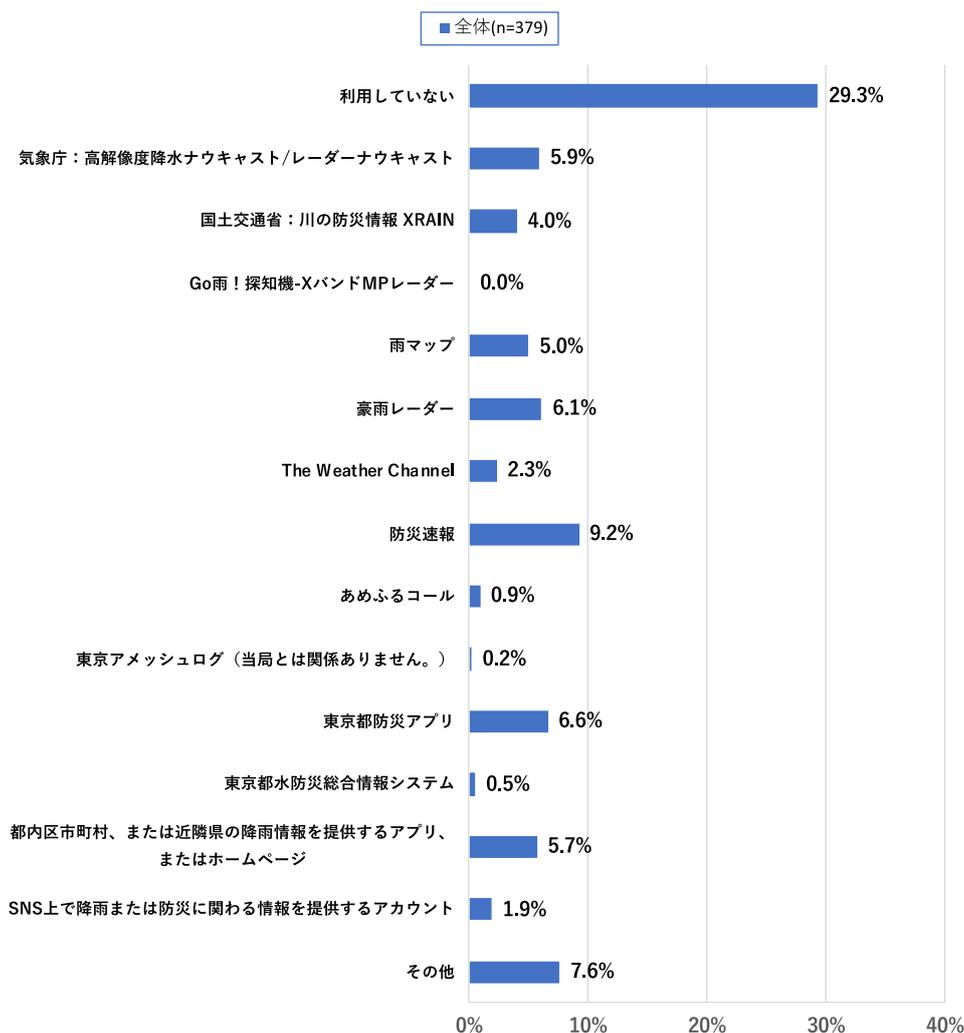


図3-7-5-1 「東京アメッシュ」以外に利用している降雨情報（全体）

表3-7-5 「アメッシュ東京」以外に利用している降雨情報

No.	その他	件数
1	Yahoo!天気	39
2	区市町村のHP、メール	6
3	テレビのデータ情報	3
4	Weather News	2

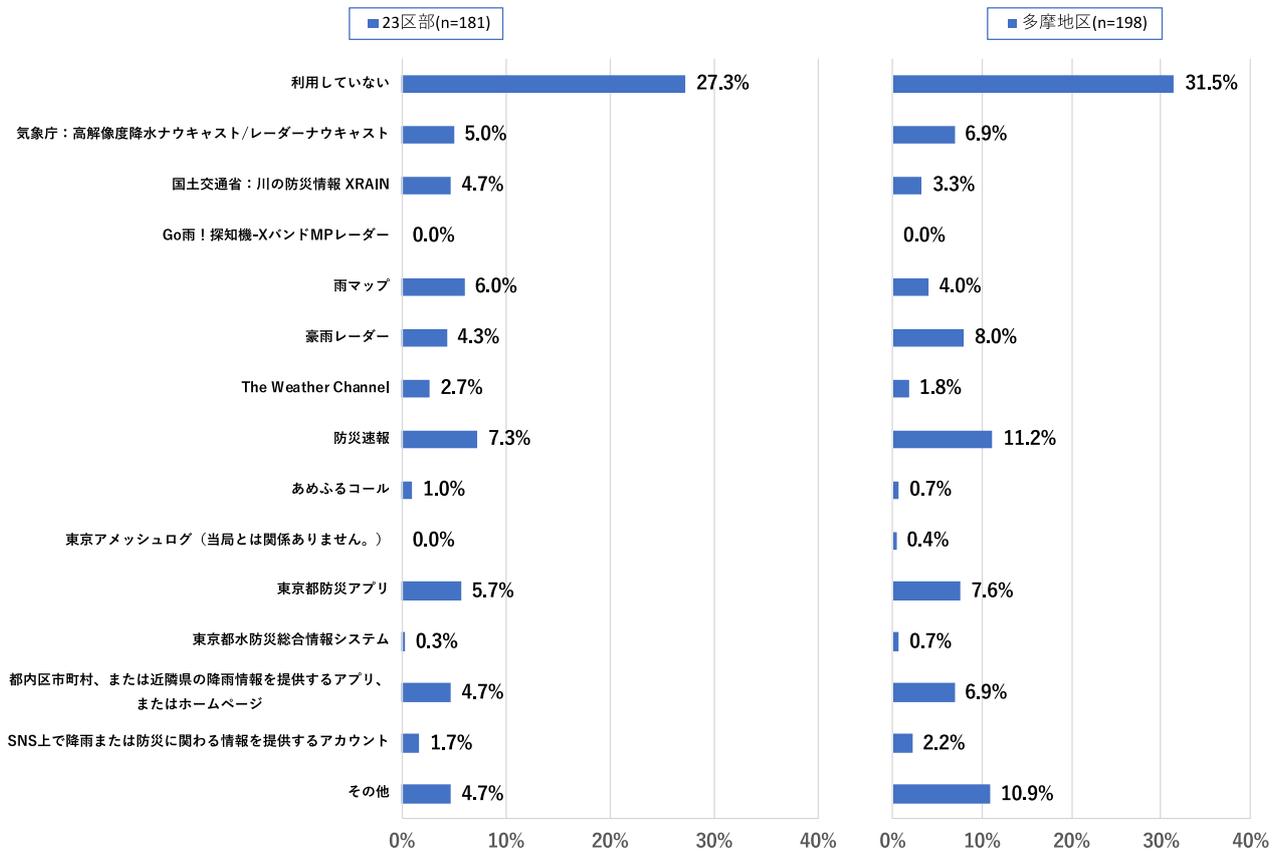
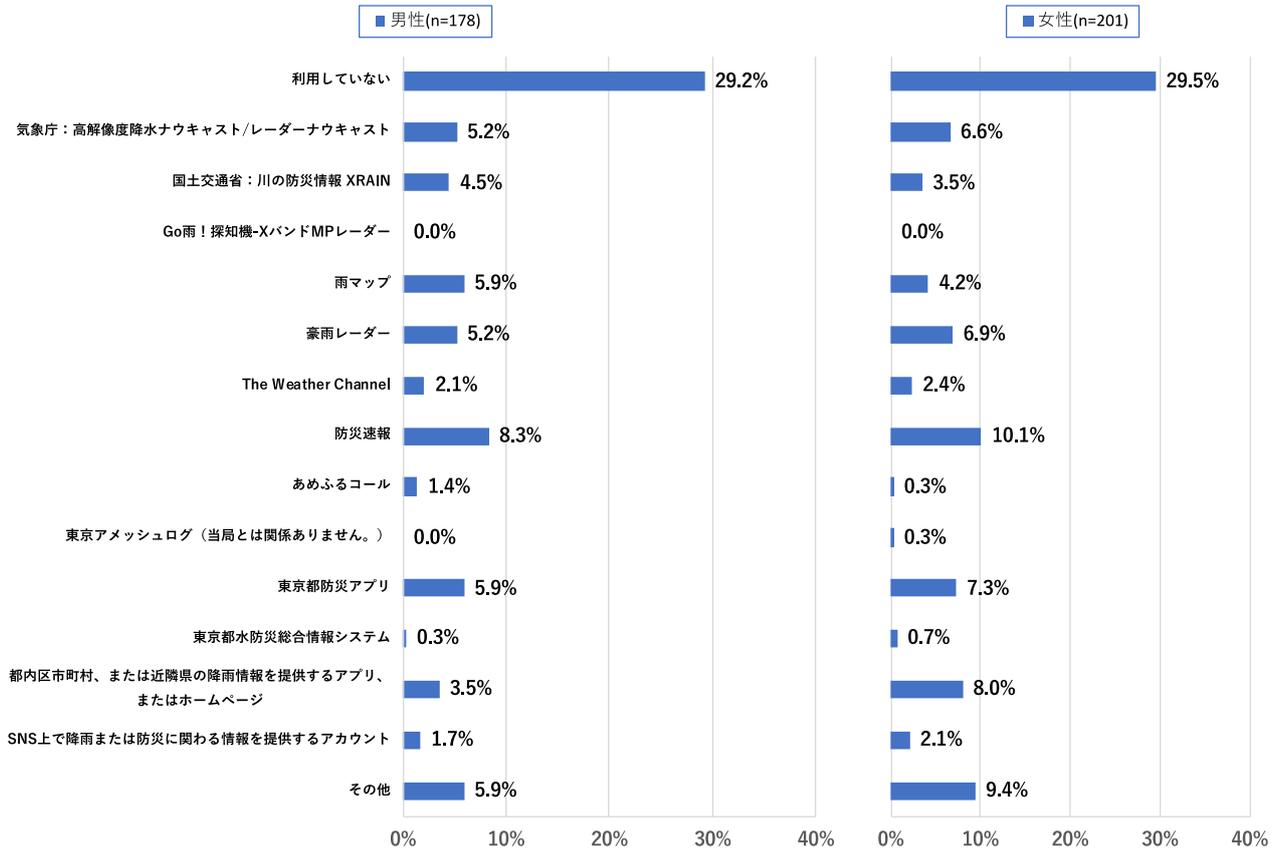


図3-7-5-2 「東京アメッシュ」以外に利用している降雨情報（性別・地区別）

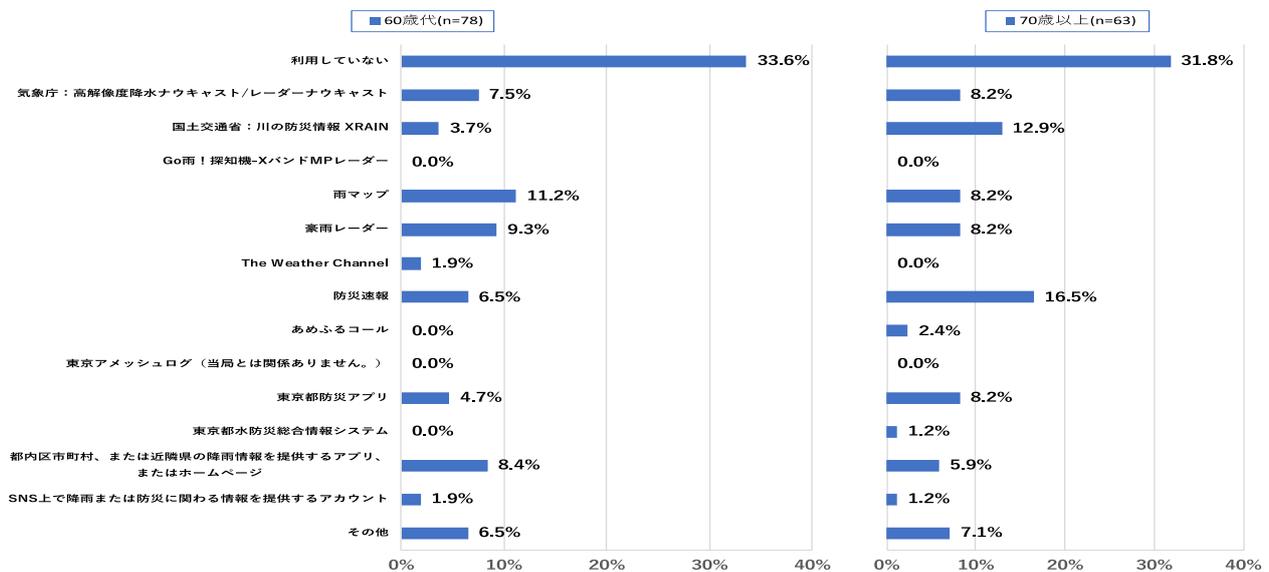
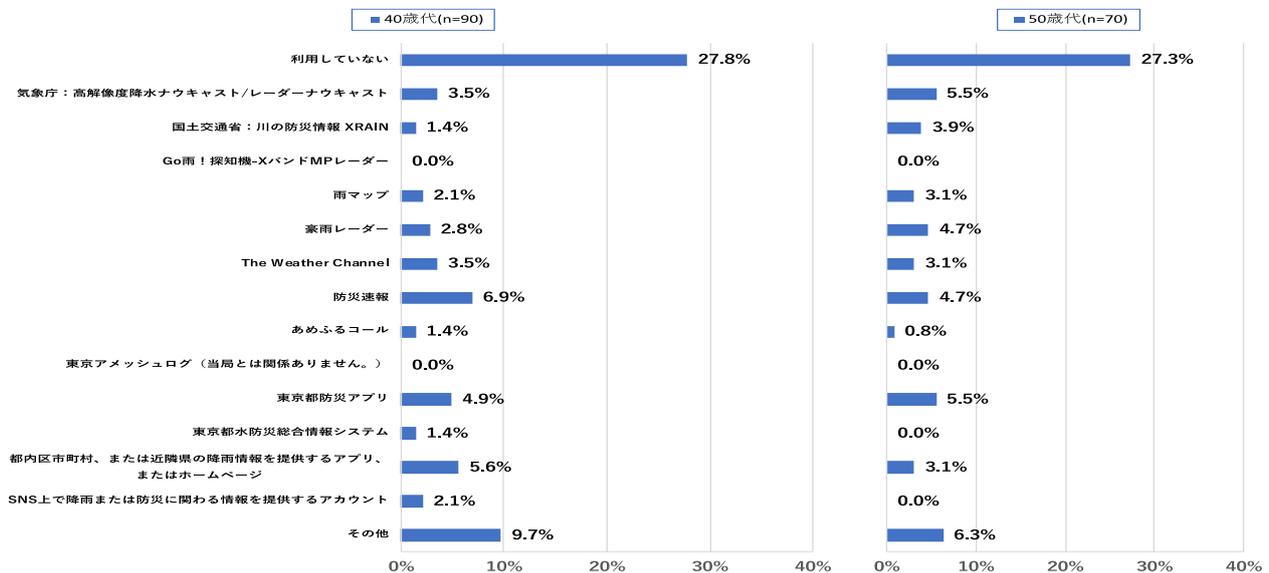
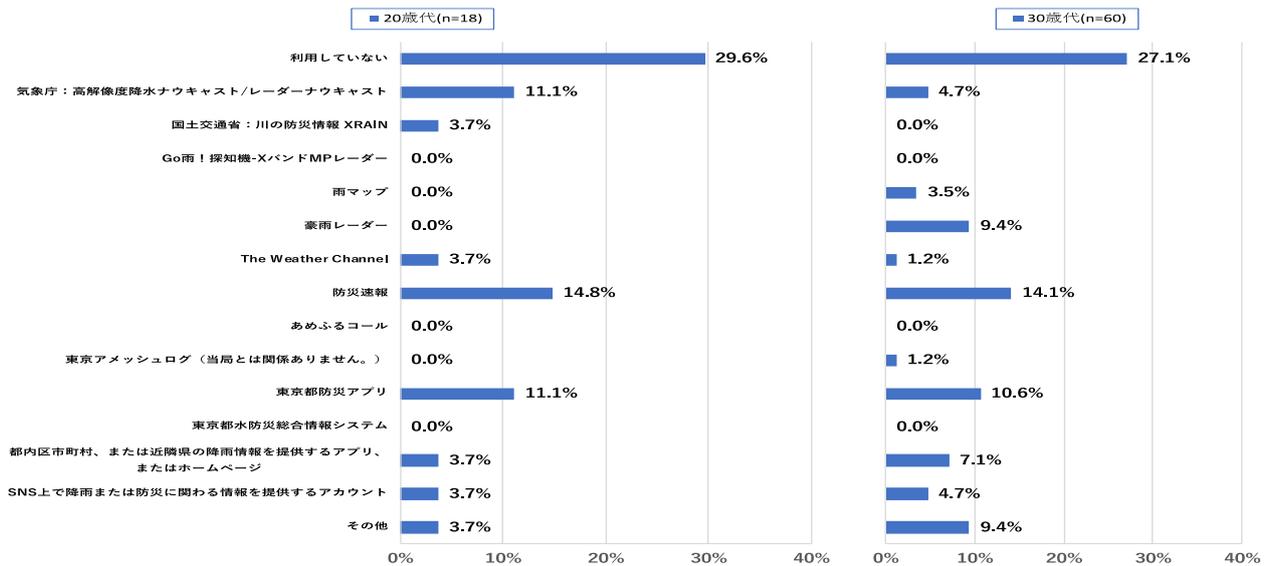


図3-7-5-3 「東京アメッシュ」以外に利用している降雨情報（年代別）

### 3.8 下水道事業の評価基準

- ◆ 下水道事業を評価する基準について、「公共性」が87.7%と最も高く、次いで「災害リスク対応度」が81.4%、「環境貢献度」が73.1%となった。
- ◆ 男女別にみると、下水道事業を評価する基準は、男性、女性ともに「公共性」、「災害リスク対応度」、「環境貢献度」の順であった。
- ◆ 地区別にみると、23区部・多摩地区ともに評価基準は、「公共性」、「災害リスク対応度」、「環境貢献度」の順となった。
- ◆ 年代別にみると、年代が上がるとともに「公共性」、「災害リスク対応度」、「環境貢献度」に顕著な差が見られなくなり、「経済性」に比べ、これら3つの要因の重要性は増していることが示唆された。

Q 2 6 あなたが下水道事業を評価する基準で重視しているのは、どのようなことですか？以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。

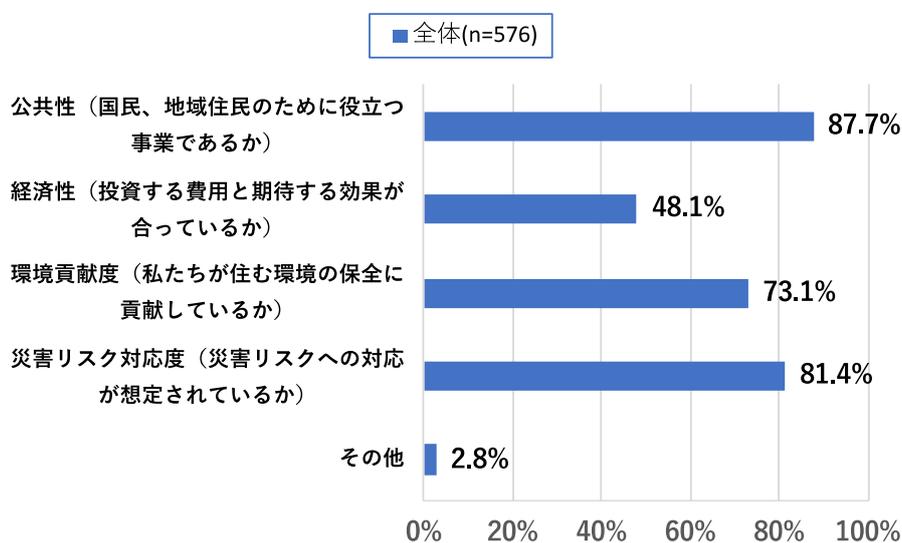


図 3-8-1-1 下水道事業を評価する基準（全体）

表 3-8-1 評価する基準（その他）

No.	その他
1	設備の安全性、老朽化度
2	事業の継続性(メンテナンス)
3	新たな価値の創造
4	下水道水の更なる有効資源化
5	公衆衛生
6	下水道料金
7	SDGs の積極的な取組み
8	高度な処理技術などを途上国に伝授しているか
9	地味な事業だからこそ、もっと積極的にPRしてほしい。
10	民間が管理することの無いようにすること。財政危機にならないよう長期目線で考えてほしい。

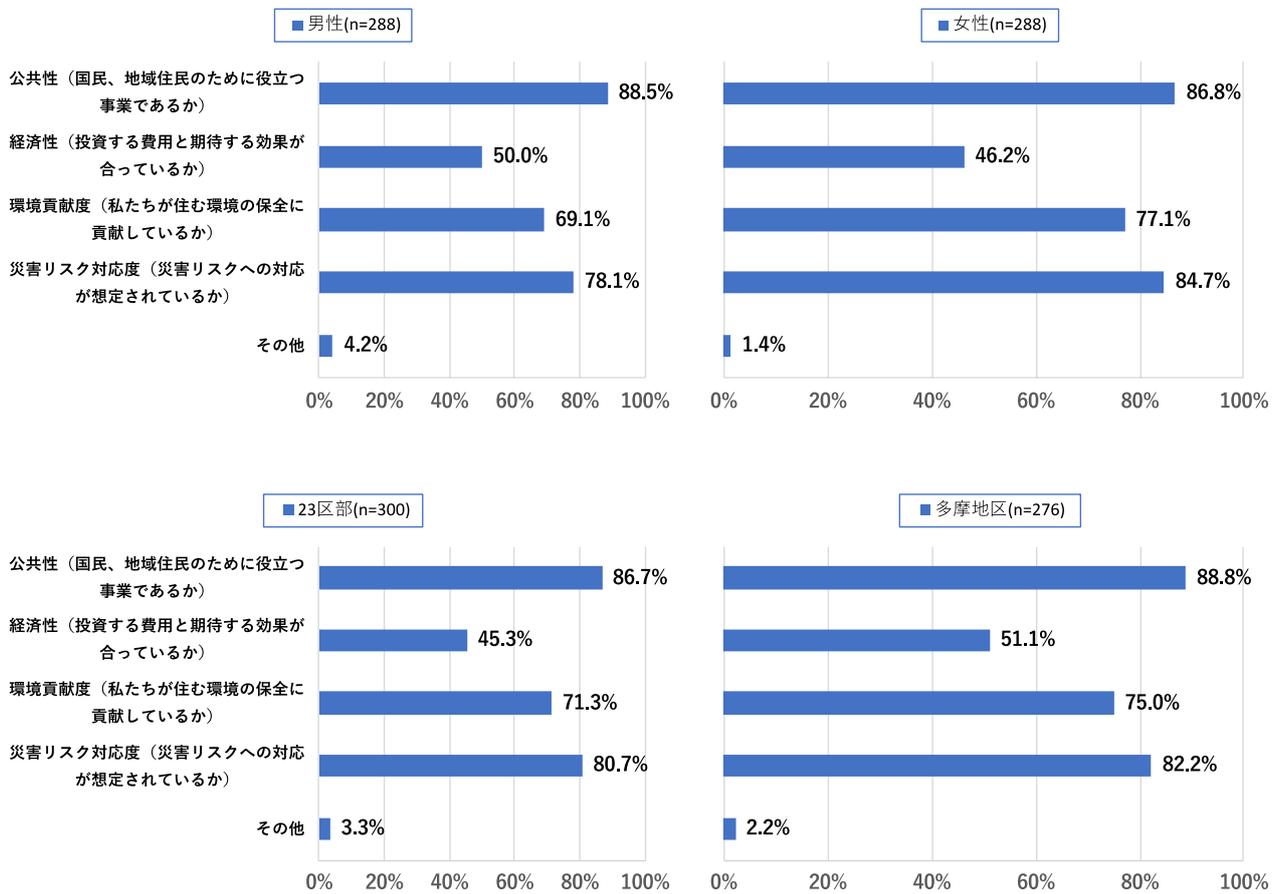


図 3 - 8 - 1 - 2 下水道事業を評価する基準（性別・地区別）

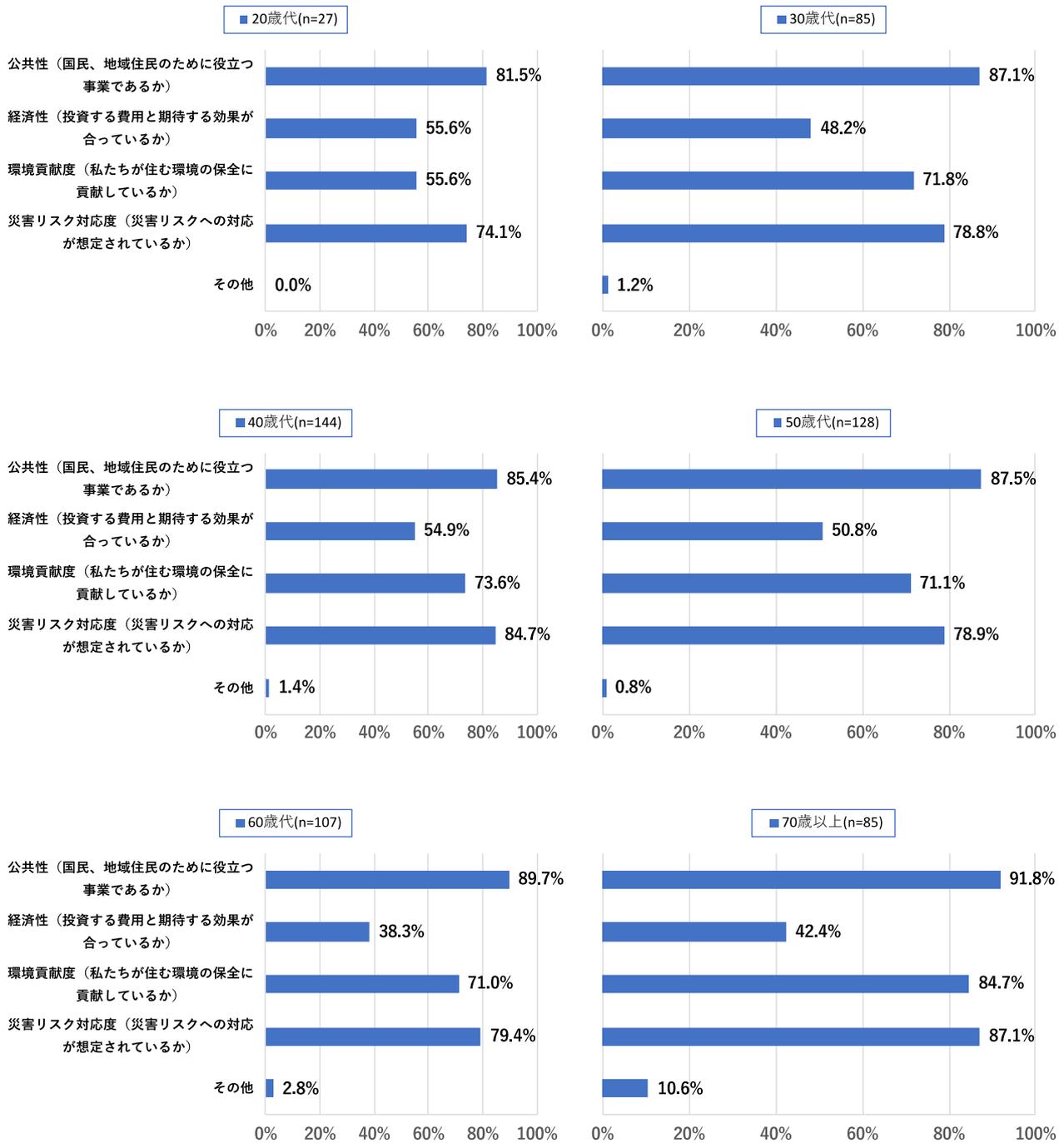


図 3-8-1-3 下水道事業を評価する基準 (年代別)

### 3.9 下水道事業に関するニーズ(下水道事業に関して知りたいと思うこと)

- ◆ 下水道に関して知りたいと思うことは、「下水道の働きや役割」が71.7%と最も高く、次いで「下水道料金の内訳と使い道」が53.8%、「下水道の事業計画・進捗状況」が53.5%となった。
- ◆ 男女別にみると、女性では「下水道料金の内訳と使い道」が男性に比べ8.3%高い割合となっており、下水道料金への関心が高いことが示唆された。
- ◆ 地区別にみると、23区部、多摩地区ともに同様の傾向を示し、「下水道の働きや役割」、「下水道料金の内訳と使い道」、「下水道の事業計画・進捗状況」の割合が高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、どの年代も同様の傾向を示したが、20歳代では「下水道に関わる人々の具体的な仕事」の割合が高く、30歳代では「下水道のイベント等の情報」の割合が高いといった年代による違いが見られた。

Q27 下水道事業について、あなたが知りたいと思うことはどのようなことですか？以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。

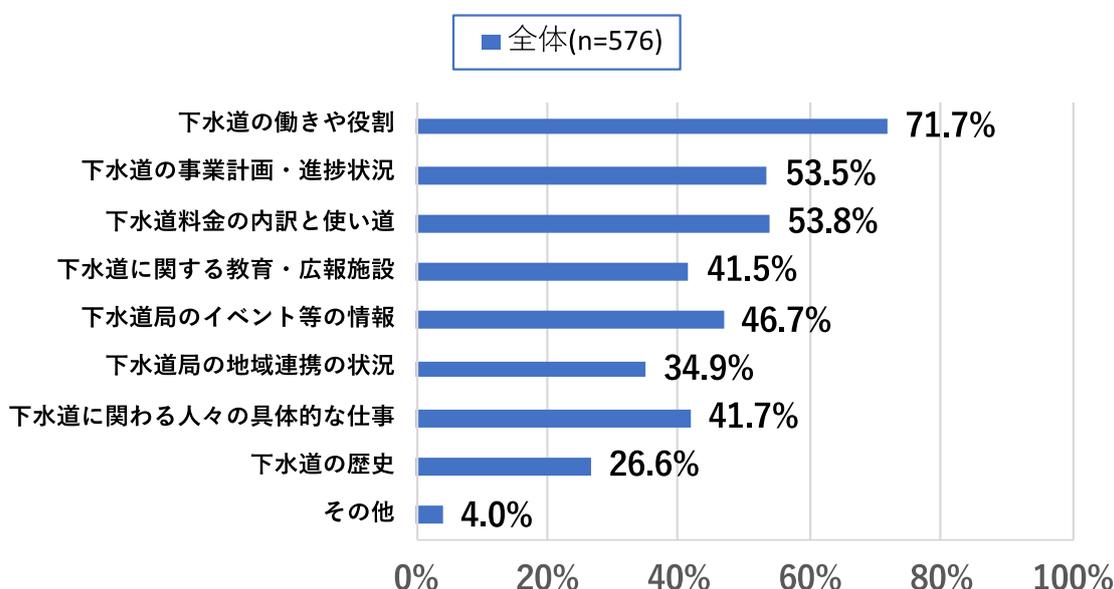


図3-9-1 下水道に関して知りたいと思うこと（全体）

表3-9-1 下水道に関して知りたいと思うこと（その他）

No.	その他(記入例)	件数
1	浄化、水質改善にかかる技術的な動向や変化	5
2	施設の仕組み、技術のわかりやすい説明、その効果、防災	5
3	海外の取組みや日本との比較	4
4	新型コロナウイルスについて	2
5	道路の側溝やマンホールからの悪臭について	2
6	我々になにができるか	2
7	神田川、日本橋川の観光資源、娯楽資源としての活用	1
8	事業の外注化の考え	1

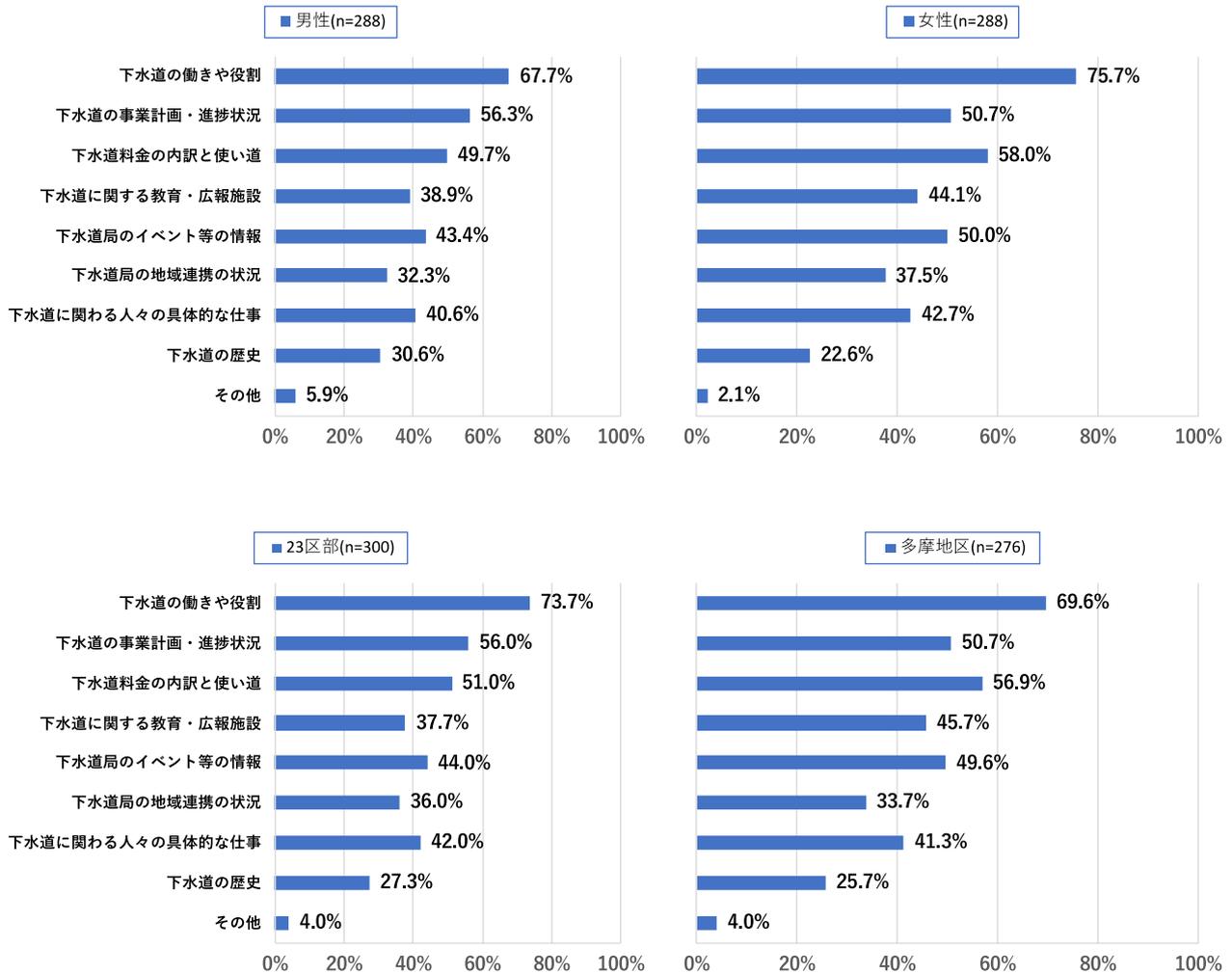


図3-9-2 下水道に関して知りたいと思うこと（性別・地区別）

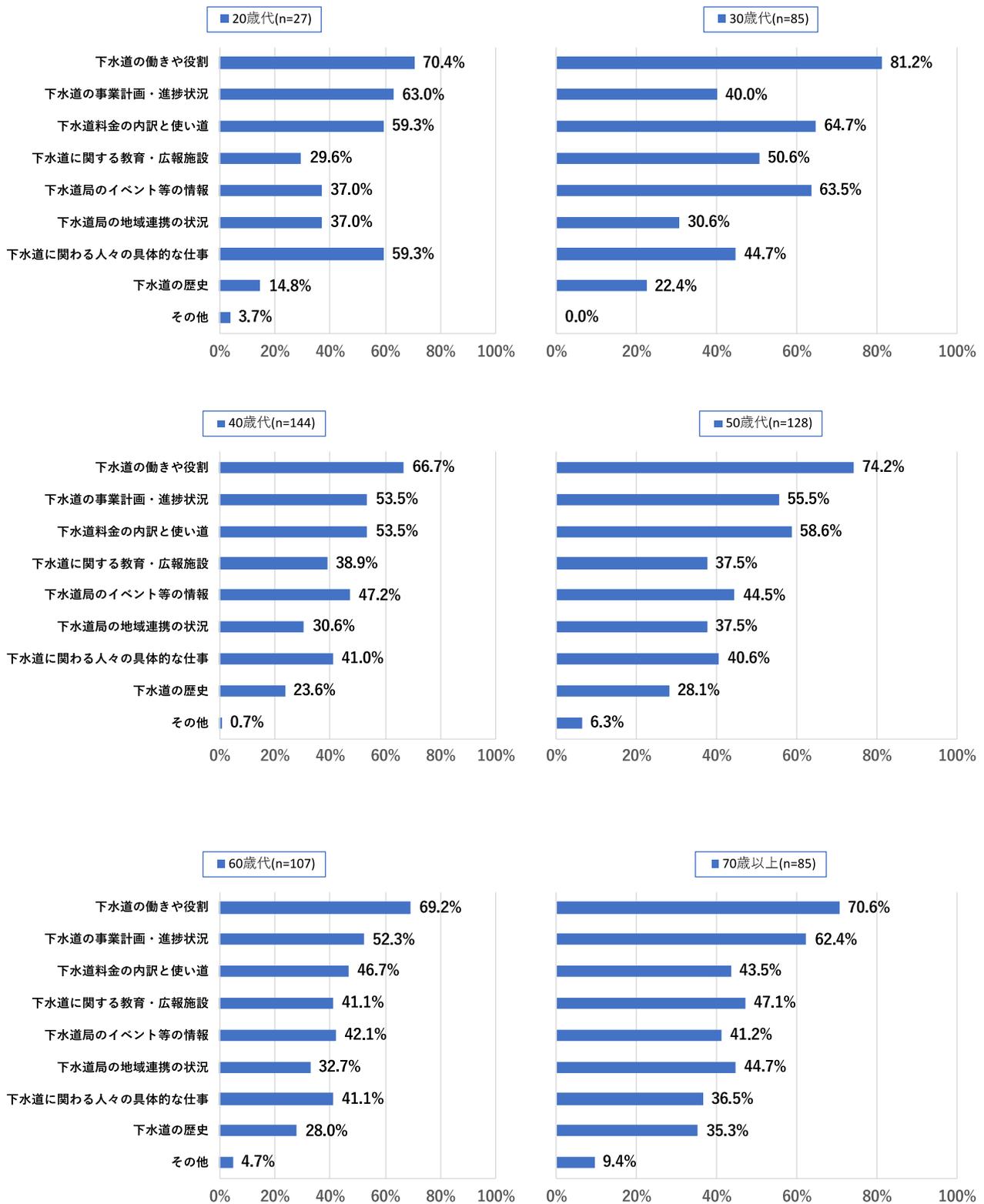


図 3-9-3 下水道に関して知りたいと思うこと（年代別）

### 3.10 下水道事業の認知経路

- ◆ 下水道事業の認知経路は、「広報東京都」が61.5%と最も高く、次いで「下水道局ホームページ」が30.4%、「テレビ番組・ニュース」が25.2%となった。
- ◆ 男女別にみると、男性、女性ともに認知経路は同様な傾向を示し、「広報東京都」、「下水道局ホームページ」、「テレビ番組・ニュース」、「新聞・雑誌」が高い結果となった。
- ◆ 地区別にみると、23区部、多摩地区ともに同様の傾向を示した。
- ◆ 年代別にみると、高い年代では、「広報東京都」や「新聞・雑誌」といった紙媒体による認知が多い傾向を示したが、年代が下がるにつれ紙媒体の割合は低下した。また20歳代、30歳代では、「家族・知人」を経由して情報を得ることが他の年代に比べ高い傾向にあった。

Q28 あなたは、下水道局や下水道事業の内容について、どのようなところから知ることが多いですか？以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお選び下さい。

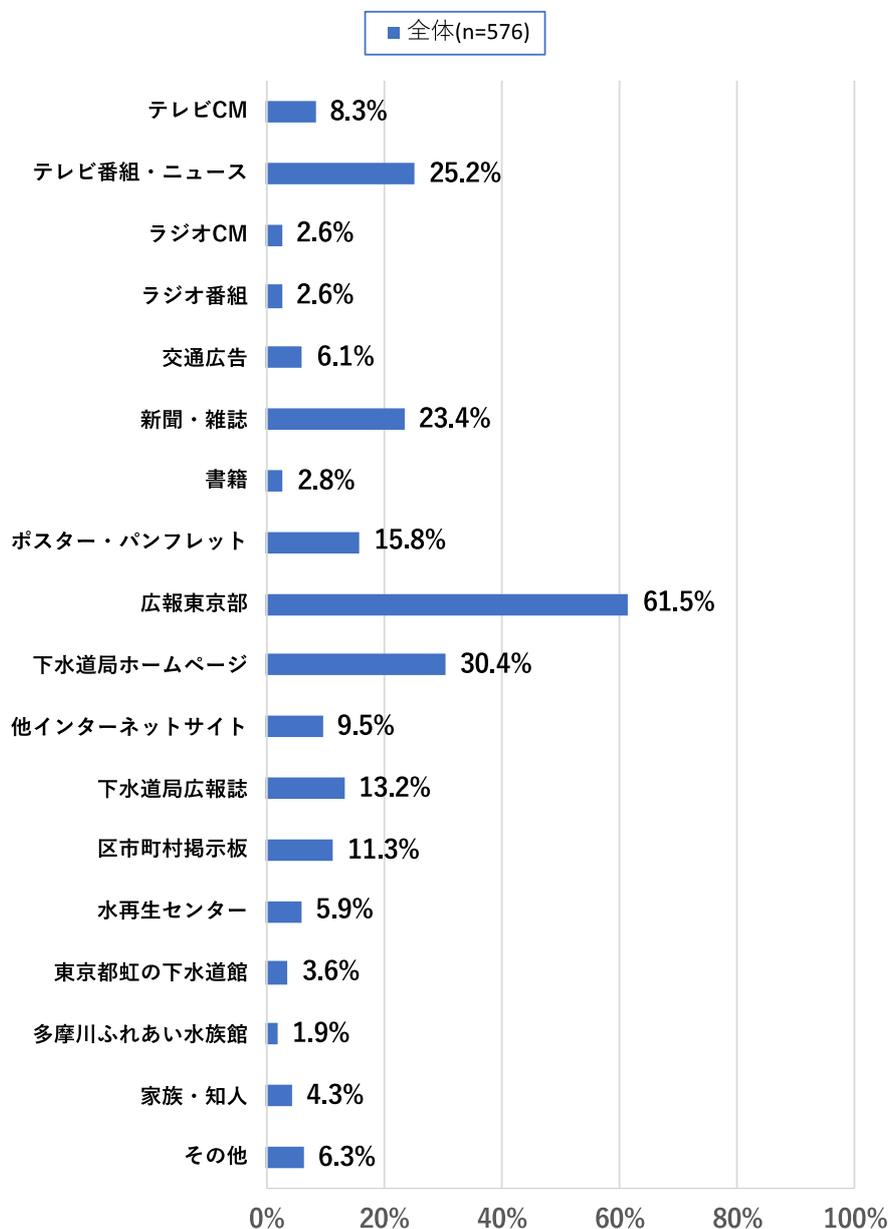


図3-10-1 下水道事業の認知経路（全体）

表3-10-1 下水道事業の認知経路（その他）

No.	その他(記入例)	件数
1	日常生活で知る機会はない	14
2	イベント	5
3	区市町村広報	4
4	下水道館	2
5	工事看板	2
6	SNS	2
7	下水道局の担当者さん、子供の夏休みの自由研究で取材させてもらった	1
8	仕事から関わるので、その関係で知ることが多い。	1
9	図書館のマンガ	1
10	大学の授業	1
11	東京アメッシュのみで、他に知る機会がなかった。	1
12	日本橋川流域連絡会	1

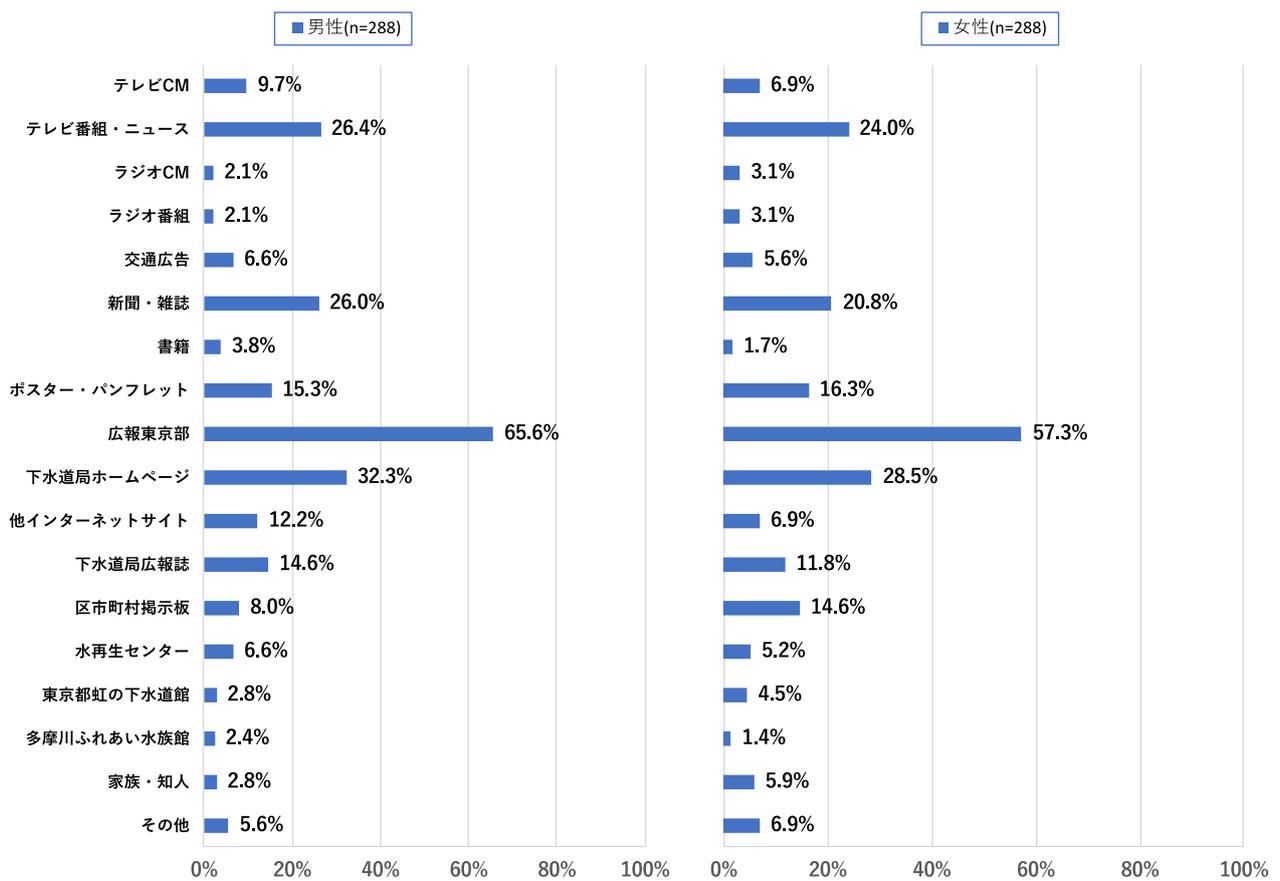


図3-10-2 下水道事業の認知経路（性別）

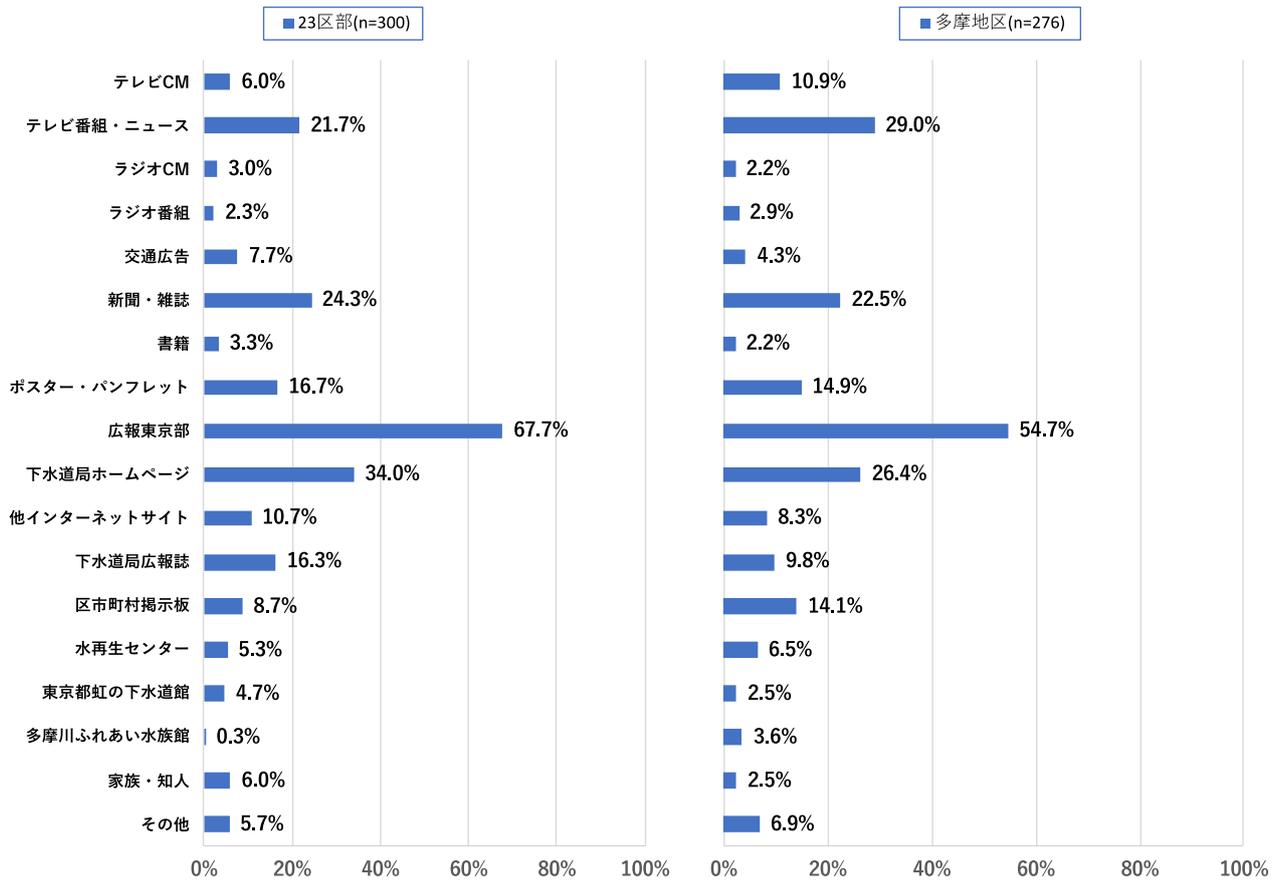
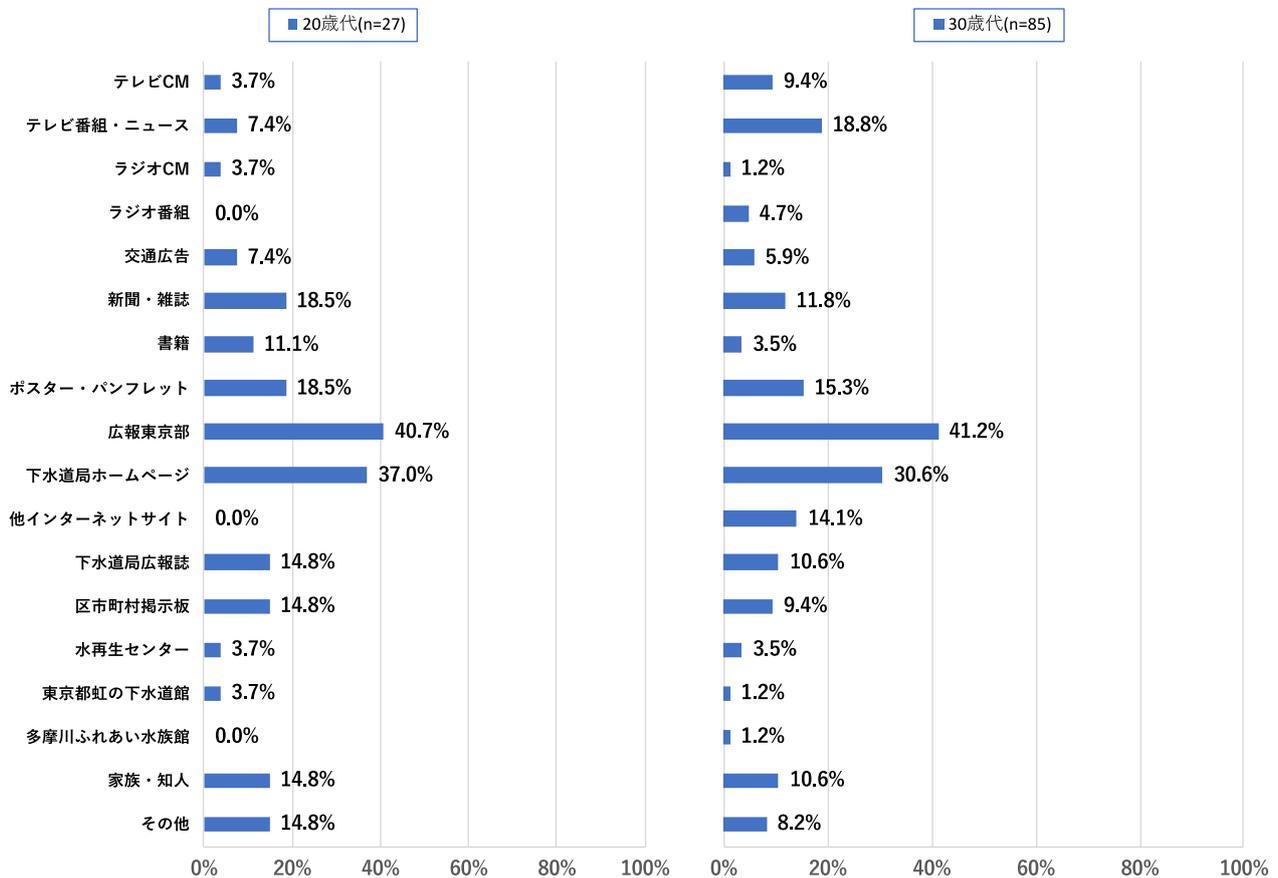


図3-10-3 下水道事業の認知経路（地区別）



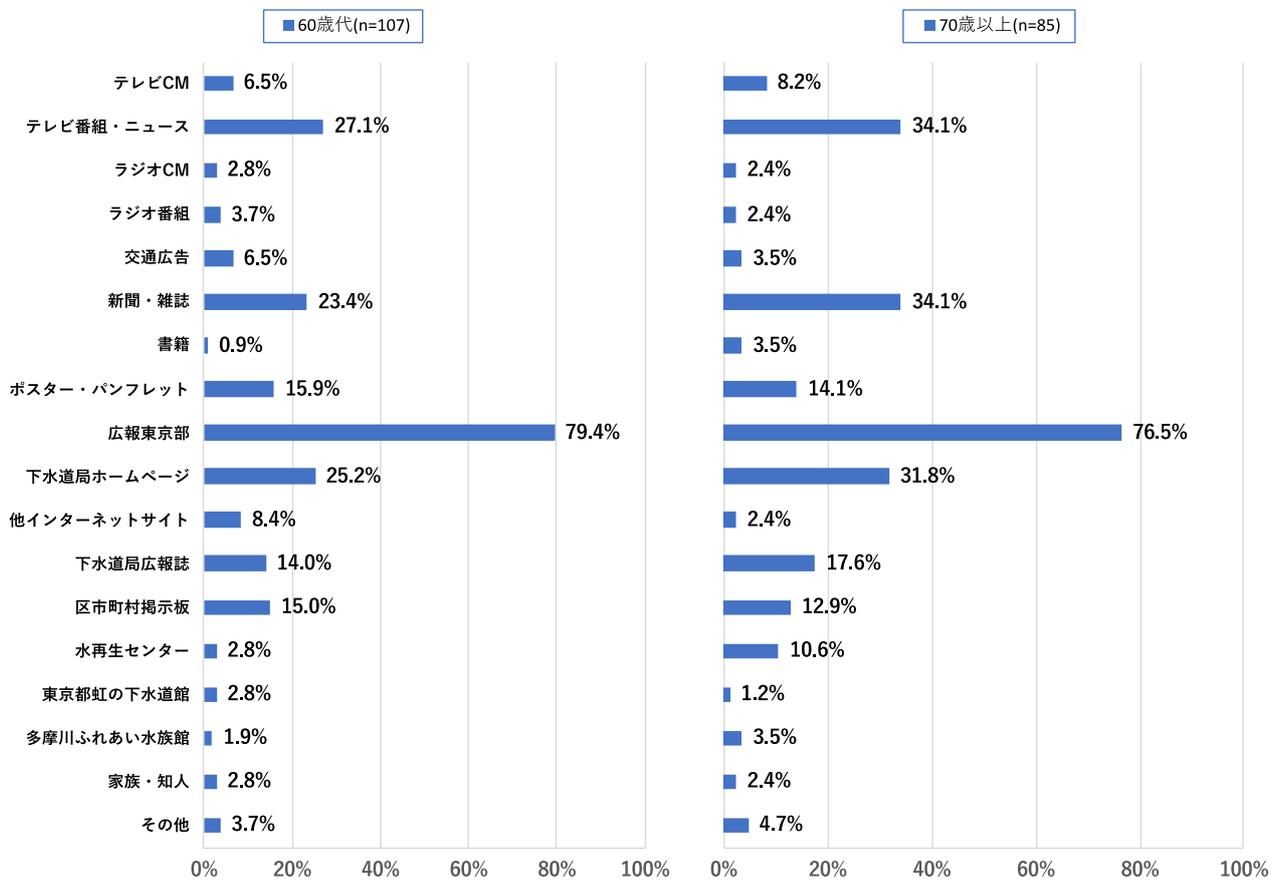
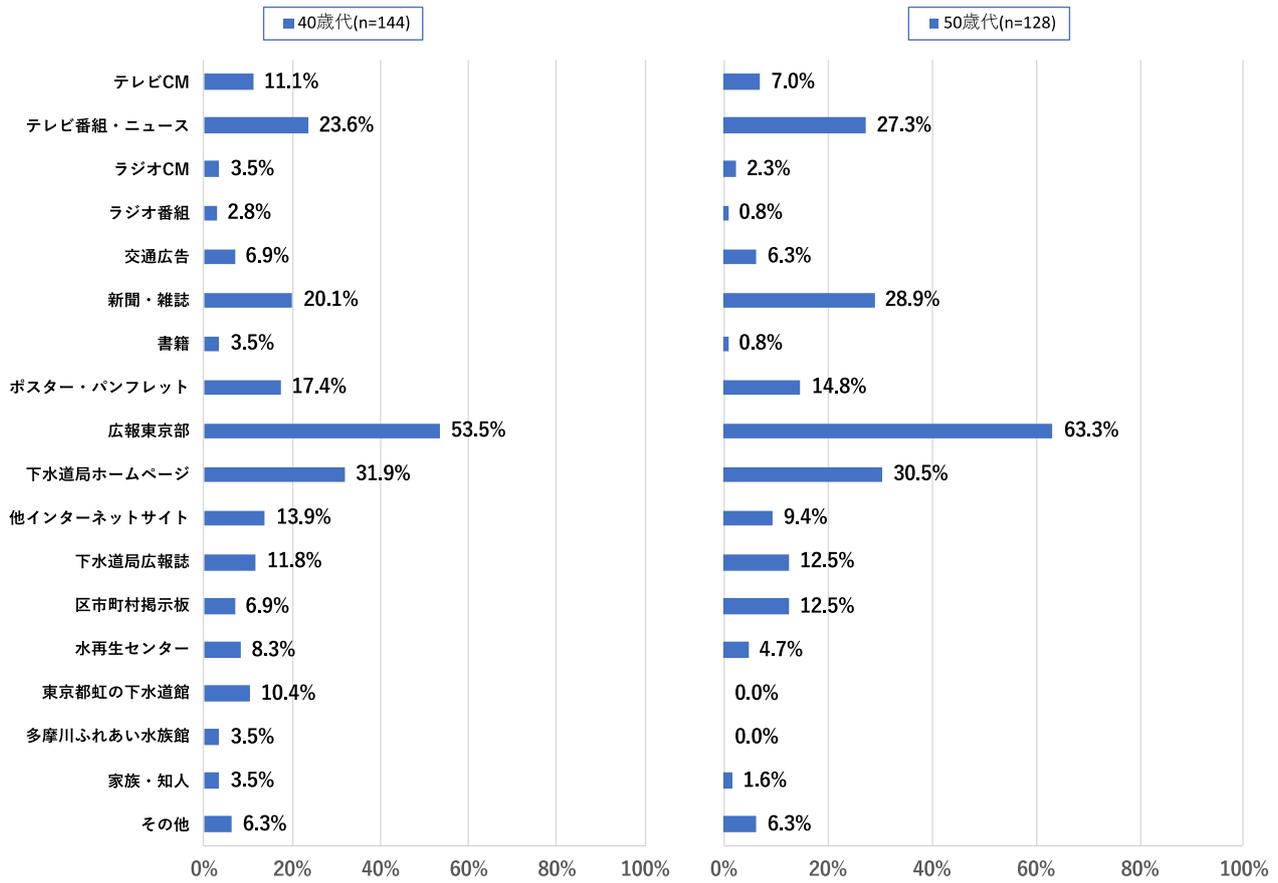


図3-10-4 下水道事業の認知経路（年代別）

### 3.11 下水道事業に関する情報の探求意思、共有欲求

#### 3.11.1 下水道事業に関する情報の探求意思

- ◆ 下水道事業に関する情報の探求意思は、「とてもそう思う」が59.7%であり、「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合わせた『思う』は96.3%と高い結果となった。
- ◆ 男女別にみると、「とてもそう思う」では男性が61.8%、女性が57.7%と、男性が女性より4.1ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、「とてもそう思う」では50歳代が64.1%と最も高く、次いで60歳代が63.6%、30歳代と70歳以上が60.0%となった。
- ◆ 地区別にみると、「とてもそう思う」では23区部が62.7%、多摩地区が56.5%となり、23区部が多摩地区より6.2ポイント高い結果となった。

Q29 あなたは、下水道局や下水道事業について、さらに詳しく知りたいと思いましたが？ 以下の中から該当する選択肢を一つだけお選び下さい。

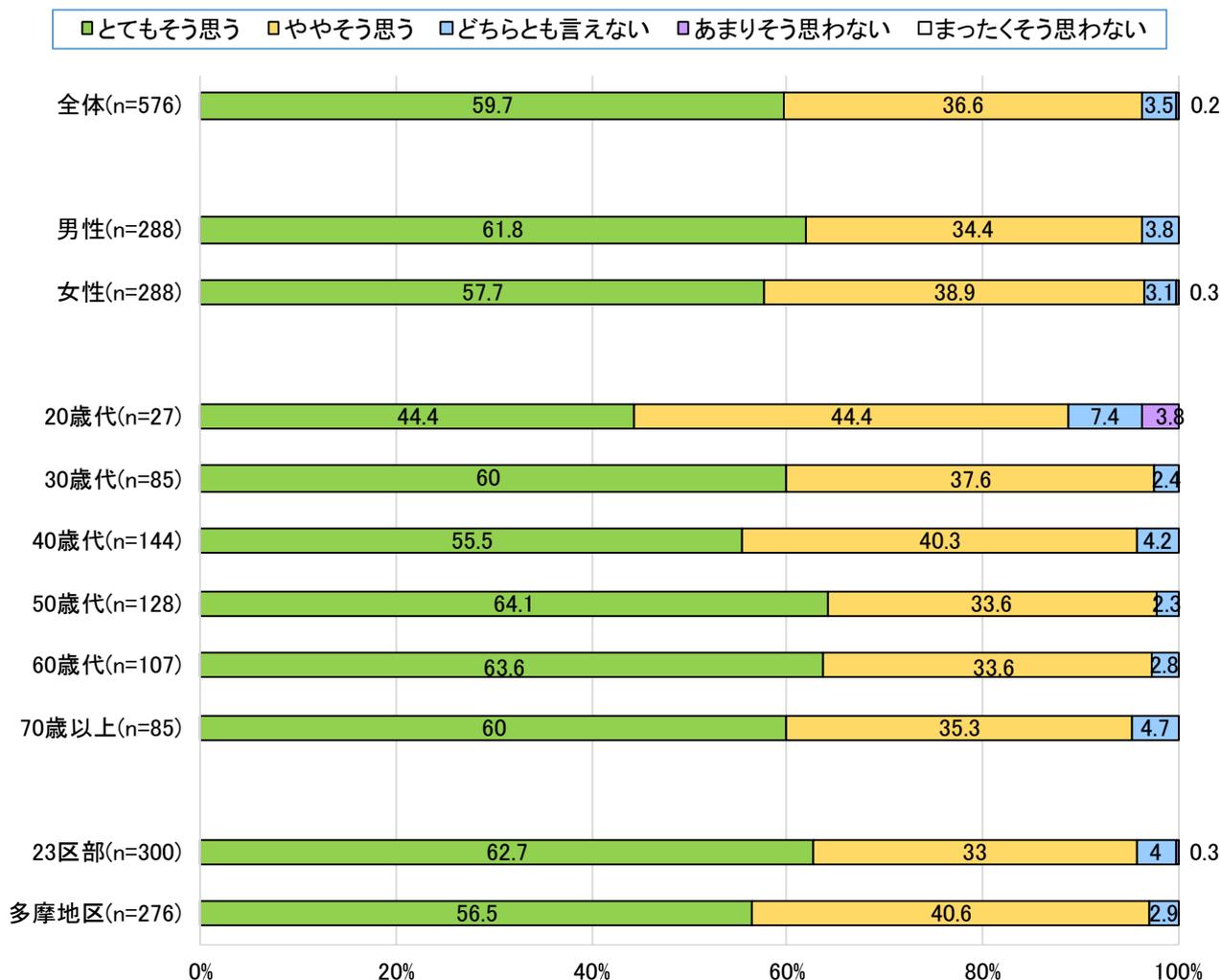


図3-11-1 下水道事業に関する情報の探求意思

### 3.11.2 下水道事業に関する情報の共有欲求

- ◆ 下水道事業に関する情報の共有欲求について、「とてもそう思う」と「ややそう思う」を合わせた『思う』は84.2%であり、多くの方が下水道事業に関する情報を周囲の人に知らせたいと思っていることが明らかとなった。
- ◆ 男女別にみると、『思う』では男性が84.8%、女性が83.7%と、男性が女性より1.1ポイント高い結果となった。
- ◆ 年代別にみると、『思う』では50歳代が89.8%と最も高く、次いで70歳以上が89.4%、60歳代が86.0%となった。
- ◆ 地区別にみると、『思う』では23区部が86.6%、多摩地区が81.5%となり、23区部が多摩地区より5.1ポイント高い結果となった。

Q30 あなたは、下水道局や下水道事業に関して知っていることを、周囲の人に知らせたいと思いますか？以下の中から該当する選択肢を一つだけお選び下さい。

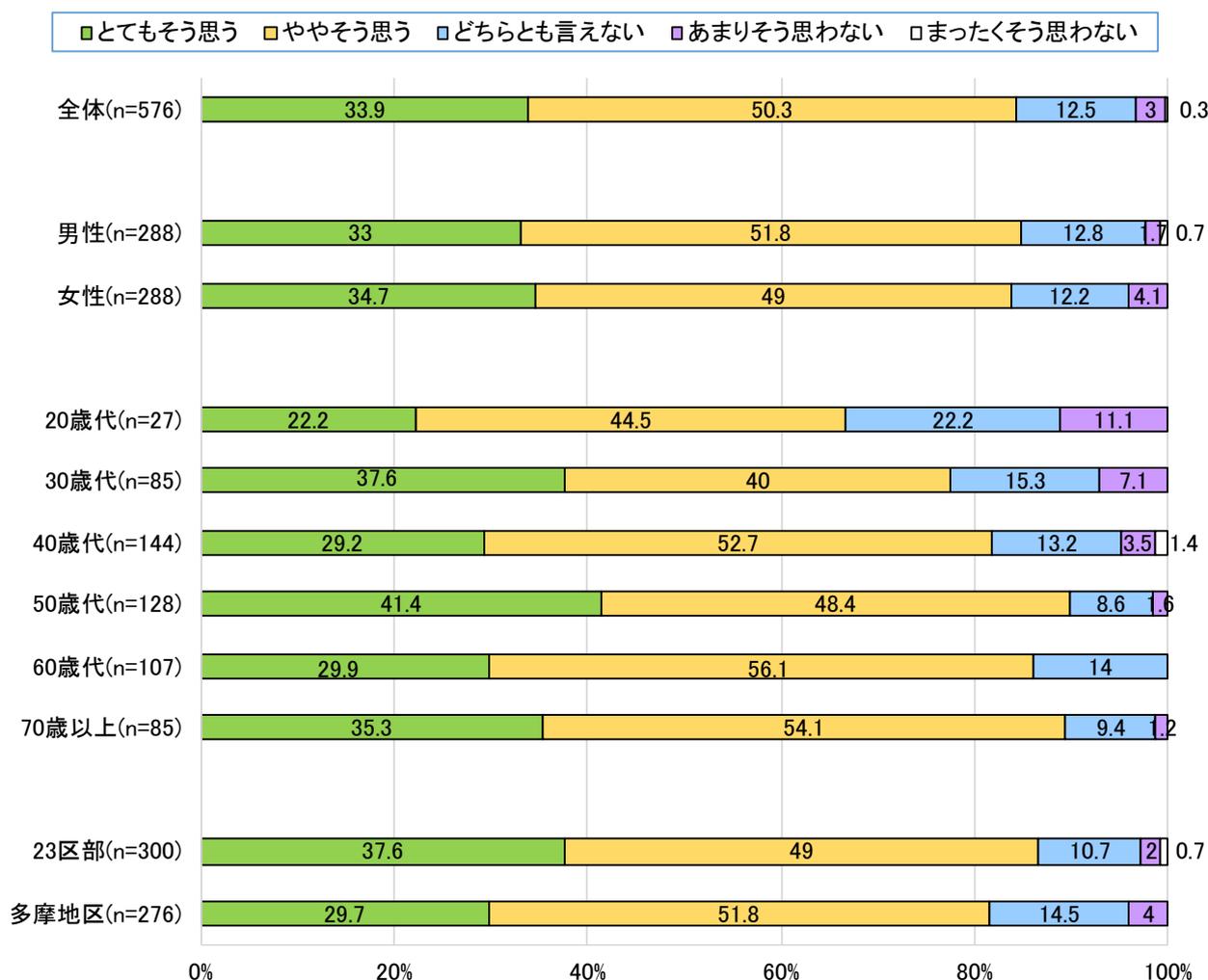


図3-11-2 下水道事業に関する情報の共有欲求

### 3.12 東京都下水道局へのご意見・ご要望例

- ◆ アンケート内容や下水道局へのご意見・ご要望について、「活動内容がわかり有意義」が27.4%で最も多く、次いで「知識・理解を深めたい」が22.4%となった。

Q31 今回のアンケート内容(本アンケートに回答したことで、イメージが変わられた方はその理由など)、および東京都下水道局へのご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせ下さい。

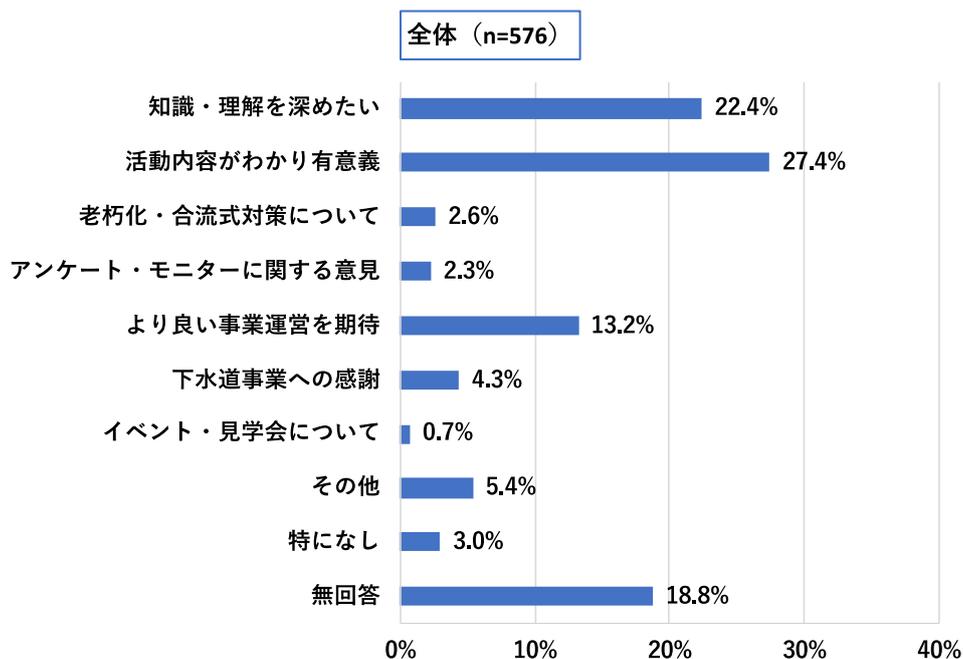


図3-12 下水道局へのご意見・ご要望

#### 【アンケート内容や下水道局へのご意見・ご要望】

- 知識・理解を深めたい
  - ◇ 知らない事が多く、もっと知りたいと思いました。
  - ◇ 下水道事業の多面性を改めて認識できた。施設見学等を通して、具体的な内容を知っていきたい。
  - ◇ 下水道施設や河川の水量調節など知らない事がたくさんあるという事が初めてわかりました。ホームページも閲覧したいと思います。アメッシュは大変便利でハードユーザーですが、他の方はあまりご存知ないとすればもったいないので宣伝すべきです。
  - ◇ 昨年の台風の威力に、下水道の仕組みの大切さを改めて実感しています。今回のアンケート内容の中にも知らなかった仕組みについての設問もあり、今後学んでいきたいと思いました。
- 活動内容が分かり有意義
  - ◇ 下水道は、水を綺麗にするという印象しかありませんでしたが、災害や環境保護、都市開発、エネルギーの効率化などたくさんの役割があると知りました。水をより大切に使おうと思います。
  - ◇ 今回のアンケートで「東京アメッシュ」を知り、早速PCとスマホに登録しました。人の社会生活を静かに支えるアンカーとしての下水道の重要性を改めて痛感。

➤ 老朽化・合流式対策について

- ◇ 下水道の老朽化がこれほど進んでいるとは知らなかった。社会生活を支える必要不可欠なインフラとして、計画的な設備維持や改善が必要であることを痛感しました。普段は意識せずに暮らしていますが、万が一にも下水道に支障があれば快適な生活は遅れなくなります。この重要性をもっと広く周知すべきと感じました。
- ◇ 大雨が降った際に、汚水を流していることを初めて知りました。日本の浄水技術は素晴らしく安心だと思っていたので仕方ないことかも知れませんが残念でした。生活排水に対して気をつけていたつもりですが、もっと水を汚さない努力をしていかないといけないことがわかりました。
- ◇ 下水道は見えない。きちんと作動して当たり前。このきちんと作動させるために、一気に下水道管の老朽化が進むなかでどのように計画していくのかと関心が高まった。

➤ アンケートに関する意見

- ◇ 今回のアンケートは、私たちが生活していくうえで欠かすことができないライフラインについて考える時間になった。激しい雨が降ると浸水していた地域近くに住んでいるので、近年激しい雨が降ることが多く、下水道事業の大切さを身にしみている。
- ◇ 今回のアンケートだけでも情報（下水道光ファイバー）を得られたので、もうちょっと積極的にアナウンスした方が良いと思う。また、最近豪雨が凄いののでそのあたりの対策情報などがあると都民は興味をわくと思う。

➤ より良い運営事業を期待

- ◇ IT化が進んでこれからは、災害に備えて必要な地域に改修工事を的確なスピード化に期待したい。
- ◇ 知らなかった事業を行っていることでのイメージアップ。（特に光ファイバー埋め込みなど）電気メーターなどのように家庭の水道検針をなくして業務の効率化を図ってほしい。

➤ 下水道事業への感謝

- ◇ 下水道のメンテナンスの必要性を深く考えていないことに気が付き、下水道のお仕事に関わる方の苦労も考えるようになりました。昨今の災害時における下水道のことについて、具体的に考えるようになりました。モニターという貴重な機会をいただき感謝しています。ありがとうございました。
- ◇ 現在のコロナ禍においても、社会を支える事業従事者として医療・ごみ収集等ほか水道事業までは認識されているようです。しかし、下水道事業従事者はニュースにも出ませんでした。まだまだ日陰の存在かもしれません。
- ◇ 地味な仕事ですが、とても大切な仕事なので、これからもガンバってください。

➤ イベント・見学会について

- ◇ マンホールイベントが延期になってしまったので残念です。早くコロナが収束することを願っています。
- ◇ 見学会や広報等のイベントを積極的に開催していただきたい
- ◇ 下水道モニターを対象にした東京都の下水道施設見学会を催してほしい。
- ◇ 多摩地域に虹の下水道分館を作ってほしい。巡回展でも構わない。

➤ その他

- ◇ 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、下水道事業への影響があったのかどうか、また、下水道事業ならではの、その他の事業とは異なる、何か特別な対応があったのであれば、知りたいです。